

Student Handbook 2014

学生ハンドブック

履修案内・キャンパスライフ・諸規則

Graduate School of Information Science

情報科学研究科



奈良先端科学技術大学院大学

Nara Institute of Science and Technology

平成26年度 カレンダー

4 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12 2014
H26

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3 2015
H27

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

平成26年度情報科学研究科学年暦

学期	月 日 (曜日)	事 項
春学期	4月 1日 (火) ~ 4月 2日 (水)	春季休業
	4月 3日 (木)	新入生オリエンテーション
	4月 4日 (金)	入 学 式 (終了後、全学共通オリエンテーション)
	4月 7日 (月) ~ 6月 3日 (火)	第Ⅰ期授業
	6月 4日 (水) ~ 8月 1日 (金)	第Ⅱ期授業
	6月25日 (水)	学位記授与式
		健康診断日
	7月 9日 (水) ~ 7月12日 (土)	博士前期課程第1回入学者選抜試験
	8月 4日 (月) ~ 9月30日 (火)	夏季休業
9月25日 (木)	学位記授与式	
秋学期	10月 1日 (水)	創立記念日
	10月 2日 (木)	秋学期入学式
	10月 3日 (金) ~ 12月 1日 (月)	第Ⅲ期授業
	12月 2日 (火) ~ 2月10日 (火) 補講日: 2月12日 (木) ~ 2月20日 (金)	第Ⅳ期授業
	12月22日 (月)	学位記授与式
	12月24日 (水) ~ 1月 4日 (日)	冬季休業
	3月24日 (火)	学位記授与式
	3月25日 (水) ~ 3月31日 (火)	春季休業

- ※ 健康診断日は授業休止となります。
- ※ 博士前期課程第1回入学者選抜試験の期間は授業休止となります。
- ※ 5月7日 (水) は火曜の講義を行います。
- ※ 11月28日 (金) , 2月10日 (火) は月曜の講義を行います。

授業時間

1時限	9:20~10:50 (90分授業)
2時限	11:00~12:30 "
3時限	13:30~15:00 "
4時限	15:10~16:40 "
5時限	16:50~18:20 "
6時限	18:30~20:00 "

目 次

1	奈良先端科学技術大学院大学の教育方針	
	・ 目的等	1
	・ ディプロマ・ポリシー	2
	・ カリキュラム・ポリシー	3
	・ アドミッション・ポリシー	5
2	情報科学研究科の概要	
	・ 特 色	7
	・ 専攻の研究室名、教育連携研究室名及び教育研究分野	12
3	情報科学研究科の教育及び研究指導方針	
	・ 博士前期課程	17
	・ 博士後期課程	20
4	情報科学研究科履修要件等（情報科学研究科履修規程を含む）	
	・ 修了要件	23
	・ 授業科目の履修等	29
5	学位審査基準等（学位規程を含む）	
	・ 学位審査基準	55
	・ Degree examination criteria, etc.	57
	・ 学位規程	58
	・ Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology	63
	・ 論文の提出から論文審査の日程	69
	・ Schedule from thesis submission to thesis examination	70
6	情報科学研究科授業時間割一覧等	
	・ 平成26年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧	71
	・ List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Information Science in academic year 2014	75
	・ 授業時間割一覧	79
7	シラバス等	
	・ 電子シラバスについて	87
	・ How to access the electronic syllabus	89
	・ 英語教育について	91
	・ English learning programs at the Graduate School of Information Science	92
	・ 成績評価について	91
	・ Evaluation of academic performance	92
8	他研究科授業科目及び担当教員一覧	93
9	各種相談受付体制	99
10	学修支援	
	・ 保健管理センター	103
	・ Health Care Center	104
	・ 健康診断ならびに健康・安全教育	105
	・ Medical Checkups and Health & Safety Education	106
	・ キャリア支援室	107
	・ 総合情報基盤センター	108
	・ Information Initiative Center	110
	・ 附属図書館	126

・ NAIST Library	127
・ 英語 E-ラーニングシステム (ALC NetAcademy 2)	128
・ English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)	129
11 キャンパスライフ	
・ 授業料の額及び納付方法	131
・ 学生証	131
・ 学生個人報告書	132
・ 諸手続・諸証明書	132
・ 通学証明書	134
・ 日本学生支援機構奨学金制度	135
・ 民間育英団体の奨学金	135
・ 授業料免除	135
・ 海外への留学制度	135
・ 学生教育研究災害傷害保険	136
・ 学研災付帯賠償責任保険	136
・ 学研災付帯学生生活総合保険	136
・ 学生宿舎	137
・ 大学借り上げ住宅	137
・ 駐車場及び駐輪場の利用	137
・ 国立博物館キャンパスメンバーズ	138
・ 福利厚生施設	138
・ その他	139
・ Campus Life	140
・ キャンパスマップ・建物平面図	151
12 学則・諸規程	
・ 学 則	155
・ Regulations of Nara Institute of Science and Technology	176
・ 特別研究学生交流規程	196
・ Regulations for Special Research Students Exchange Program	199
・ 特別聴講学生交流規程	204
・ Regulations for Special Auditing Students Exchange Program	207
・ 研究生規程	212
・ Regulations for Research Students	214
・ 科目等履修生規程	217
・ Regulations for Non-Degree Students	219
・ 学生表彰規程	222
・ Regulations for Student Commendation	223
・ 優秀学生奨学制度規程	225
・ Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program	226

1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

1 奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

目的

奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

情報科学研究科の目的

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」「バイオサイエンス」および「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点をあわせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」および「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図ると共に、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

ディプロマ・ポリシー

奈良先端科学技術大学院大学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とし、次のようなディプロマ・ポリシーを定めます。

○博士前期課程

本学修士学位取得者は、社会・経済を支えるために必要とされる、幅広い視野、専門分野の学識、専攻分野における研究技術及び研究者・技術者あるいは高度の専門性を要する職業に必要な能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に修士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広い知識及び専門分野における先端知識。
- 2 研究・開発のプロセスを担うことのできる能力。
- 3 プレゼンテーション・コミュニケーション能力。

○博士後期課程

本学博士学位取得者は、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもち、国際社会で指導的な役割を果たす能力を備えていなければなりません。次に掲げる知識・能力等を習得している者に博士（工学、理学又はバイオサイエンス）の学位を授与します。

- 1 創造性の豊かな研究者に求められる情報科学（情報科学研究科）、バイオサイエンス（バイオサイエンス研究科）あるいは物質科学（物質創成科学研究科）に関連する幅広く深い知識及び専門分野における高度な先端知識。
- 2 問題発見・解決能力及び研究立案・推進能力。
- 3 プレゼンテーション能力。
- 4 英語力を含めた国際性とコミュニケーション能力。

カリキュラム・ポリシー

博士前期課程

国内外の教育研究機関・企業等において先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を養成するための体系的な専門教育カリキュラムを編成するとともに、人間として備えておくべき倫理観はもとより、広い視野、理論的な思考力、更には豊かな言語表現能力を養う教育を実施します。

博士後期課程

博士前期課程の方針に加え、科学技術に高い志をもって挑戦し、国際社会において指導的な役割を果たす人材を養成するため、高度な研究能力及び国際性を養成する教育を実施します。

○情報科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 情報科学に関連する幅広い知識及び専門分野の高度な先端知識を修得可能なカリキュラム。
- 2 多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム。
- 3 専門分野だけに偏らない広い視野を修得可能なカリキュラム。
- 4 研究者として必要な英語力を修得可能なカリキュラム。
- 5 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育。
- 6 専門分野における問題発見・解決能力の修得を目指した教育。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 ディスカッションや講義を通じた専門分野に関する深い学識の修得。
- 2 研究プロジェクトを主体的に企画立案・遂行する能力の修得。
- 3 国際的に活躍できるためのプレゼンテーション・コミュニケーション能力の修得。
- 4 専門分野だけに留まらない長期的な広い視野の修得。
- 5 未知の問題にも取り組める解決能力の修得。

○バイオサイエンス研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

《バイオエキスパートコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 バイオサイエンスの基盤となる研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラス

の教育方法を取り入れる。

- 5 産業活動・社会活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

《フロンティアバイオコース》

- 1 バイオサイエンスに関連する幅広く深い知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 最先端の機器や技術を使いこなす研究力を養成する。
- 3 科学英語能力の向上を目指した教育を行う。
- 4 プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上を目指した少人数クラスの教育方法を取り入れる。
- 5 研究活動における科学技術の問題点やあるべき姿を考察する能力や倫理観を養成する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 バイオサイエンスに関連するより深く幅広い高度な専門知識を修得させる。
- 2 解決すべき問題を自ら探しだす探査能力を育成する。
- 3 問題解決に向けた方策を提案できる思考力と論理力を養成する。
- 4 提案した方策を自らの力で実行できる高度な研究能力を養成する。
- 5 他の研究者と日本語のみならず英語でも有用な情報を交換し、議論できるコミュニケーション能力を育成する。
- 6 得られた成果を幅広く情報発信できるプレゼンテーション能力を向上させる。

○物質創成科学研究科

(博士前期課程)

博士前期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関連する幅広い知識及び専門知識を修得させるカリキュラムを編成する。
- 2 物質科学の基盤となる研究・開発能力を養成する。
- 3 英語能力の向上を目指した少人数教育を行う。
- 4 プレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指した教育を提供する。
- 5 社会との関わりを深めるための一般科目が充実した教育を提供する。

(博士後期課程)

博士後期課程では、以下の方針に沿って教育を行います。

- 1 物質科学に関する先端研究や講義を通して先端研究能力、物質科学に関連する幅広く深い知識及び高度な先端知識を修得させる。
- 2 多様な視点からの多角的な討論を経験する教育を提供する。
- 3 得られた研究成果のプレゼンテーションを重視した教育を提供する。
- 4 英語力を含めた国際性を強化する教育を提供する。
- 5 研究プロジェクトを主体的に企画提案・運営する能力を養成する。

アドミッション・ポリシー

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力をもった学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲をもった者を積極的に受け入れます。

○情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力をもった人を求めます。

- 1 前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力をもった人。
- 2 後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力をもった人。

○バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

- 1 生命現象の基本原理と生物の多様性を分子レベル及び細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
- 2 バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

○物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

- 1 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
- 2 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

2 情報科学研究科の概要

2 情報科学研究科の概要

「ユビキタス情報社会を実現する最先端の教育研究拠点」です。

情報と通信の科学と技術は、先端科学技術分野における創造活動の基盤として、様々なシステムを構築して運用する技術を支え、社会を動かす原動力となっています。今後、その役割と影響力は益々大きくなり、社会環境の変化に伴う多様な要求に柔軟に対応する能力と、新しいものを産み出す活力が、一層強く求められてきます。

このような観点から、情報科学に関わる高度な基盤研究を推進するとともに、定評のある教育カリキュラムと抜群の研究力で、感覚と判断を支援する情報処理技術、大規模な情報システムや安心できる情報ネットワークの構築・運用技術、情報科学と生命科学が関わる広汎な融合領域などで高度情報社会をリードする人材を育成しています。

◇ 世界最高水準の大学院づくりを推進

これまでに培ってきた人材育成の実績をもとに、現在は、特色ある二つの人材育成事業を実施しています

- **SecCap：セキュリティ分野における情報技術者育成のための実践教育ネットワーク形成事業（25年度より学生受入開始）**

情報技術を活用して社会の具体的な課題を解決できる人材を育成するため、複数の大学と産業界による全国的なネットワークを形成し、情報セキュリティにおける実際の課題に基づく課題解決型学習等の実践的な教育を実施・普及することを目的とした人材育成事業です。暗号理論からネットワークセキュリティ、リスクマネジメントなどを学び、その実践としていくつかの演習プログラムを提供します。コースの詳細については <https://www.seccap.jp/naist/> を参照してください。

- **IT-Triadic(IT3)：サイバーメディア社会におけるマルチスペシャリスト育成プログラム（24年度より学生受入開始）**

ソフトウェア、セキュリティ、ロボティクス、三分野のスペシャリスト、および、これらの技術を複合的に修得した統合型人材の育成に取り組んでいます。各コースの詳細については <http://it3.naist.jp/> を参照してください。

- ◇ **マルチスペシャリスト育成 (Triadic コース)**

コンシューマ分野を中心とする今日の工業製品の多くが、複数の先端 IT 技術を高度に組み合わせ統合することによって成立しています。このような統合的 IT 製品の企画・設計や開発プロジェクトを先導することのできる優れた人材は、今後、先端技術産業が世界レベルでより発展していくための鍵となります。Triadic コースではこのような人材のグローバルな育成を目的としており、先端複合演習と基礎および専門科目群によるカリキュラムを履修者に合わせて柔軟に設計するこ

とで、上記三分野の技術を複合的に修得することができます。

◇ 次世代ロボティクス技術者育成 (RT コース)

関西圏には高度な要素技術を持った中小企業の集積を中心に、大手家電メーカーや大手電子部品メーカーの本社が集中し、加えて、高等教育機関や国際的な研究機関が立地、ロボットラボラトリーといった産業創出拠点も整備されています。RT コースでは、こうした関西圏 RT (ロボットテクノロジー) 分野をリードする各機関・企業の英知を結集して開発された社会連携型の Project Based Learning (PBL) を主体とする実践的教育カリキュラムを提供します。受講生は実践的な開発力はもちろんのこと、プロジェクトの提案力や評価力もトレーニングされ、次世代のロボティクス研究開発者として育成されます。

◇ 高度ソフトウェア技術者育成 (Spiral コース)

ソフトウェアシステムの大型化・高度化が進む一方で、開発期間の短縮が要求される状況のなか、高度な技術力と応用力を有して長期間にわたり活躍できるソフトウェア技術者が強く求められています。Spiral コースでは大阪大学で主催されるクラウドコンピューティング分野における情報技術者育成のための実践教育ネットワーク形成事業 (Cloud Spiral) と連携して、クラウドに強いマルチスペシャリスト育成に取り組みます。

◇ 情報セキュリティ技術者・管理者育成 (Keys コース)

コンピュータネットワークシステムの情報セキュリティを脅かす攻撃・脅威が年々増大し複雑化・高度化するなか、産学官が連携した情報セキュリティ教育の実施や情報セキュリティ対策に必要な人材の育成が強く求められています。Keys コースでは、情報セキュリティ分野の人材育成ネットワーク事業 (SecCap) と連携して、セキュリティに強いマルチスペシャリスト育成に取り組みます。

◇ 柔軟な教育研究システムを整備

● 配属では学生の希望を優先

高い問題意識と研究分野の希望を持ってきた学生の意欲を尊重し、学生の希望を最優先して所属研究室や研究内容を決定します。研究室の内容が期待に沿わなかったり、自分の希望が変わったりしたときには、研究室変更も可能です。

● 情報科学の広い領域にわたる柔軟なカリキュラム

◇ 経済産業省の大学活動評価手法で最高ランクの A+評価を受けた教育カリキュラムで、社会のニーズに合致した教育を実施しています。

◇ カリキュラムは、広範な情報科学の分野を網羅して、かつ、基礎から最先端までの理論や技術が修得できるよう配慮しています。それには、多様な分野からの入学者に対応できるように「基礎科目」「基幹となる専門科目」「先端的な専

門科目」「学際科目」などの幅広い講義、プレゼンテーション能力を磨く「ゼミナール」、学外の研究機関での実習も組み込んだ「プロジェクト実習」、国際的な場で情報発信できる人間を育てる「英語プレゼンテーション法」「英語ライティング法」「英語コミュニケーション法」、および、複数の教員が指導する「研究論文」や「課題研究」があります。

- ◇ 講義は、集中的な履修ができるように、1年を4期に分割しています。とくに「専門科目」では、急速に進展する情報科学の状況に対応するために、授業科目や授業内容を毎年見直し、必要に応じて改訂しています。

● 短期修了

- ◇ 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程は3年ですが、優れた研究業績を修めた者は、博士前期課程は1年以上の在学で、博士後期課程は前期課程と併せて3年以上の在学で短期修了することができます。これまでに（平成26年3月現在）、前期課程で151名、後期課程で172名の短期修了を認めています。

◇ 優秀な学生への豊富な支援プログラムの展開

● ティーチング・アシスタント (TA) 制度

- 大学院学生に対するきめ細かい指導を実現して大学院教育を充実すること、学生が将来教員や研究者になるためのトレーニングの機会を提供すること、および、教育補助業務に対する手当を支給して大学院学生の経済的自立の支援に資することなどを目的として、平成6年度から博士前期課程2年次以上の学生に対して TA 制度を積極的に活用するよう努めています。（平成25年度実績：前期課程学生延べ111名、後期課程学生延べ16名）。
- TA の業務内容は、講義資料の収集・整理・作成の補助や、レポートの採点補助、および、実験の指導補助に従事することです。TA に採用された学生の報告書から「講義や実験の進め方の参考になった」「指導方法が学べて有意義であった」などの感想があげられています。

● リサーチ・アシスタント (RA) 制度

- RA 制度は、大学などにおける研究支援体制を充実して強化すること、ならびに、若手研究者を養成して確保することを促進する方策として、優れた博士後期課程在学者を研究プロジェクトの研究補助者として参画させ、学術研究の一層の推進を図るために、文部科学省が平成8年度から導入したものです。
- 本学では、平成7年度から RA 制度を全国の大学に先駆けて自主財源で実施しており、上で述べた文部科学省の RA 制度やその他の財源と併せて研究支援体制などの一層の充実・強化を図ってきました。平成20年度からは博士前期課程在学者も対象としています。（平成25年度実績：前期課程学生延べ46名、後期

課程学生延べ59名。なお、研究員雇用は前期課程学生37名、後期課程学生25名。)

- **国際交流活動支援制度**

国際的に活動し、社会をリードする人材を育てるために、広く海外の大学等との間で学術交流協定を締結し（現在、大学として72校、情報科学研究科のみで7校）、教員や学生の交流活動を支援しています。また、学生の国際研究集会での発表等も経費支援を行っています（平成25年度実績延べ約139名）。

- **NAIST 最優秀学生賞と最優秀学生賞**

- ▶ 博士前期課程および博士後期課程を修了した者の中から、その年度の最優秀学生を選出しています。最優秀学生には、本学支援財団より NAIST 最優秀学生賞として賞金が、本学より最優秀学生賞として記念の盾が贈呈されます。
- ▶ 博士前期課程では、学業成績、修士論文、および、研究業績を評価します。博士後期課程では、研究業績と博士論文を評価します。また、前期課程・後期課程ともに、各種の受賞や社会での活躍を評価に加味しています。

- ◇ **オープンで活気に満ちた教授陣と多彩な研究室構成**

- **活力あふれた多様な教授陣**

大学や研究所において精力的に先端的研究の実績をあげた若手研究者を教員として積極的に採用し、その若さを基盤に活力ある研究科を作っています。なお、専任教授は半数以上が大学以外の研究所に在職経験をもち、ほとんどが海外の大学での研究教育に従事した経験をもっています。

- **情報科学に関する広範囲な分野を網羅し充実した研究室構成**

情報科学研究科は平成23年度より専攻再編され、1専攻3領域となりました。コンピュータ科学領域は基幹研究室7（教授7、准教授7、助教8）および協力研究室1、メディア情報学領域は基幹研究室7（教授6、准教授7、助教9）、システム情報学領域は基幹研究室6（教授6、准教授4、助教9）および客員研究室1で、計20基幹研究室、1協力研究室、1客員研究室があります。これにより情報科学に関するほとんどの研究領域をカバーしています。これらの3つの領域は相互に繋がりが強くそれぞれの境界を意識することなく一体として教育と研究を行っています。

- **教育連携研究室等による産官学の共同研究・教育の積極的推進**

先端的な情報科学にかかわる高度な基礎研究を産官学共同で推進するため、学外の最先端の研究機関に13の教育連携研究室を設置しています。これらの研究室では、本学の教員や学生と、公的研究機関や企業研究所の研究員が共同で研究と教育を行っています。また、この他にも数多くの産官学共同プロジェクトを推進しています。

◇最先端の「曼陀羅」情報環境の完備

● 最新の統合情報処理環境「曼陀羅」

- ▶ 本学が世界に誇る統合情報処理環境「曼陀羅」（曼陀羅ネットワーク及び曼陀羅システム）は、基幹ネットワークに 40G ビット／秒の交換速度を持つネットワークスイッチを採用し、各研究室のフロアにも 1G～10G ビット／秒の速度帯域を提供しています。また、キャンパスの屋内外で 50M～100M ビット／秒の無線 LAN も運用されています。更に、国内外の学術研究ネットワークとの高速な接続も実現しており、広域ネットワークにおけるさまざまなサービスが利用可能です。
- ▶ 情報処理装置としては、1人1台のワークステーションと4ペタバイトを超えるファイルサーバ、また情報科学研究に不可欠な多様な高機能サーバ群を配置し、情報通信関連研究や生命情報関連研究など情報科学の先端的な研究を遂行していくための基盤環境を提供しています。

● 電子図書館とマルチメディア情報環境高度化の研究推進

- ▶ 本学の電子図書館は、最新の統合情報処理環境システムと融合することにより、いつでもどこでも雑誌や文献の内容が閲覧できる環境を実現した24時間稼働しているデジタルアーカイブです。
- ▶ 講義・講演や教育用ビデオなどのマルチメディア情報も収録しているので、情報ネットワークを介してどこからでも授業アーカイブを含む動画像などを閲覧できます。また、より高度な機能をもった最先端電子図書館の研究開発プロジェクトも推進されています。

コンピュータ科学領域 Computer Science

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術領域についての研究・教育を行っています。

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基	■ コンピューティング・アーキテクチャ 教 授 中 島 康 彦 准 教 授 姚 駿 助 教 高 前 田 伸 也	プログラムの新しい実行モデルを構築できる次世代アーキテクトを育成する。アプリケーション、OS、コンパイラ、ライブラリ、プロセッサ、論理設計、回路技術の各階層の要素技術から構成されるコンピュータシステムに関し、様々な階層・視点から、低消費電力化・高性能化・高信頼化の可能性を見出し、アイデアを結集して、コンピュータアーキテクチャを最適化する基盤技術を追求める。 ● 高性能・低電力・高信頼プロセッサ/アクセラレータ、粗粒度耐故障再構成可能アーキテクト、空間・時間冗長化融合処理機構、多数演算器系統制御、ハードウェア・ソフトウェアコデザイン、バイナリトランスレーション、エミュレーション、高速並列シミュレータ、FPGA、LSI開発、メニーコア、キャッシュコヒーレント機構、新素材向け耐故障極少ビット長アーキテクト、ビッグデータグラフ処理アクセラレータ、連想メモリ機構
	■ ディペンダブルシステム学 教 授 井 上 美 智 子 助 教 米 田 友 和 助 教 大 和 勇 太	高度情報社会を支えるシステムのディペンダビリティの確立を目的として、VLSIの設計とテスト、高信頼性コンピュータ、分散・並列アルゴリズムに関する研究・教育を行う。 ● システム・VLSI: 高信頼デザイン、テスト容易化設計、テストスケジューリング、低電力テスト、高品質テスト、組込自己テスト、劣化検知テストアーキテクチャ、データマイニングによるテスト最適化 アルゴリズム: フォールトトレラント分散アルゴリズム、無待機分散アルゴリズム、自己安定アルゴリズム、マルチコア・GPGPU向け並列アルゴリズム、LSI CADのための並列アルゴリズム
	■ ユビキタスコンピューティングシステム 教 授 安 本 慶 一 准 教 授 荒 川 豊 彦 助 教 玉 井 森 彦	あらゆる場所に情報技術が溶け込んだユビキタスコンピューティング社会の実現を目標に、様々な要素技術に関する基礎研究から、それらを用いた実システムの構築に至るまで、理論と実践の両面から教育・研究を行う。 ● ユビキタスコンピューティング、パーベイシブシステム、コンテキスト連携システム(行動支援、健康支援)、情報家電システム、高度交通システム(ITS)、センサネットワーク、位置連携システム、コンテキスト推定技術、ユーザ参加型センシング、ソーシャルセンシング、スマートハウス、e-health、DTN(災害時通信)
研	■ ソフトウェア基礎学 教 授 伊 藤 実 一 准 教 授 楯 勇 一 准 教 授 柴 田 直 樹 助 教 Juntao Gao	分散、モバイル、通信などの分野において、対象問題のモデル化、基礎理論の解明、問題解決のためのアルゴリズムの設計、およびアプリケーションソフトウェアの設計・開発を目標とした研究・教育を行う。 ● 分散コンピューティング、モバイルコンピューティング、高度交通システム(ITS)、クラウドコンピューティング、センサネットワーク、通信路符号とその応用、データ記録符号化方式、センサネット・M2Mセキュリティ、暗号鍵管理
	■ ソフトウェア工学 教 授 松 本 健 一 准 教 授 門 田 暁 人 助 教 伊 原 彰 紀 助 教 畑 秀 明	ソフトウェアの開発・利用・管理・教育を支援する技術について、理論面での議論と共に技術の有用性を確かめる実証実験の両面から研究・教育を行う。 ● ソフトウェア品質評価、ソフトウェアリポジトリマイニング、グローバルソフトウェア開発支援、協調ソフトウェア開発支援、オープンソースソフトウェア、ソフトウェアレビュー・テスト支援、ソフトウェア電子透かし・難読化、生体情報を用いた開発者の行動解析、マルチエージェントシミュレーション、ソフトウェアアナリティクス、ソフトウェア可視化・実体化
	■ ソフトウェア設計学 教 授 飯 田 元 准 教 授 市 川 昊 平 特 任 准 教 授 高 井 利 憲	大規模で複雑なソフトウェア・インフラストラクチャやソフトウェア・インテグレーション・システム、クラウドシステムの設計・開発に必要なとされる基盤技術や、設計法・開発管理手法について研究・教育を行う。 ● ソフトウェア・プロセス、ソフトウェア解析、コードクローン、リファクタリング、クラウド基盤システム、仮想計算機、仮想ネットワーク、開発支援環境、プロジェクト管理、ソフトウェア開発の見える化、ソフトウェア・ユーザビリティ、ソフトウェア教育、超上流分析、ソフトウェアの安全性・信頼性保証(アシュアランス)、ソフトウェアリスク分析手法、オープンソースプロジェクトのソーシャルネットワーク解析
室	■ インターネット工学 教 授 山 口 英 基 准 教 授 門 林 雄 基 特 任 准 教 授 奥 田 剛 特 任 准 教 授 樫 山 寛 章 助 教 檜 原 茂	社会インフラの一翼を担うインターネットを高度化していくための基礎的な技術開発と、社会に対する積極的な技術移転を目指す研究・教育を行う。 ● 次世代インターネット、ネットワークセキュリティ、Webセキュリティ、認証技術、デジタル著作権管理、オペレーティングシステム、仮想マシン、クラウドコンピューティング、ネットワークエミュレーション、オーバーレイネットワーク、モバイルアドホックネットワーク、ワイヤレスネットワーク、センサネットワーク、Delay Tolerant Network、衛星ネットワーク、位置情報サービス、Nowcast、Activity Stream
	■ (協力)情報基盤システム学 教 授 藤 川 和 利 准 教 授 猪 俣 敦 夫 助 教 垣 内 正 年 助 教 油 谷 暁 特 任 助 教 大 平 健 司	インフラストラクチャとしてのインターネットを支える基盤技術や運用技術からインターネットを利用したさまざまなサービス技術といった情報基盤に関連する研究・教育を行う。 ● コンピュータネットワーク運用管理、モバイルコンピューティング、P2Pネットワーク、Delay Tolerant Network、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、仮想化技術、暗号実装、ネットワークセキュリティ、マルウェア解析、電子図書館システム技術、4K/8K映像ストリーミング、IPv6サイトマルチホーミング、ネットワーク設定自動化

専攻の研究室名、教育連携研究室名及び教育研究分野

メディア情報学領域 Media Informatics

コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術領域についての研究・教育を行っています。

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基	■ 自然言語処理学 教 授 松 本 裕 治 准 教 授 新 保 仁 助 教 Kevin Duh 助 教 進 藤 裕 之	人間の知能の本質である自然言語の計算機による解析と理解を中心的なテーマとし、言語の構造の解明と定式化、また、その応用及び関連の研究・教育を行う。 ● 言語解析、言語知識獲得、機械学習、テキストマイニング、言語の意味解析、言語資源データベース、リンク解析、探索、文書からの情報抽出／知識獲得、機械翻訳、言語学習・言語教育支援、多言語情報処理
	■ 知能コミュニケーション 教 授 中 村 哲 准 教 授 戸 田 智 基 助 教 Sakriani Sakti 助 教 Graham Neubig	多言語コミュニケーション、対話システム、コミュニケーションQoL技術などの人間のコミュニケーション・知識を支援する知能コミュニケーション基盤技術に関する研究・教育を行う。 ● 多言語音声翻訳、言語コミュニケーション支援、対話システム、音声言語認識・理解・合成、話し言葉自然言語処理、音声変換・生成、Web複合メディア自動分析、マルチメディアデータマイニング、人間の音声言語個人性モデリング、脳信号解析 (Affective Computing)、概念学習、発話補助、サイレント音声インタフェース、QOL (Quality of Life)、及び、音メディア全般に関する情報処理システムに関する研究・教育を行う。
幹	■ ネットワークシステム学 教 授 岡 田 実 准 教 授 東 野 武 史 特任助教 侯 亜 飛	センシング、ワイヤレス通信、ワイヤレス電力伝送、電波エージェントといったユビキタスネットワークの基盤技術の実現と、これらの基礎となる信号処理理論や通信理論に関する研究・教育を行う。 ● 信号処理、変復調方式、無線通信、移動通信、デジタル放送、衛星通信、光電波融合通信システム、無線電力伝送、高信頼制御通信、電力線通信、モバイルマルチメディア、多元接続技術、OFDM、センサネットワーク、無線LAN、MIMO、デジタル回路設計、認識技術、ソフトウェア無線
研	■ 視覚情報メディア 教 授 横 矢 直 和 准 教 授 佐 藤 智 和 助 教 河 合 紀 彦 太 助 教 中 島 悠 太	コンピュータやロボットが外界を視る技術とコンピュータ内部の多様な情報を人間に効果的に見せる技術を中心に、視覚情報処理全般についての研究・教育を行う。 ● コンピュータビジョン、ロボットビジョン、画像処理、画像計測、仮想現実、複合/拡張現実、隠消現実、全方位視覚、動画像処理、カメラ位置推定、三次元モデリング、自由視点画像生成、画像修復、形状修復、動画像修復、映像中の重要領域推定
	■ インタラクティブメディア設計学 教 授 加 藤 博 一 准 教 授 Christian Sandor 助 教 武 富 貴 史 助 教 山 本 豪 志 朗	普段の生活の中で誰もがその恩恵に預かることができる未来のインタラクティブメディアのあり方を考え、それを実現するために必要となる、メディア処理、ヒューマンインタフェースに関する研究・教育を行う。 ● ヒューマンインタフェース、拡張現実感、三次元ユーザインタフェース、バーチャルリアリティ、画像計測、コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、パターン認識
室	■ 光メディアインタフェース 教 授 向 川 康 博	物理モデルに基づいて光学現象を解析することでシーンを正しく理解し、光を媒体とする人と計算機のインタフェースに関する研究・教育を行う。 ● コンピュータビジョン、光学解析、センシングシステム設計、コンピューショナルフォトグラフィ、質感表現、コンピュータグラフィックス
	■ 環境知能学 ☆ 教 授 萩 田 紀 博 准 教 授 浮 田 宗 伯 准 教 授 神 原 誠 之 助 教 川 波 弘 道	ロボットや人工物の「個体知能」と人、モノ、コトの環境情報を計測・認識して、数値・言語情報で構造化した「環境知能」を融合するネットワークヒューマンインタフェースに関する研究・教育を行う。 ● ネットワークロボット、環境情報構造化、ユビキタスコンピューティング、パターン認識、画像認識、拡張/複合現実感、ネットワークヒューマンインタフェース、ヒューマンロボットインタラクション (HRI)、位置計測、行動・意図の認識・理解

注) ☆印:客員。

システム情報学領域 Applied Informatics

生命現象や生命機能などを解き明かすバイオ情報処理や環境共生に関するシステム解析などの技術領域に関する研究・教育を行っています。

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
基	■ ロボティクス 教 授 小笠原 司 准 教 授 高 松 淳 助 教 池 田 篤 助 教 吉 川 雅 特任助教 山 口 明	視覚情報・触覚情報などのリアルタイムセンシングに基づいて知的システムを構成するために必要な技術に関して研究・教育を行う。 ● ロボットシステム、生活ロボティクス、リアルタイムシステム、人間機械協調、ロボットビジョン、ヒューマンインタフェース、強化学習・機械学習、マニピュレーション、ロボットハンド、電動義手、ヒューマンモデリング、トレーニングシステム、触覚情報処理、技能・感性評価、バイオメカニクス、移動ロボット、認知・心理
	■ 知能システム制御 教 授 杉 本 謙 二 助 教 松 原 崇 充	コンピュータ制御やその知能化・システム最適化などの先進的な情報科学技術に対して、数理的な手法を駆使し、実験による検証やロボット・メカトロニクスへの応用などの研究・教育を行う。 ● システム制御理論、機械学習、ロボット制御、ヒューマンロボットインターフェース、運動スキル学習、ロバスト制御、メカトロ制御、最適化、知能化システム、むだ時間システム、歩行、適応信号処理、制御応用、数理科学
幹	■ 大規模システム管理 教 授 笠 原 正 治 准 教 授 笹 部 昌 弘 助 教 川 原 純	情報システムに代表される大規模複雑システムの設計・制御・構成法に向けた数理的な手法と情報処理技術を開発し、現実システムに応用する研究・教育を行う。 ● クラウド・コンピューティング、ビッグデータ解析、リスク解析、待ち行列理論、アルゴリズム理論、ゲーム理論、ネットワーク・システム、大規模分散処理アーキテクチャ、サービス・サイエンス、オンライン・アルゴリズム、メカニズム・デザイン
	■ 数理情報学 教 授 池 田 和 司 助 教 久 保 孝 富 助 教 爲 井 智 也	数理モデルにもとづき、種々の現象、特に生体など学習・適応するシステムの基本原理を解明しその解析を行うことで、諸分野に応用する研究・教育を行う。 ● 数理情報学、機械学習、データマイニング、逆問題、脳情報科学、生体情報処理、システム神経生物学、適応ロボティクス、ヒューマンモデリング、ブレインコンピュータインタフェイス
研	■ 生体医用画像 教 授 佐 藤 嘉 伸	医用画像の解析を中心として、統計的学習や生体シミュレーションを統合して、人体の構造・機能の数理モデル化、および医療診断・治療の高度知能化を目指す“計算医学”に関する研究・教育を行う。 ● 医用画像解析、コンピュータ外科、仮想人体、計算解剖学、計算医学、統計的人体モデル、医療意思決定支援システム、診断・治療支援システム、手術ナビゲーション、手術シミュレーション、生体シミュレーション、ネットワーク医療、医療ビッグデータ、画像処理・拡張現実感・機械学習の医療応用
	■ 計算システムズ生物学 教 授 金 谷 重 彦 特任教授 西 岡 孝 明 准 教 授 杉 浦 忠 男 准 教 授 MD.ALTAFL-UL-AMIN 助 教 小 野 直 亮 助 教 佐 藤 哲 大 助 教 加 藤 有 己 特任助教 黄 銘	生命現象を情報科学により解明する。ナノからマクロに至る様々な生命機能に対する計測手法と、それによる生命機能解明のための情報処理技術に関する研究・教育を行う。 ● バイオデータベース、バイオネットワーク、バイオインフォマティクス、メタボロミクス、システムズバイオロジー ● 医療情報学、生命機能計測、生体医工学、バイオイメージング、近接場光学、ナノフォトニクス、インシリコバイオロジー、医用画像工学、医用グラフィックス、無拘束生体計測、ヘルスケアデータ解析
室	■ 神経計算学 ☆ 教 授 銅 谷 賢 治 ☆ 准 教 授 吉 本 潤 一郎	脳の柔軟な学習のしくみの解明に向けて、強化学習やベイズ推定の新手法の開発とロボット実験による検証、脳の回路と物質系の数理モデル化とその生理実験による検証を行う。 ● 計算神経科学、強化学習、ベイズ推定、マルチエージェント、大脳基底核、神経修飾物質、システム生物学
客員研究室		

注) ☆印:客員。

教育連携研究室

研究室及び教員		教 育 研 究 分 野
教 育 連 携 研 究 室	■ コミュニケーション学 ☆教授 山田 武士 ☆准教授 澤田 宏	インターネット上の大量のテキスト情報やSNS情報などとセンサーデータなどの実世界の情報を結び付け、人間の社会的・経済的活動をモデル化、分析、予測し、コミュニケーションの本質に迫る研究・教育を行う。 ● 機械学習、データマイニング、トピックモデル、センサ情報処理 (連携機関名: 日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
	■ 計算神経科学 ☆教授 川人 光 男 ☆教授 神谷 之 康	脳機能を情報処理の観点から明らかにするために、神経生理学、心理学、脳活動非侵襲計測、デコーディング手法、ロボティクス、ブレイン・マシン・インタフェースなど実験的な手法を、計算理論的な枠組で有機的に統合する研究・教育を行う。 ● 計算神経学、デコーディング手法、運動制御、視覚、内部モデル、強化学習、小脳、大脳基底核、脳活動計測、ロボット、ブレイン・マシン・インタフェース (連携機関名: (株)国際電気通信基礎技術研究所)
	■ ヒューマンウェア工学 ☆教授 小澤 順 ☆准教授 脇田 由実	ネットワーク社会における人間中心の情報処理をめざすヒューマンウェアを、脳機能統合センシング、人とロボットとのインタラクション・学習制御技術で実現する研究・教育を行う。 ● ヒューマンウェア、ユーザインタフェース、脳機能、学習制御、ロボット、マニピュレータ (連携機関名: パナソニック(株)先端技術研究所)
	■ シンビオティックシステム ☆教授 藤田 善 弘 ☆准教授 小西 琢	30年後の社会実現に向けての情報システムのあるべき姿の検討を通して、人間、社会、環境、情報を統合した社会インフラとして実現するための研究・教育を行う。 ● 生体計測、センシング、実環境理解、因果関係分析、情報インタラクション、実世界インタフェース、社会システムデザイン、大規模シミュレーション (連携機関名: 日本電気(株)C&Cイノベーション推進本部)
	■ マルチメディア移動通信 ☆教授 奥村 幸彦 ☆准教授 浅井 孝浩	超広帯域なマルチメディア情報が伝達できる次世代移動通信方式の無線回線設計、アンテナ・電波伝搬、無線回路、MIMO技術、移動無線アクセス、端末技術についての教育・研究を行う。 ● 移動通信、ブロードバンド、ダイバーシティ、適応アレー信号処理、アンテナ・電波伝搬、無線回路、回線設計、移動無線アクセス、可変ビットレート伝送、無線中継、MIMO (連携機関名: (株)NTTドコモ)
	■ 光センシング ☆教授 諏訪 正 樹 ☆准教授 井尻 善 久	画像処理によるパターンや立体物の認識、あるいは人間の顔や動作の認識などを中心に、人間の視覚機能に迫るビジョンセンシングの研究・教育を行う。 ● ビジョンセンシング、画像意味理解、3次元画像計測・認識、Time of Flight Sensor、画像処理、FA画像処理、ひとの動作理解 (連携機関名: オムロン(株)技術本部技術開発センター)
	■ 生体分子情報学 ☆教授 上野 豊 ☆教授 福井 一彦	タンパク質など生体分子の機能とそのメカニズムを探るための、バイオインフォマティクスの手法を研究する。大規模計算機を活用したデータベースからの網羅的な探索、さらに実験的データにおける情報の欠損を補う分子シミュレーションなど、情報工学的な手法により生命科学における知識発見を目指す研究・教育を行う。 ● バイオインフォマティクス、タンパク質、分子間相互作用、分子シミュレーション、単粒子解析、スクリプト言語 (連携機関名: 独立行政法人産業技術総合研究所)
	■ デジタルヒューマン学 ☆教授 加賀美 聡 ☆准教授 山崎 俊太郎	人の形・動作・生活行動と取り巻く生活環境の計算機表現、センサからの理解機能、およびロボットによる支援機能について研究・教育を行う。 ● デジタルヒューマンモデリング、人間と人環境の理解とその利用法、サービスロボット、位置認識、地図作成、物体認識、モーションプランニング (連携機関名: 独立行政法人産業技術総合研究所)
	■ 放射線機器学 ☆教授 飯田 秀 博 ☆准教授 銭谷 勉	新しい画像診断技術や撮像法の開発、および最先端の画像診断機器(PET,SPECT,MRI装置)を利用した組織、細胞、生体分子の機能を正確に観察するための基礎から臨床応用分野の研究・教育を行う。 ● 医用放射線機器、放射線画像処理、PET、SPECT、MRI、診断支援システム (連携機関名: 国立循環器病研究センター研究所)
	■ セキュアソフトウェアシステム ☆教授 大岩 寛 ☆准教授 Cyrille Artho	組み込みソフトウェアに要求される信頼性・安全性の高まりを踏まえ、ソフトウェアの安全性の担保に必要な技術や、安全性を「目に見える」形で提示し説明する技術、またそれらをソフトウェア開発の各段階や安全性の第三者認証の工程などに具体的に適用するために必要な手法を研究開発し、産業としての安全なソフトウェア構築手段の体系化を目指します。 ● システム・ライフサイクル、仕様記述、モデル検査、形式検証、ディペンダビリティ (連携機関名: 独立行政法人産業技術総合研究所)
■ ネットワーク統合運用 ☆教授 小林 和 真 ☆准教授 河合 栄 治	未来のインターネットを実現するための、ネットワーク基盤・アーキテクチャ・サービス技術ならびにその検証・展開・普及に関する研究・教育を行う。 ● 通信インフラ技術(光、無線、アクセスなど)、大規模ネットワーク基盤技術、次世代インターネット技術、新技術の実展開に関わる統合、移行技術 (連携機関名: 独立行政法人情報通信研究機構)	
■ 超高信頼ソフトウェアシステム検証学 ☆教授 片平 真 史 ☆准教授 宮本 祐 子	極限環境で正しい動作が求められるソフトウェアの超高信頼性・安全性を実現するためのソフトウェア検証方法論を研究する。特に、複雑分散ソフトウェアシステムの検証 網羅性保証(End-to-End評価)に必要な以下の方法論を研究・教育する。 ● 高信頼性・安全性検証手法(ロバスト性検証及、検証自動化のアルゴリズム・方法論)、高信頼性・安全性評価手法(ソフトウェアシステム全体の欠陥モードの体系化及びそのシステムへの影響度評価手法) (連携機関名: 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 情報・計算工学センター)	

注) ☆印:客員。

教育連携研究室

	研究室及び教員	教 育 研 究 分 野
教育連携研究室	■ ネットワーク統合運用 ☆ 教授 小林 和真 ☆ 准教授 河合 栄治	インターネットの進化を実現するための、新しいネットワーク・サービス技術ならびにその検証・展開・普及に関する研究・教育を実地的見地から行う。 ● 大規模ネットワーク設計・構築・運用技術、次世代ネットワーク・サービス技術、新技術の検証（テストベッド）技術、新技術の導入・移行技術、新技術の世界展開に関わる産官学連携 （連携機関名：独立行政法人情報通信研究機構）

注) ☆印:客員。

3 情報科学研究科の教育 及び 研究指導方針

3 情報科学研究科の教育及び研究指導方針

現在の社会において、有効な情報の創出とその安全な利用の重要性は増す一方です。このような社会の進展に応じて、情報科学研究科では、情報科学に係る高度な基礎研究を推進するとともに、感覚と判断を支援する情報処理技術、大規模な情報システムを構成する技術、安心できる情報ネットワークの構築と運用の技術、情報科学と生命科学が関わる広汎な融合研究など、情報科学に関する広範囲な領域をカバーした体系的な教育プログラムを実施して、将来の研究開発を担う研究者や高度な専門性をもった技術者を養成します。特に、ソフトウェア開発、情報セキュリティ管理、次世代ロボティクス開発の三分野については、各分野の専門的人材や、これらを複合的に修得した統合型人材の育成を目的とした「産学連携・分野横断による実践的 IT 人材養成推進事業」を実施しており、平成 24 年度から演習や実習を重視したカリキュラムを導入しています。

博士前期課程

教育目標

情報科学は、人間の思考や学習を基盤にして、社会活動に大きな影響を与えます。そのため、情報分野の学部を卒業した人だけでなく、さまざまな分野の多様な経歴を持った人を大学院生として受け入れます。周到に準備されたカリキュラムによる学習と、多様な経歴を持った人々の中での研究活動により、広い視野と着実な技術を備えた修士（工学または理学）を育成します。

進路としては、博士後期課程に進んで研究を深めること、企業において産業活動や社会活動に携わること、あるいは、自ら起業して新しい息吹を直接社会に活かすことなど、いろいろな可能性を選択できるようにしています。いずれの方向であっても、情報科学に関連する幅広い知識と関心がある専門分野の先端の知識を修得すること、プレゼンテーションやコミュニケーションの能力を高めること、国際的に活躍するために英語の能力を高めること、適正な倫理感をもつことなどが不可欠です。これらの能力を備えて、社会の変化に柔軟に対応して活躍できる人材の育成を目指しています。

指導計画と方針

1. 多様な経歴と志望分野にあわせた授業の選択に応えるカリキュラム

情報科学は社会のあらゆる分野において基盤となり、その技術はいたるところで利用されています。先端の技術は競争が激しく、変化が速く、社会に及ぼす影響も大です。

そのため、カリキュラムとして、長期にわたって基盤となる科目、専門的な科目、先端的・

学際的な科目を体系的に揃えています。科目が対象とする分野は「コンピュータ科学」「メディア情報学」「システム情報学」に分けて、選択の指針としています。なお、本章の冒頭で紹介した種々の人材育成プログラムに関連する科目は一般の学生も受講可能な場合がありますが、詳細についてはそれぞれの注意点を別途、説明します。

情報科学以外の分野の経歴をもつ人が、この分野で学習と研究を進め易いように、計算機科学と数学の基礎科目を履修して、論理的な思考能力を向上できるように準備しています。また、情報科学分野出身者も含めて、専門科目の履修や研究で必要となる基礎的な知識を効率よく学習できるよう、平成 25 年度から、数学系、計算機科学系の基礎科目を大幅に拡充しています。

先端領域の科目には、連携研究室の教員や企業での開発経験者、学際領域の科目には、他大学や法律事務所の方に、授業担当をお願いしています。現実社会の問題や技術的な課題に対する認識を一層深めることをねらっています。

2. 研究室配属

多くの学生が高い問題意識と研究分野の志望を持って入学してきます。そのため、入学式の前後に、連携研究室を含めて各研究室の紹介をして、見学の期間を設け、学生の希望調査をもとにして、入学後 2 週間余りで所属する研究室を決定します。受け入れ人数は研究室によって均等にすることはなく、学生の希望を最優先して、殆どの学生を第一希望の研究室に配属しています。

いったん配属が決まってから、自分の希望が変わったり、研究室の内容が希望に合わなかったことが判ったりしたときには、状況が許す限り研究室の変更を認めています。関心をもって自主的に研究を進めていける状態を作ることが重要です。

3. ゼミナールにおける討論と発表

ゼミナール (I, II) では、情報科学の見識を広め、問題点を探るとともに、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を涵養します。ゼミナール I は国内外の一流の研究者や技術者から先端研究の紹介や技術の動向を伺い、質問や意見を積極的に述べる訓練をします。ゼミナール II では、各自の修士論文の研究計画や研究経過を報告して、指導教員や学生のコメントを受けます。これは、学友の発表に対して質問や意見を述べて、互いに切磋琢磨する機会になります。それが、修士論文の完成度を上げる手がかりとなり、最終審査に臨む練習となります。また、学会などでの研究発表に対する自信をもたらします。

4. プロジェクト実習

プロジェクト実習では、授業では扱えなかった問題や課題について、実習や実験を行います。それによって、実際の開発における問題点を考察し、実用化における設計能力を養いま

す。また、インターンシップとして、他研究機関や企業で、与えられたテーマの研究や開発に携わって、現場での問題解決を体験します。これらの実験や実習を通じて、授業で修得した知識の活用を学ぶとともに、新たに何を修得する必要があるかを知ります。実習の結果を報告書にまとめることにより、成果と課題を明らかにすることの重要性を認識します。

5. 修士論文研究

大学院の教育は、授業を通じて多くを学ぶことと、自ら研究することが2つの柱です。後者を修士論文研究と呼ぶことにします。修士論文研究では、「研究論文」または「課題研究」のいずれかを選択します。「研究論文」では、未知の問題について研究を進め、創意を發揮して問題解決することを目指し、その成果を論文の形に総括します。解決方法における創造性、有用性、あるいは、実用性が評価されます。「課題研究」では、特定の課題あるいは研究分野の概観、技術動向の調査、製品の開発などを行い、報告書の形にまとめます。課題や解決法の体系化、将来に向けての見通しなどが評価されます。

修士論文研究では、主指導教員の指導に加えて、副指導教員など複数の教員が協力して指導に当たります。研究の任意の時点でアドバイスを求めることができますが、とくに、ゼミナール II における中間発表では、研究の進行と問題点について意見とアドバイスを受けます。

6. 英語教育の充実

研究者を目指すか、企業での技術者を目指すかに関わらず、情報科学分野で国際的に活動するためには、英語能力が不可欠です。「英語プレゼンテーション法入門」、「英語コミュニケーション法 I, II」、「英語ライティング法」および「英語プレゼンテーション法」を通じて、英語によるコミュニケーションと表現の能力を養います。さらに、「英語プロジェクトマネジメント法」、「英語論文検索法」、「英語デジタルメディア活用法」のより進んだ内容の科目もあります。また、年2回、TOEIC 英語試験を受験できる機会を設けています。いずれも各人の選択に任せていますが、英語能力の重要性を認識して積極的な履修と受験を勧めます。各自の英語能力を把握して、英語科目を受講し、能力の向上に努めることが大切です。さらに、ネットワークを介した「英語学習システム(ALC Net Academy 2)」を利用して、実践的な英語能力の向上を図ることができます。

ゼミナール I では、外国人研究者の講演をできるだけ多くして、生きた英語に接する機会を作るようにしています。

平成 23 年度から専門科目の一部に英語コースを設け、英語のみの講義によって前期課程の必要単位が修得できるようにカリキュラムを変更しました。これにより、25 の専門科目が英語で講義されます。

博士後期課程

教育目標

博士後期課程では、長期的な広い視野と、専門とする分野の深い知識を持って、独立して研究を進めることができる研究者を育成します。それには、学術面あるいは社会において解決または改良が求められている問題を見つけ出して、それを遂行するための研究計画を立案し、解決の方法や改良の方法を考え出す能力が必要です。さらには、提案した方法によって解を実現し、評価することが求められます。修了後は、大学や企業等の研究機関において、未知の問題に取り組む研究者や高度な技術者、あるいは、後進を指導できる教育者としての活躍が期待されています。

情報科学に関連する分野は、進歩が激しく変化が絶えませんが、それに依らない普遍的な方法（普遍性）、あるいは、それに対応できる柔軟な方法（柔軟性）、信頼できる方法（信頼性）と、それを保証する尺度が求められます。これらの能力を備えて、国際的に活躍する人材の育成を目指しています。

指導計画と方針

1. 博士論文研究

博士後期課程では博士論文の研究を進めることが課題の中心です。問題を見つけ出して、研究計画を立て、創意を持った研究を遂行して解法を提案し、さらには、開発あるいは実装します。関連研究を調査すること、自分の提案を客観的に評価すること、残された課題を明らかにすることも欠かせません。これらの過程で、教員が適切な指導と助言をして、研究を支援します。得られた成果を学術論文あるいは国際会議に公表します。

2. 中間発表

課程の中間で博士論文研究の経過と結果、および、その後の計画を発表します。複数の指導教員が、それに対して質問をし、意見やアドバイスを述べ、研究の有効な推進を支援します。質問に適切に応答することは、自分の研究を見直す良い機会になります。

3. TA あるいは RA の担当

TA は前期課程の授業の補助や研究指導の補助を担当します。それによって、授業や研究の中から新しい課題を発見することができ、将来の教育者として必要な素養が身に付きます。RA は指導教員の研究補助を担当します。自分の研究と並行して、関連した課題に取り組むことにより、視野と考察の範囲を広げることができます。いずれも、研究者として独立する場合の貴重な経験になります。

4. 英語教育

前期課程の科目の中で、とくに、「英語ライティング法」および「英語プレゼンテーション法」の履修を推奨しています。研究の成果を英語で発表して、国際的に活動するために必要な能力を一層向上させます。また、ネットワークを介したオンラインの「英語学習システム (ALC Net Academy 2)」や、オフラインの英語教材 (CD-ROM) を利用して、常に英語能力の向上に努めること、年2回の TOEIC 英語試験を受験して、自己の英語能力を把握することなどの環境を整えています。ゼミナール I での外国人研究者の講演、研究科を訪問された外国人研究者との討論の機会を活用することを勧めています。

5. 授業科目の履修

博士論文研究を進めるに際して、必要があれば、前期課程の授業を自由に履修することができます。研究の背景を学び直すことにより、問題の位置付けが明らかになることがあります。一方、後期課程への入学の条件によって、授業を履修して学力や知識の向上を求めることがあります。それによって、研究についての輪講や討論の意義を深めることができます。

6. 単位認定

平成 22 年度から、博士後期課程での研究指導、ゼミナール発表などの単位認定を行っています。海外の大学での学位取得（ダブルディグリー等）を想定しています。

4 情報科学研究科履修要件等
(情報科学研究科履修規程を含む)

4 情報科学研究科履修要件等

修了要件

博士前期課程

修了要件一覧 [平成26年度入学者用]

授業科目の区分	設置 単位数	必要修得単位数	
		研究論文の場合	課題研究の場合
基礎科目	19	6	6
一般科目	21		
専門科目	85	14 ^{※1}	14 ^{※1}
ゼミナールⅠ	1	1	1
ゼミナールⅡ	1	1	1
研究室特論Ⅰ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅱ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅲ ^{※2}	21	1	1
研究室特論Ⅳ ^{※2}	21	1	1
研究論文	4	4	0
課題研究	4	0	4
合計		30	

※1 ただし、講義科目8単位以上、演習科目2単位以上をそれぞれ含むこと。

※2 配属研究室の特論に限る。

4. Completion requirements for the Graduate School of Information Science

Completion requirements

Master's Course

Completion requirements (for students admitted in academic year 2014)

Subject category	Number of credits to be earned	Number of credits to be earned in the Graduate School of Information Science	
		In the case of research thesis	In the case of thematic research
Basic Subjects	19	6	6
General Subjects	21		
Specialized Subjects in Information Science	85	14* ¹	14* ¹
Seminar I	1	1	1
Seminar II	1	1	1
Advanced Topics in Information Science I * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science II * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science III * ²	21	1	1
Advanced Topics in Information Science IV * ²	21	1	1
Research Work	4	4	0
Theme Research	4	0	4
Total		30	

* 1 Students should take 8 credits or more from lectures and 2 credits or more from practices out of 14 credits.

* 2 Students should take Advanced Topics in Information Science provided by the laboratories that they belong to.

博士後期課程

学則第42条及び学位規程に関連

1. 博士後期課程の修了要件

博士後期課程を修了して、博士の学位を取得しようとする者は、定められた授業科目の必要な単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出して、その内容を公聴会で発表し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。なお、必要と認めるときは、上記授業科目に加えて、所要の授業科目の単位の修得を課すことがある。なお、博士後期課程に入学してから1年6か月後に、副指導教員の出席のもとで、研究の中間報告をする。

2. 博士論文を提出するときの目安は概ね次のとおりである。

- (a) 博士論文の研究内容に、独創性、新規性あるいは有効性があること。
- (b) 博士論文の主題に相当する内容が、査読付きの論文（full paper）あるいは査読付きの国際会議での発表論文（full paperに準ずるもの）として、発表されているか又は近々発表予定であること。

3. 博士の学位を授与する条件

論文審査により、博士論文を提出した者が、独立した研究者又は技術者として、研究・開発活動を続けていく十分な素養を備えていると判断できること。

修了要件一覧 [平成26年度入学者用]

授業科目の種類	設置単位数	必要修得単位数
国際化科目Ⅰ（A、B）	2	2
国際化科目Ⅱ（A、B、C）	6	
先進学際領域特論Ⅰ、Ⅱ	2	
先進情報科学特別講義（Ⅰ～Ⅳ）	4	
先進情報科学考究	2	2
先進ゼミナール	2	
博士学位論文研究（Ⅰ～Ⅵ）	18	6
合計		10

（注）出願資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められ、情報科学研究科博士後期課程に入学した者については、別に修了要件を課す場合がある（次頁を参照すること）。

Doctoral Course

In connection with Article 42 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology and the Rules on Academic Degrees

1. Completion requirements for the Doctoral Course

Individuals who wish to complete the Doctoral Course and obtain a doctoral degree are required to earn necessary credits in specified courses, receive necessary Research Guidance, submit a doctoral thesis, deliver a presentation at a hearing, and pass the doctoral thesis examination and final examination. If deemed necessary, individuals may be required to earn credits in specified courses in addition to the above courses. Individuals are also required to give an interim report concerning research in the presence of their sub-research advisors 18 months after being admitted to the Doctoral Course.

2. A doctoral thesis should fulfill the requirements below.

- (a) The content of research should be characterized by originality, novelty, or availability.
- (b) The content that corresponds to the theme of the doctoral thesis has been published or will be published in the near future in the form of a paper subject to screening (a full paper) or a paper presented at an international conference and subject to screening (a paper equivalent to a full paper).

3. Conditions to award a doctoral degree

A doctoral degree is awarded to individuals who are recognized to be fully capable of continuing research and development activities as independent researchers or engineers based on the doctoral thesis submitted to the thesis examination.

Completion requirements (for individuals admitted in academic year 2014)

Course	Number of credits earned	Number of credits required to be earned in the Departments of Information Processing, Information Systems, and Bioinformatics and Genomics
International Communications I (A, B)	2	2
International Practice II (A, B, C)	6	
Advanced Interdisciplinary Domain I, II	2	
Advanced Cutting-edge Research Seminar (I-IV)	4	
Advanced Project Management	2	
Research Status Hearing	2	2
Doctoral Research (I-VI)	18	6
Total		10

Note: Individuals who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder, through the qualification screening in the application process, may be required to fulfill additional completion requirements (refer to the next page).

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が
情報科学研究科の博士後期課程に入学した場合の修了要件

学則第42条第3項及び情報科学研究科履修規程第4条第2項に関連し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の履修要件（授業科目、単位数及び履修方法等）については、前頁の博士後期課程の修了要件に加え、次のとおり定める。

区 分		履 修 要 件
大学（外国の大学を含む）を卒業した者	情報系学科 卒業者	前頁の修了要件以外の単位の修得は課さない。
	情報系学科以 外の卒業者	前頁の修了要件に加え、原則として、情報科学研究科教育課程表(博士前期課程)に定める授業科目のうち、一般科目を除く授業科目から6単位以上を修得すること。 ただし、ゼミナールⅠ、Ⅱ、研究論文、課題研究、博士後期課程修了要件の科目(先進情報科学特別講義等)を除く。
大学（外国の大学を含む）を卒業していない者		前頁の修了要件に加え、原則として、情報科学研究科教育課程表(博士前期課程)に定める授業科目のうち、一般科目を除く授業科目から10単位以上を修得すること。 ただし、ゼミナールⅠ、Ⅱ、研究論文、課題研究、博士後期課程修了要件の科目(先進情報科学特別講義等)を除く。

(注) 前頁の修了要件に加え、上表の履修要件により、単位の修得の必要な者については、情報科学研究科教授会に諮り決定する。

Completion requirements for students who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder

In connection with Article 42-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology and Article 4-2 of the Completion Rules for the Graduate School of Information Science, the completion requirements applicable to students admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder (courses, credits, and registration procedures) shall be as stated below, in addition to the completion requirements in the Doctoral Course (refer to the previous page).

Category		Completion requirements
Individuals who have graduated from universities (including foreign universities)	Individuals who have graduated from information-related departments	Individuals are not required to earn credits other than the completion requirements on the previous page.
	Individuals who have graduated from departments other than information-related departments	In principle, individuals are required to earn six credits or more in courses set forth on the curriculum table of the Graduate School of Information Science (the Master's Course), except for general subjects, in addition to completion requirements on the previous page. However, this excludes Seminars I and II, thesis writing, thematic research, and subjects covered by completion requirements of the Doctoral Course (such as Advanced Cutting-edge Research Seminar, etc.).
Individuals who have not graduated from universities (including foreign universities)		In principle, individuals are required to earn 10 credits or more in courses set forth on the curriculum table of the Graduate School of Information Science (the Master's Course), except for general subjects, in addition to completion requirements on the previous page. However, this excludes Seminars I and II, thesis writing, thematic research, and subjects covered by completion requirements of the Doctoral Course (such as Advanced Cutting-edge Research Seminar, etc.).

Note: The Faculty Council of the Graduate School of Information Science is responsible for identifying individuals who are required to earn credits to fulfill completion requirements in the table above, in addition to those on the previous page.

授業科目の履修等

・履修方法等

1. 履修手続

授業科目の履修については、指導教員とよく相談をして、各期ごとに履修計画をたててください。なお、履修にあたっては、次の点に注意してください。

- (1) 情報科学研究科で開講している授業科目については、それぞれの授業科目の1回目あるいは2回目の授業に必ず出席して、授業担当者の指示に従ってください。（研究科事務室への「履修届」の提出は必要ありません。）
- (2) バイオサイエンス研究科及び物質創成科学研究科で開講している授業科目については、「履修届」を研究科事務室へ提出してください。
- (3) 同じ時間帯に行われている授業を重複して履修することは、原則として認めません。
- (4) 重複して単位を取得したことが判明したときは、学生がどちらかの単位を選んで、他方の単位の認定を取り消します。

2. 入学前の既修得単位の認定について

本研究科教授会において教育上有益と認めるときは、10単位を超えない範囲で本研究科入学前の他大学院での既修得単位を認定することができます。認定を願い出る者は次の書類を添えて学生課学務係まで願い出てください。

- (1) 入学前の既修得単位認定願出書（学生課にあります。）
- (2) 単位を修得した大学院の単位修得・成績証明書
- (3) 認定を希望する授業科目の講義内容が説明できる書類（講義概要等の写）

※願出手続き等の日時については、掲示等により連絡しますので注意してください。詳しくは学生課学務係までお問い合わせください。

3. 他の研究科との間における授業交流

本研究科とバイオサイエンス研究科及び物質創成科学研究科との間において授業交流を実施していますので、履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 履修希望学生は、所定の履修願を提出してください。
- ② 履修することができる授業科目は、次のとおりです。

研究科名	授業科目の種類
バイオサイエンス研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目
物質創成科学研究科	一般科目、基礎科目及び専門科目

- ③ 履修希望学生は、相手研究科の学生ハンドブックのシラバス及び時間割を参考に履修科目を選定し、主指導教員の承諾及び履修しようとする当該授業科目担当教員の許可を得てください。
 - ④ 授業科目によっては、相手研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。
- (2) 単位の認定について

相手研究科で認定された単位は、一般科目として6単位まで修了の要件となる単位として充当することができます。

(3) 履修願取扱期間

履修願の提出期間及び提出先等手続きに関する詳細については、後日掲示等にて連絡します。

4. 他の大学院との間における授業交流

本研究科は、以下の大学院、研究科と授業交流を実施しています。

- ・大阪大学大学院工学研究科
- ・大阪大学大学院基礎工学研究科
- ・奈良女子大学大学院人間文化研究科（情報科学専攻）
- ・Cloud Spiral「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」（大阪大学大学院情報科学研究科）
- ・IT Keys「社会的 IT リスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成プログラム」（大阪大学大学院情報科学研究科、京都大学大学院情報学研究科、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科）

履修希望者は次の事項を熟読の上、所定の手続きをとってください。詳細については、学生課学務係に照会してください。

(1) 履修方法等について

- ① 履修希望学生は、所定の履修願及び理由書を提出してください。
- ② 履修総単位数は、博士前期課程において、10単位以下とします。
- ③ 履修科目の範囲は、原則として講義のみとし、演習、実習、実験、研究等は含みません。
- ④ 授業科目によっては、相手先大学院研究科の授業収容人数その他の都合により、履修が許可されないことがあります。

(2) 単位の認定について

当該授業科目を履修する前に、本研究科教授会で修了に必要な単位として認められた場合は、相手先大学院研究科で修得した単位は、本研究科所定の単位数に認定します。

(3) 履修願及び理由書取扱期間

詳しい日程は、各大学により取扱いが異なりますので、後日掲示等にて連絡します。

(4) 履修願及び理由書提出手続

- ① 履修願及び理由書の用紙は、学生課学務係で交付します。
- ② 履修希望学生は、相手大学院研究科の講義内容及び開講時期等を参考に履修科目を選定し、指導教員の承認（承認印を必要とする）を得て、履修願及び理由書を学生課学務係に提出してください。

5. 成績表の交付について

成績の結果については、附属図書館玄関ロビーの証明書自動発行機により成績表（交付用）を出力し、本人自らが確認する方法を取っています。

6. 他の大学院等における研究指導

他の大学院や研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると認められた場合には、該当する他の大学院等と協議の上、他の大学院等において必要な研究指導を受けることができます。研究指導を受けられる期間は、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ通算して1年以内ですが、博士後期課程については、期間の延長を認められることがあります。他の大学院等における研究指導を希望される場合は、事前に指導教員と相談の上、指導を受ける予定月の2ヶ月前までに学生課学務係に連絡してください。

・教育職員免許状（専修免許状）について

現に高等学校教諭一種免許状（情報）を有する者（免許状申請に必要な単位取得者含む）は、本学の博士前期課程を修了する時に次に掲げる「教科に関する科目」を24単位修得していれば当該校種の専修免許状（情報）を取得することができます。

奈良県教育委員会への申請は、学生課学務係が一括して行います。手続き等の詳細については、10月中旬に申請予定を照会後、1月頃に電子メールにより通知します。

（教科に関する科目）

・「情報」専修免許取得用

授 業 科 目 名	
基礎科目	アルゴリズムⅠ、アルゴリズムⅡ、計算機システムⅠ、計算機システムⅡ、情報理論、形式言語理論基礎、信号処理論、数値計算法、データ解析基礎
専門科目	計算理論Ⅰ、計算理論Ⅱ、計算理論Ⅲ、ハードウェア設計論Ⅰ、ハードウェア設計論Ⅱ、高性能計算機アーキテクチャ、分散システムとミドルウェア、ソフトウェア設計論、システム要求工学、仮想化システム基盤、ソフトウェア工学Ⅰ、ソフトウェア工学Ⅱ、音情報処理、人工知能：探索とマイニング、環境知能、自然言語処理、コンピュータビジョンⅠ、コンピュータビジョンⅡ、コンピュータグラフィックス、バーチャルリアリティ、画像情報処理、符号理論、情報ネットワーク論Ⅰ、情報ネットワーク論Ⅱ、無線通信システム、信号検出理論、ネットワークシミュレーション、系列データモデリング、ヒューマンコンピュータインタラクション、パターン認識、離散事象システム論、システム制御Ⅰ、システム制御Ⅱ、ロボティクスⅠ、ロボティクスⅡ、数理モデル論、計算神経科学、ユビキタス情報処理、生命機能計測学、医用画像解析、ビッグデータアナリティクス、現代情報セキュリティ論、モバイルコンピューティング論、先端複合技術論

以上の授業科目から、24単位を修得すること。

・交通機関運休等の場合の授業の取扱いについて

1. 交通機関運休の場合の取扱い

大規模な災害、事故等の発生により、通学路線のうち「近鉄電車（けいはんな線、奈良線、京都線）」あるいは「奈良交通バス（学研北生駒駅、学園前駅、高の原駅路線）」が運休した場合、授業は休業します。なお、運休が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

2. 気象警報発令時の取扱い

奈良市・生駒市のいずれか又はこれらの市を含む地域に暴風警報（又は暴風雪警報）が発令された場合、授業は休業します。なお、同警報が解除された場合の取扱いは次表のとおりです。

運休及び警報解除時刻	授業の取扱い
午前7時以前に解除された場合	全日授業実施
午前10時以前に解除された場合	午後授業実施
午前10時を経過しても解除されない場合	全日授業休業

（注）発令及び解除の確認は、テレビ・インターネット等の報道によります。

Registering for courses

• Registration

1. Procedures

Students are required to develop plans to register for subjects for each semester, based on full consultation with their research instructors. Please note the following when choosing subjects.

- (1) For subjects offered by the Graduate School of Information Science, students are required to attend the first or second class of a course and follow the instructions of the faculty members in charge. (It is not required to submit a registration form to the Graduate School Office.)
- (2) For subjects offered by the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science, students are required to submit a registration form to the Graduate School Office.
- (3) In principle, it is not allowed to take simultaneously two subjects offered in the same time slot.
- (4) If a student is found to have earned credits in subjects that are offered in the same time slot, the student shall be required to choose the credits earned in only one of the subjects. The credits earned in the other subject will be cancelled.

2. About credits earned prior to admission to NAIST

The Faculty Council of this graduate school can give credit for up to 10 credits earned at graduate schools other than NAIST, if deemed educationally beneficial to do so. Students who apply for this procedure are required to apply to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division with the following documents.

- (1) Application form for this purpose (The form is available at the Student Affairs Division.)
- (2) Certificate of credits earned, or certificate of academic record, issued by the graduate school other than NAIST at which credits have been earned
- (3) Documents that show in some detail the content of lectures given in subjects to be considered for accreditation by NAIST (a copy of the syllabus, etc.)

* The schedule for application procedures, etc. will be posted on the bulletin board or provided by other means. Please check the information carefully. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

3. Credit transfer program with other NAIST graduate schools

A credit transfer program is in place between this graduate school and the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science. Students who want to make use of the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

- (1) Registration method, etc.
 - (i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form.
 - (ii) The following types of subjects are available via the credit transfer program.

Graduate school	Subjects
Biological Sciences	General subjects, basic subjects, and special subjects
Materials Science	General subjects, basic subjects, and special subjects

(iii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they will take by referring to the syllabus and class schedule in the Student Handbooks issued by the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science, and obtain approval from their main research instructors and permission from faculty members in charge of the subjects that they want to take.

(iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the Graduate Schools of Biological Sciences and/or Materials Science.

(2) Credit transfer

Up to six credits earned by taking subjects at the Graduate Schools of Biological Sciences and Materials Science may be counted as credits for general subjects in Information Sciences.

(3) Timing of registration application

For more information about the procedures (including the timing of submitting registration application forms and offices to which application forms should be submitted), students will be notified via the bulletin board or by other means at a later date.

4. Credit transfer program with graduate schools of other universities

A credit transfer program is in place between this graduate school and the following graduate schools of other universities:

- Graduate School of Engineering, Osaka University
- Graduate School of Engineering Science, Osaka University
- Graduate School of Humanities and Sciences (Department of Information and Computer Sciences), Nara Women's University
- Cloud-Spiral program (Graduate School of Information Science, Osaka University)
- IT-Keys program (Graduate School of Information Science and Technology, Graduate School of Informatics, Kyoto University, School of Information Science, Japan Advanced Institute of Science and Technology)

Students who want to use the credit transfer program should read the instructions below carefully and follow the prescribed procedures. For more information, please contact the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

(1) Registration method, etc.

(i) Students who want to use the credit transfer program are required to submit the prescribed registration application form and a statement of their reasons.

(ii) For the Master's Course, the total number of credits registered shall be a maximum of ten.

(iii) In principle, the scope of registration for subjects shall be lectures only, and shall not cover seminars, practical work, experiments, research, etc.

(iv) Students may be refused permission to take specific subjects due to reasons including lecture room capacity at the graduate school.

(2) Credit transfer

Credits earned at the previous graduate school are counted as credits towards the completion requirements for this graduate school, provided that the Faculty Council of this graduate school recognizes them as such before the student take such subjects.

(3) The period for accepting the registration application form and the statement of reasons

The period for accepting these documents differs depending on the graduate school. Students will be notified via the bulletin board at a later date.

(4) Procedures for submitting a registration application form and a statement of reasons

(i) Registration application forms and the statement of reason forms are available from the Educational Affairs

Section of the Student Affairs Division.

(ii) Students who want to use the credit transfer program are required to select subjects they wish to take by referring to the content of the lectures and the class schedule, etc. at the graduate school; obtain approval from their research instructors (a seal of approval is required); and submit a registration application form and a statement of reasons to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

5. Issuance of academic records

Students can confirm their academic performance by means of academic records which can be obtained from the automatic certificate issuing machine in the entrance lobby of the NAIST Library.

6. Research guidance offered at graduate schools of other universities

Students can receive the necessary research guidance at non-NAIST graduate schools and research institutions, etc. (hereinafter referred to as “non-NAIST graduate schools, etc.”) based on consultation with relevant non-NAIST graduate schools, etc., when it is deemed educationally beneficial to do so. Such research guidance is available for up to one year each for the Master’s Course and Doctoral Course, respectively. Permission may be given to extend that duration for the Doctoral Course. Students who want to receive research guidance at non-NAIST graduate schools, etc. are required to consult with their research instructors in advance, and inform the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division at least two months before they would begin to receive guidance.

• Handling of classes when public transport services are suspended, etc.

1. Handling of classes when public transport services are suspended

Classes will be cancelled when the services of the Kintetsu lines (Keihanna, Nara, and Kyoto) or Nara Kotsu Bus lines (routes serving Gakken Kita-Ikoma Sta., Gakuenmae Sta., and Takanohara Sta.) are suspended due to a major disaster, accident, etc. The table below shows the handling of classes when public transport services are restored.

2. Handling of classes when a weather warning is issued

Classes will be cancelled when a storm or snowstorm warning is issued in Ikoma City, Nara City and the area including those cities. The table below shows the handling of classes when the warning is cancelled.

Status at 7:00 a.m./10:00 a.m.	Handling of classes
Public transport services are restored and the warning is cancelled at or before 7:00 a.m.	Classes are held for the whole day
Public transport services are restored and the warning is cancelled at or before 10:00 a.m.	Classes are held in the afternoon
Public transport services remain suspended and the warning remains in effect after 10:00 a.m.	Classes are cancelled for the whole day

Note: Information on TV, the Internet, etc. is used to check if public transport services are suspended or restored or a warning is issued or cancelled.

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規程

平成16年4月1日

規程第 20 号

（趣旨）

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第34条に基づき、情報科学研究科における学生の履修に関し必要な事項を定める。

（指導教員）

第2条 授業科目の履修指導及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生1人ごとに2人以上の指導教員を定める。

2 指導教員のうち、1人を主指導教員とし、教授をもって充てる。

3 学修上又は研究指導上必要がある場合は、指導教員を変更することができる。

（研究指導）

第3条 研究指導の内容は、学生1人ごとに定めるものとする。

（授業科目及び単位数）

第4条 博士前期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第1のとおりとする。

2 博士後期課程における授業科目、単位数及び履修方法は、別表第2のとおりとする。

（履修手続き）

第5条 学生は、主指導教員の指導に基づき、履修科目を選ばなければならない。

2 同じ時間に開講される複数の授業科目を同時に履修することは、原則として認めない。

（履修の認定）

第6条 授業科目履修の認定は、試験又は研究報告により行う。ただし、平常の学修活動の評価をもって試験に代えることがある。

2 試験又は研究報告の成績は、100点を満点とする点数によって評価し、60点を合格、59点以下を不合格とする。この場合において次の区分により、優、良、可及び不可をもって表すことができる。

1	80点以上	優
2	70点～79点	良
3	60点～69点	可
4	59点以下	不可

3 前項の点数をもって評価し難い場合は、合格又は不合格をもってこれに代えることができる。

4 前2項により合格とされたものには、所定の単位を与える。

5 既に単位を修得した授業科目については、再履修することはできない。

（研究指導の履修の認定）

第7条 研究指導の履修（研究論文又は課題研究）の認定は、主指導教員が行い、研究科長に報告するものとする。

（学位論文の題目）

第8条 学生は、学位論文の題目について主指導教員の承認を得て、指定する期日までに申告しなければならない。

（学位論文の提出）

第9条 学生は、学位論文を主指導教員の承認を得て、指定する期日までに提出しなければならない。

2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者で、かつ、指導教員による必要な研究指導が修了した者でなければ提出することができない。

（授業料未納により除籍された者の単位の不認定）

第10条 学則第71条第4項の規定により除籍された者については、授業料未納期間に係る単位は

認定しない。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成15年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、旧奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科履修規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

(略)

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成21年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成22年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成24年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成23年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成24年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

附則

(施行期日)

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成25年度以前に入学した学生（以下「在学生」という。）については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。ただし、在学生がこの規程の授業科目を履修した場合は、別に定めるところにより旧授業科目に読み替えるものとする。

情報科学研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士前期課程)

区分	授 業 科 目 名	単 位 数	履修区分	備 考
基礎 科目	計算機システムⅠ	1	○	全学共通科目
	計算機システムⅡ	1	○	全学共通科目
	アルゴリズムⅠ	1	○	全学共通科目
	アルゴリズムⅡ	1	○	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	○	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	○	全学共通科目
	情報理論	1	○	
	形式言語理論基礎	1	○	
	プログラミング基礎演習Ⅰ	1	○	
	プログラミング基礎演習Ⅱ	1	○	
	信号処理論	1	○	
	数値計算法	1	○	
	応用解析学	1	○	
	最適化数学基礎	1	○	
	微分積分学	1	○	
	データ解析基礎	1	○	
	確率過程論基礎	1	○	
	組合せ数学	1	○	
	代数的構造	1	○	
	専 門 科 目	計算理論Ⅰ	1	○
計算理論Ⅱ		1	○	
計算理論Ⅲ		1	○	
ハードウェア設計論Ⅰ		1	○	
ハードウェア設計論Ⅱ		1	○	
高性能計算機アーキテクチャ		1	○	
分散システムとミドルウェア		1	○	
ソフトウェア設計論		1	○	
システム要求工学		1	○	
仮想化システム基盤		1	○	
ソフトウェア工学Ⅰ		1	○	
ソフトウェア工学Ⅱ		1	○	
音情報処理		1	○	
人工知能：探索とマイニング		1	○	
環境知能		1	○	
自然言語処理		1	○	
コンピュータビジョンⅠ		1	○	
コンピュータビジョンⅡ		1	○	
コンピュータグラフィックス		1	○	
バーチャルリアリティ		1	○	
画像情報処理		1	○	
符号理論		1	○	
集合と圏		1	○	
帰納と再帰		1	○	
情報ネットワーク論Ⅰ		2	○	
情報ネットワーク論Ⅱ		2	○	
無線通信システム	1	○		

専門科目	信号検出理論	1	○	
	ネットワークシミュレーション	1	○	
	系列データモデリング	1	○	
	ヒューマンコンピュータインタラクション	1	○	
	パターン認識	1	○	
	離散事象システム論	1	○	
	システム制御 I	1	○	
	システム制御 II	1	○	
	ロボティクス I	1	○	
	ロボティクス II	1	○	
	数理モデル論	1	○	
	計算神経科学	1	○	
	ユビキタス情報処理	1	○	
	生命機能計測学	1	○	
	システムズバイオロジ I	1	○	
	システムズバイオロジ II	1	○	
	医用画像解析	1	○	
	ビッグデータアナリティクス	1	○	
	現代情報セキュリティ論	2	○	
	モバイルコンピューティング論	1	○	
	先進情報科学特別講義 I	1	○	
	先進情報科学特別講義 II	1	○	
	先進情報科学特別講義 III	1	○	
	先進情報科学特別講義 IV	1	○	
	プロジェクト実習 I	2	○	
	プロジェクト実習 II	2	○	
	プロジェクト実習 III	2	○	
	プロジェクト実習 IV	2	○	
	ソフトウェア開発演習 I	2	○	
	ソフトウェア開発演習 II	2	○	
	先端複合技術論	1	○	
	先端複合演習 I	2	○	
	先端複合演習 II	2	○	
	先端ロボット概論	1	○	
	先端ロボット構成論	2	○	
	先端ロボット開発論 I	1	○	
	先端ロボット開発論 II	1	○	
	情報セキュリティ運用リテラシー I	1	○	
	情報セキュリティ運用リテラシー II	1	○	
	情報セキュリティPBL演習A	1	○	
	情報セキュリティPBL演習B	1	○	
	情報セキュリティPBL演習C	1	○	
	情報セキュリティPBL演習D	1	○	
	情報セキュリティPBL演習E	1	○	
	情報セキュリティPBL演習F	1	○	
	情報セキュリティPBL演習G	1	○	
	一般科目	科学技術論・科学技術者論	1	○
科学コミュニケーション		1	○	全学共通科目
英語プレゼンテーション法入門		1	○	
英語コミュニケーション法 I		1	○	
英語コミュニケーション法 II		1	○	
英語ライティング法		1	○	
英語プレゼンテーション法		1	○	
英語プロジェクトマネジメント法		1	○	
英語論文検索法	1	○		

一般科目	英語デジタルメディア活用法	1	○	全学共通科目 全学共通科目
	異文化間コミュニケーション	1	○	
	技術ベンチャー論	1	○	
	知的財産権	1	○	
	技術経営	1	○	
	科学哲学	1	○	
	技術と倫理	1	○	
	環境と情報	1	○	
	日本文化入門	2	○	
	アカデミックボランティア I	1	○	
	アカデミックボランティア II	1	○	
研究室特論	コンピューティングアーキテクチャ特論 I	1	◎	
	コンピューティングアーキテクチャ特論 II	1	◎	
	コンピューティングアーキテクチャ特論 III	1	◎	
	コンピューティングアーキテクチャ特論 IV	1	◎	
	ディペンダブルシステム学特論 I	1	◎	
	ディペンダブルシステム学特論 II	1	◎	
	ディペンダブルシステム学特論 III	1	◎	
	ディペンダブルシステム学特論 IV	1	◎	
	ユビキタスコンピューティングシステム特論 I	1	◎	
	ユビキタスコンピューティングシステム特論 II	1	◎	
	ユビキタスコンピューティングシステム特論 III	1	◎	
	ユビキタスコンピューティングシステム特論 IV	1	◎	
	ソフトウェア基礎学特論 I	1	◎	
	ソフトウェア基礎学特論 II	1	◎	
	ソフトウェア基礎学特論 III	1	◎	
	ソフトウェア基礎学特論 IV	1	◎	
	ソフトウェア工学特論 I	1	◎	
	ソフトウェア工学特論 II	1	◎	
	ソフトウェア工学特論 III	1	◎	
	ソフトウェア工学特論 IV	1	◎	
	ソフトウェア設計学特論 I	1	◎	
	ソフトウェア設計学特論 II	1	◎	
	ソフトウェア設計学特論 III	1	◎	
	ソフトウェア設計学特論 IV	1	◎	
	インターネット工学特論 I	1	◎	
	インターネット工学特論 II	1	◎	
	インターネット工学特論 III	1	◎	
	インターネット工学特論 IV	1	◎	
	情報基盤システム学特論 I	1	◎	
	情報基盤システム学特論 II	1	◎	
	情報基盤システム学特論 III	1	◎	
	情報基盤システム学特論 IV	1	◎	
	自然言語処理学特論 I	1	◎	
	自然言語処理学特論 II	1	◎	
	自然言語処理学特論 III	1	◎	
	自然言語処理学特論 IV	1	◎	
	知能コミュニケーション特論 I	1	◎	
	知能コミュニケーション特論 II	1	◎	
	知能コミュニケーション特論 III	1	◎	
	知能コミュニケーション特論 IV	1	◎	
	ネットワークシステム学特論 I	1	◎	
	ネットワークシステム学特論 II	1	◎	
ネットワークシステム学特論 III	1	◎		
ネットワークシステム学特論 IV	1	◎		

研究室特論	視覚情報メディア特論Ⅰ	1	◎	
	視覚情報メディア特論Ⅱ	1	◎	
	視覚情報メディア特論Ⅲ	1	◎	
	視覚情報メディア特論Ⅳ	1	◎	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅰ	1	◎	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅱ	1	◎	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅲ	1	◎	
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅳ	1	◎	
	光メディアインタフェース特論Ⅰ	1	◎	
	光メディアインタフェース特論Ⅱ	1	◎	
	光メディアインタフェース特論Ⅲ	1	◎	
	光メディアインタフェース特論Ⅳ	1	◎	
	環境知能学特論Ⅰ	1	◎	
	環境知能学特論Ⅱ	1	◎	
	環境知能学特論Ⅲ	1	◎	
	環境知能学特論Ⅳ	1	◎	
	ロボティクス特論Ⅰ	1	◎	
	ロボティクス特論Ⅱ	1	◎	
	ロボティクス特論Ⅲ	1	◎	
	ロボティクス特論Ⅳ	1	◎	
	知能システム制御特論Ⅰ	1	◎	
	知能システム制御特論Ⅱ	1	◎	
	知能システム制御特論Ⅲ	1	◎	
	知能システム制御特論Ⅳ	1	◎	
	数理情報学特論Ⅰ	1	◎	
	数理情報学特論Ⅱ	1	◎	
	数理情報学特論Ⅲ	1	◎	
	数理情報学特論Ⅳ	1	◎	
	計算システムズ生物学特論Ⅰ	1	◎	
	計算システムズ生物学特論Ⅱ	1	◎	
	計算システムズ生物学特論Ⅲ	1	◎	
	計算システムズ生物学特論Ⅳ	1	◎	
	大規模システム管理特論Ⅰ	1	◎	
	大規模システム管理特論Ⅱ	1	◎	
	大規模システム管理特論Ⅲ	1	◎	
	大規模システム管理特論Ⅳ	1	◎	
	生体医用画像特論Ⅰ	1	◎	
	生体医用画像特論Ⅱ	1	◎	
	生体医用画像特論Ⅲ	1	◎	
	生体医用画像特論Ⅳ	1	◎	
ゼミナールⅠ	1	◎		
ゼミナールⅡ	1	◎		
研究論文	4	□		
課題研究	4	□		
履修区分欄の◎は必修科目を、□は選択必修科目を、○は選択科目を示す。				

(2) 履修方法

ア 授業科目のうち、専門科目から14単位以上（講義形式の科目8単位以上及び演習形式の科目2単位以上をそれぞれ含む。）及び一般科目又は基礎科目から6単位以上の計20単位以上に加え、研究室特論から4単位（Ⅰ～Ⅳの各単位）以上並びに「ゼミナールⅠ」（1単位）及び「ゼミナールⅡ」（1単位）を履修すること。

ただし、研究室特論については、配属研究室が担当する授業科目の単位のみを修了に必要な単位として算入する。

- イ 「研究論文」(4単位)又は「課題研究」(4単位)を履修すること。
- ウ 学則第37条の規程により他の研究科の授業科目を履修し、修得した単位については、一般科目として6単位まで修了の要件となる単位として充当することができる。
- エ 情報系学科（情報工学科、情報科学科、計算機工学科、情報システム工学科、システム工学科、制御工学科等）を卒業した者及び3年次を修了した者については、基礎科目のうち「計算機システムⅠ」、「計算機システムⅡ」、「アルゴリズムⅠ」、「アルゴリズムⅡ」、「プログラミング基礎演習Ⅰ」、「プログラミング基礎演習Ⅱ」の単位を修了に必要な単位としては算入しない。
- オ 生物科学系学科を卒業した者及び3年次を修了した者については、「バイオサイエンス概論」の単位を修了に必要な単位としては算入しない。

別表第2 (第4条関係)

情報科学研究科教育課程表

(1) 授業科目名等

(博士後期課程)

授業科目名	単位数	履修区分	修了要件単位数	備考
国際化科目ⅠA	1	○	2	学内語学講義
国際化科目ⅠB	1	○		短期派遣(国際会議等)、長期派遣(国内企業インターン、海外インターン等)
国際化科目ⅡA	2	○		学内講義
国際化科目ⅡB	2	○		指導教員指定の博士前期課程講義
国際化科目ⅡC	2	○		
先進学際領域特論Ⅰ	1	○		
先進学際領域特論Ⅱ	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅰ	1	○		プロジェクトマネジメント
先進情報科学特別講義Ⅱ	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅲ	1	○		
先進情報科学特別講義Ⅳ	1	○		
先進情報科学考究	2	○	2	研究進捗ヒアリング
博士學位論文研究Ⅰ	3	○	6	博士學位論文研究(第1半期)
博士學位論文研究Ⅱ	3	○		博士學位論文研究(第2半期)
博士學位論文研究Ⅲ	3	○		博士學位論文研究(第3半期)
博士學位論文研究Ⅳ	3	○		博士學位論文研究(第4半期)
博士學位論文研究Ⅴ	3	○		博士學位論文研究(第5半期)
博士學位論文研究Ⅵ	3	○		博士學位論文研究(第6半期)
修了要件単位数			10	

履修区分欄の◎は必修科目を、○は選択科目を示す。

(2) 履修方法

- ア 「先進ゼミナール」を2単位、博士學位論文研究(Ⅰ～Ⅵ)を計6単位以上、その他の科目を2単位以上、計10単位以上を履修すること。
- イ 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が情報科学研究科の博士後期課程に入学した場合の修了要件については別に定める。
- ウ 博士前期課程の教育課程表(別表第1)の「英語プレゼンテーション法」、「英語コミュニケーション法Ⅰ・Ⅱ」、「英語ライティング法」、「英語プロジェクトマネジメント法」、「英語論文検索法」、「英語デジタルメディア活用法」のうち、博士前期課程において修得していない科目を修得順に「国際化科目ⅠA」、「国際化科目ⅠB」として単位認定する。
- エ 「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」を履修する場合、博士前期課程の教育課程表(別表第1)の「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」のうち、指導教員が指定した講義を履修すること。ただし、博士前期課程において既に修得している旧「先端情報科学特論Ⅰ～Ⅳ」(現「先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ」)の講義については、単位認定しない。

Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulation No. 20

Article 1 (Purpose)

These regulations stipulate matters necessary for registration by students of the Graduate School of Information Science in accordance with Article 34 of the Regulations of Nara Institute of Science and Technology(2004 Regulations No.1)(“NAIST Regulations”).

Article 2 (Research instructors)

1. Two or more research instructors shall be designated for each student to provide guidance on choosing subjects and preparing a degree thesis, etc. (hereinafter referred to as “research guidance”).
2. One of such research instructors, who shall be a professor, shall be designated as the main research instructor.
3. Research instructors may be changed if needed in the course of studying or research guidance.

Article 3 (Research guidance)

The details of research guidance shall be defined for each student.

Article 4 (Subjects and number of credits)

1. The subjects, number of credits, and registration procedures for the Master’s Course shall be as shown in Schedule 1.
2. The subjects, number of credits, and registration procedures for the Doctoral Course shall be as shown in Schedule 2.

Article 5 (Registration procedures)

1. Students are required to select subjects they wish to take based on guidance offered by the main research instructor.
2. In principle, it is not allowed to take simultaneously two or more subjects that are offered in the same time slot.

Article 6 (Awarding of credits)

1. Credits shall be awarded by means of an examination or a research report. Credits may be awarded based on an evaluation of day-to-day study activities, instead of such examination.
2. Academic performance based on an examination or a research report shall be evaluated by points (full score: 100 points); 60 points or more is a “pass”, and 59 points or less is a “fail”. For evaluation purposes, academic performance may be represented as “Excellent,” “Good,” “Fair,” and “Fail” in accordance with the categories below.

80 points or more	Excellent
70–79 points	Good
60–69 points	Fair
59 points or less	Fail

3. In the event that it is difficult to evaluate academic performance based on points as described in the preceding paragraph, “pass” or “fail” may be used instead of such points.
4. The prescribed credits shall be awarded to students whose academic performance is “pass” in accordance with the two preceding paragraphs.
5. Subjects whose credits have been earned cannot be taken again for credit.

Article 7 (Approval of completion of research guidance)

The completion of research guidance (research thesis or thematic research) shall be approved by the main research instructor and reported to the dean of the graduate school.

Article 8 (Theme of the degree thesis)

Students shall be required to report the theme of their degree thesis by a specified date, with the approval of the main research instructor.

Article 9 (Submission of the degree thesis)

1. Students are required to submit a degree thesis by a specified date, with the approval of the main research instructor.
2. A degree thesis can be submitted by students who (i) have earned or who are expected to earn the credits necessary for completion of the course and (ii) have completed the necessary research according to guidance offered by research instructors.

Article 10 (Disqualification of credits for students who have been expelled due to unpaid tuition)

Credits accrued during the period of unpaid tuition will be disqualified when the student has been expelled from school, pursuant to Article 71-4 of Regulation.

Article 11 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to registration by students shall be stipulated separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2003 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall remain in effect even after these Regulations come into effect. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2004 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2006.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2005 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with

former subjects as set forth separately.

(an omission)

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2010.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2009 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2011.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2010 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2012.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2011 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2012 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

(Transitional measures)

2. For students who were admitted in academic year 2013 or earlier (hereinafter referred to as “enrolled students”), the former Registration Regulations for the Graduate School of Information Science at the Nara

Institute of Science and Technology shall supersede these Regulations after revision. In the event that enrolled students take subjects within the scope of these Regulations, such subjects shall be deemed to be replaced with former subjects as set forth separately.

Schedule 1 (Supplement to Article 4)

Curriculum table of the Graduate School of Information Science

(1) Subjects (Master's Course)

Category	Subject name	Number of credits	Classification	Remarks
Basic Subjects	Computer System I	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Computer System II	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm I	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Algorithm II	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Introduction to Biological Science	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Foundation of Materials Science	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Information Theory	1	○	
	Introduction to Formal Language Theory	1	○	
	Introductory Programming Course I	1	○	
	Introductory Programming Course II	1	○	
	Principles of Signal Processing	1	○	
	Numerical Methods	1	○	
	Applied Analysis	1	○	
	Fundamental Mathematics for Optimization	1	○	
	Calculus	1	○	
	Basic Data Analysis	1	○	
	Introduction to Stochastic Processes	1	○	
	Combinatorics	1	○	
	Algebraic Structures	1	○	
Specialized Subjects in Information Science	Theory of Computation I	1	○	
	Theory of Computation II	1	○	
	Theory of Computation III	1	○	
	Hardware Design I	1	○	
	Hardware Design II	1	○	
	High Performance Computer Architecture	1	○	
	Distributed Systems and Middleware	1	○	
	Software Design	1	○	
	System Requirement Engineering	1	○	
	Virtual Systems Infrastructure	1	○	
	Software Engineering I	1	○	
	Software Engineering II	1	○	
	Speech Processing	1	○	
	Artificial Intelligence: Searching and Mining	1	○	
	Ambient Intelligence	1	○	
	Natural Language Processing	1	○	
	Computer Vision I	1	○	
	Computer Vision II	1	○	
	Computer Graphics	1	○	
	Virtual Reality	1	○	
	Digital Image Processing	1	○	
	Coding Theory	1	○	
	Sets and Categories - Mathematical Literacy	1	○	
	Induction and Recursion	1	○	
	Information Network I	2	○	
	Information Network II	2	○	
	Wireless Communication Systems	1	○	
	Signal Detection Theory	1	○	
	Network Simulation	1	○	
	Sequential Data Modeling	1	○	
	Human Computer Interaction	1	○	
Pattern Recognition	1	○		
Discrete Event Systems	1	○		
Systems Control I	1	○		
Systems Control II	1	○		
Robotics I	1	○		

Specialized Subjects in Information Science	Robotics II	1	○	
	Mathematical Modeling	1	○	
	Computational Neuroscience	1	○	
	Ubiquitous Information Processing	1	○	
	Bio-Imaging	1	○	
	Systems Biology I	1	○	
	Systems Biology II	1	○	
	Biomedical Image Analysis	1	○	
	Big Data Analytics	1	○	
	Information Security & Our Society	2	○	
	Mobile Computing	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar I	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar II	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar III	1	○	
	Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	1	○	
	Project Practice I	2	○	
	Project Practice II	2	○	
	Project Practice III	2	○	
	Project Practice IV	2	○	
	Exercise in Practical Software Development I	2	○	
	Exercise in Practical Software Development II	2	○	
	Theory of Advanced IT	1	○	
	Studio of Advanced IT I	2	○	
	Studio of Advanced IT II	2	○	
	Introduction to Advanced Robot Technology	1	○	
	Advanced Robot Design	2	○	
	Advanced Robot Development Theory I	1	○	
	Advanced Robot Development Theory II	1	○	
	Lecture of Information Security Management Literacy I	1	○	
	Lecture of Information Security Management Literacy II	1	○	
	Exercise for Information Security PBL A	1	○	
	Exercise for Information Security PBL B	1	○	
	Exercise for Information Security PBL C	1	○	
Exercise for Information Security PBL D	1	○		
Exercise for Information Security PBL E	1	○		
Exercise for Information Security PBL F	1	○		
Exercise for Information Security PBL G	1	○		
General Subjects	Commentaries on Science and Technology	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
	Skills for English Presentation I	1	○	
	Methods of English Communication I	1	○	
	Methods of English Communication II	1	○	
	Advanced Scientific Writing	1	○	
	Skills for English Presentation II	1	○	
	Project Management for Research	1	○	
	Literature Search	1	○	
	Digital Media	1	○	
	Intercultural Communication	1	○	
	Technology Entrepreneurship and Commercialization	1	○	
	Intellectual Property Rights	1	○	
	Management of Technology	1	○	
	Philosophy of Science	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools
Technology and Professional Ethics	1	○	Common Subjects for All Graduate Schools	
Information Technology for Environmental Issues	1	○		
Japanese Culture	2	○		
Academic Volunteer I	1	○		
Academic Volunteer II	1	○		
Advanced Topics in Information Science	Advanced Computing Architecture I	1	◎	
	Advanced Computing Architecture II	1	◎	
	Advanced Computing Architecture III	1	◎	
	Advanced Computing Architecture IV	1	◎	
	Advanced Dependable System I	1	◎	
	Advanced Dependable System II	1	◎	
	Advanced Dependable System III	1	◎	
	Advanced Dependable System IV	1	◎	

Advanced Topics in Information Science	Advanced Ubiquitous Computing Systems I	1	◎
	Advanced Ubiquitous Computing Systems II	1	◎
	Advanced Ubiquitous Computing Systems III	1	◎
	Advanced Ubiquitous Computing Systems IV	1	◎
	Advanced Foundations of Software I	1	◎
	Advanced Foundations of Software II	1	◎
	Advanced Foundations of Software III	1	◎
	Advanced Foundations of Software IV	1	◎
	Advanced Software Engineering I	1	◎
	Advanced Software Engineering II	1	◎
	Advanced Software Engineering III	1	◎
	Advanced Software Engineering IV	1	◎
	Advanced Software Design and Analysis I	1	◎
	Advanced Software Design and Analysis II	1	◎
	Advanced Software Design and Analysis III	1	◎
	Advanced Software Design and Analysis IV	1	◎
	Advanced Internet Engineering I	1	◎
	Advanced Internet Engineering II	1	◎
	Advanced Internet Engineering III	1	◎
	Advanced Internet Engineering IV	1	◎
	Advanced Internet Architecture and Systems I	1	◎
	Advanced Internet Architecture and Systems II	1	◎
	Advanced Internet Architecture and Systems III	1	◎
	Advanced Internet Architecture and Systems IV	1	◎
	Advanced Computational Linguistics I	1	◎
	Advanced Computational Linguistics II	1	◎
	Advanced Computational Linguistics III	1	◎
	Advanced Computational Linguistics IV	1	◎
	Advanced Augmented Human Communication I	1	◎
	Advanced Augmented Human Communication II	1	◎
	Advanced Augmented Human Communication III	1	◎
	Advanced Augmented Human Communication IV	1	◎
	Advanced Network Systems I	1	◎
	Advanced Network Systems II	1	◎
	Advanced Network Systems III	1	◎
	Advanced Network Systems IV	1	◎
	Advanced Vision and Media Computing I	1	◎
	Advanced Vision and Media Computing II	1	◎
	Advanced Vision and Media Computing III	1	◎
	Advanced Vision and Media Computing IV	1	◎
	Advanced Interactive Media Design I	1	◎
	Advanced Interactive Media Design II	1	◎
	Advanced Interactive Media Design III	1	◎
	Advanced Interactive Media Design IV	1	◎
	Advanced Optical Media Interface I	1	◎
	Advanced Optical Media Interface II	1	◎
	Advanced Optical Media Interface III	1	◎
	Advanced Optical Media Interface IV	1	◎
	Advanced Ambient Intelligence I	1	◎
	Advanced Ambient Intelligence II	1	◎
	Advanced Ambient Intelligence III	1	◎
	Advanced Ambient Intelligence IV	1	◎
	Advanced Robotics I	1	◎
Advanced Robotics II	1	◎	
Advanced Robotics III	1	◎	
Advanced Robotics IV	1	◎	
Advanced Intelligent System Control I	1	◎	
Advanced Intelligent System Control II	1	◎	
Advanced Intelligent System Control III	1	◎	
Advanced Intelligent System Control IV	1	◎	
Advanced Mathematical Informatics I	1	◎	
Advanced Mathematical Informatics II	1	◎	
Advanced Mathematical Informatics III	1	◎	
Advanced Mathematical Informatics IV	1	◎	
Advanced Computational Systems Biology I	1	◎	

Advanced Topics in Information Science	Advanced Computational Systems Biology II	1	◎	
	Advanced Computational Systems Biology III	1	◎	
	Advanced Computational Systems Biology IV	1	◎	
	Advanced Large-Scale Systems Management I	1	◎	
	Advanced Large-Scale Systems Management II	1	◎	
	Advanced Large-Scale Systems Management III	1	◎	
	Advanced Large-Scale Systems Management IV	1	◎	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine I	1	◎	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine II	1	◎	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine III	1	◎	
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine IV	1	◎	
	Seminar I	1	◎	
	Seminar II	1	◎	
	Research Work	4	□	
	Theme Research	4	□	
◎, □, and ○ represent required, required-elective, and elective subjects.				

(2) Registration methods

1. Students are required to earn 14 credits or more from specialized subjects in information science (including 8 credits or more from lectures and 2 credits or more from practices), six credits or more from general or basic subjects, 20 credits or more in total. They are also required to take Seminar I (one credit) and Seminar II (one credit), Advanced Topics in Information Science I- IV (one credit each).

Advanced Topics in Information Science I- IV provided by the laboratories that students belong to shall count as credits toward completion.

2. Students are required to do a research thesis (4credits) or thematic research (4credits).

3. In accordance with Article 37 of the NAIST Regulations, up to six credits earned by taking subjects of other NAIST graduate schools may count as credits earned as general subjects toward the completion requirements.

4. For students who graduated from information-related undergraduate departments (e.g. department of information engineering, department of information science, department of computer engineering, department of information system engineering, department of system engineering, department of control engineering) and those who have completed the third academic year, credits earned by taking the following basic subjects shall not count as credits toward completion: Computer Systems I, Computer Systems II, Algorithms I, Algorithms II, Introductory Programming Course I, Introductory Programming Course II.

5. For students who graduated from biological science-related undergraduate departments and those who completed the third academic year, credits earned by taking Introduction to Biological Science shall not count as credits toward completion.

Attached Schedule 2 (in connection with Article 4)

Curriculum Table for the Graduate School of Information Science

(1) Course name, etc.

(Doctoral Course)

Course name	Number of credits	Departments of Information Processing, Information Systems, and Bioinformatics and Genomics		Remarks	
		Required/ elective	Number of credits required for completion		
International Communications I A	1	○	2	Language lectures at NAIST	
International Communications I B	1	○			
International Practice II A	2	○		Short-term dispatches (international conferences, etc.), long-term dispatches (corporate internships in Japan, overseas internships, etc.)	
International Practice II B	2	○			
International Practice II C	2	○			
Advanced Specific Field Seminar I	1	○		Lectures at NAIST	
Advanced Specific Field Seminar II	1	○			
Advanced Cutting-edge Research Seminar I	1	○		Doctoral course subjects designated by academic advisors	
Advanced Cutting-edge Research Seminar II	1	○			
Advanced Cutting-edge Research Seminar III	1	○			
Advanced Cutting-edge Research Seminar IV	1	○			
Advanced Project Management	2	○		Project management	
Research Status Hearing	2	◎		2	Research status hearing
Doctoral Research I	3	○		6	Research for writing doctoral thesis (1st semester)
Doctoral Research II	3	○	Research for writing doctoral thesis (2nd semester) Doctor thesis research (the second half year)		
Doctoral Research III	3	○	Research for writing doctoral thesis (3rd semester) Doctor thesis research (the third half year)		
Doctoral Research IV	3	○	Research for writing doctoral thesis (4th semester) Doctor thesis research (the fourth half year)		
Doctoral Research V	3	○	Research for writing doctoral thesis (5th semester) Doctor thesis research (the fifth half year)		
Doctoral Research VI	3	○	Research for writing doctoral thesis (6th semester) Doctor thesis research (the sixth half year)		
Number of credits required for completion			10		
In the "Required/elective" column, ◎ and ○ represent required and elective subjects, respectively.					

(2) Registration procedures

1. Students are required to earn 10 credits or more in total, comprising (i) two credits in the Research Status Hearing, (ii) six credits or more in Doctoral Research (I–VI), and (iii) two credits or more in other subjects.
2. Completion requirements for students who are admitted to the Doctoral Course of the Graduate School of Information Science after having been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a Master's Degree holder shall be provided for separately.
3. If students who did not credits of Skills for Presentation II, Methods of English Communication I-II, Advanced Scientific Writing, Project Management for Research, Literature Search or Digital Media in masters course take these subjects, the credits will be transferred to International Communications I A, International Communications I B in this order.

4. Students who earn credits in Advanced Cutting-edge Research Seminar I-IV are required to take the courses in Advanced Information Science I-IV on the curriculum table of the Master's Course (Attached Schedule 1) which research advisors specify. Note that students are not admitted to earn credits in the same courses in Advanced Information Science I-IV as they have already taken in the Master's Course.

5 学位審査基準等（学位規程を含む）

5 学位審査基準等

学位審査基準

博士前期課程

修士論文あるいは課題研究報告書の内容とその口頭発表、および、口頭試問により審査を行います。修士論文は新規性や有効性が重視されますが、それに加えて次の項目についても審査を行います。

1. 研究の背景や目的を理解している
2. 研究課題に関する知識の整理がなされている
論文の序論、基本的な知識の解説、関連する研究、研究課題の意義など
3. 研究の進め方や研究方法について吟味がなされている
研究課題の解決に参考にした原理や方法
新たに提案した方法は正しく適切である
新たに提案した方法の有効性と評価
4. 提案した式や採用したデータが含まれている場合、それらが正確で、適切にまとめられている
データは研究目的や研究方法に適合している
図表が研究結果を適切に表現している
5. 得られた結果と残された課題について考察している
研究の目的が達成された
結論について新規性や重要性がある
今後の研究の必要性や方向を述べている
6. 引用文献は適切である
7. 論文および口頭発表は論理的に分かりやすく構成されている

博士後期課程

博士論文は新規性や有効性があり、その内容は、査読のある学術論文、査読のある国際会議、あるいは、著書などに公表されているか、公表される予定であるものとします。そのため、前期課程の項目（1-7）は当然満たされているだけでなく、新たに社会に普及・貢献できる水準のものであることが要求されます。

審査は、博士論文の内容と公聴会での口頭発表、および、最終審査により行われます。審査の項目は次のものです。

1. 博士論文の内容は公表されている
2. 論文の内容には、国際的に新規性がある
3. 新たに提案した原理や方法は、社会で有効に適用されると期待できる
4. 将来への発展の可能性がみられる

5. Degree examination criteria, etc.

Degree examination criteria**Master's Course**

The examination is based on (i) the detailed contents of a master's thesis or thematic research report, and (ii) an oral presentation and (iii) an oral interview based on the thesis or report. Novelty and applicability are important factors in the master's thesis. The examination checks that:

1. Students understand the background and objectives of their research.**2. Knowledge regarding the research project is well organized.**

e.g. introduction in the thesis, explanations of basic knowledge, relevant research, significance of the research project

3. The research procedures and method have been carefully developed.

Principles and methods used as references in solving problems in the research project

Validity and appropriateness of newly proposed methods

Applicability and evaluation of newly proposed methods

4. Proposed equations and obtained data, if any, are accurate and properly organized.

The data is suited for the research objectives and research methods.

Figures and tables represent research results properly.

5. Results obtained and unresolved challenges have been discussed.

Research objectives have been attained.

The conclusion shows novelty and importance.

The necessity and vision of future research have been described.

6. Appropriate references are used.**7. The thesis and oral presentation are organized logically and clearly.****Doctoral Course**

A doctoral thesis requires novelty and applicability, and at least part of the doctoral thesis must have been published or will be published as a peer-reviewed scientific journal or book or at an international conference with a peer review system, etc. A doctoral thesis is expected to fulfill requirements 1–7 set forth in the Master's Course, and also be disseminated to society and make a social contribution.

The examination is based on the detailed contents of the doctoral thesis, an oral presentation at a public hearing, and a final examination. The examination checks that:

1. At least part of the doctoral thesis has been published.

2. The thesis is characterized by novelty on a global scale.

3. Newly proposed principles and methods are expected to be effectively applied in society.

4. The doctoral thesis has the potential for future development.

奈良先端科学技術大学院大学学位規程

平成16年4月1日

規程第19号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第44条第3項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学(以下「本学」という。)において授与する学位に関し必要な事項を定める。

(学位の種類及び専攻分野の名称)

第2条 本学において授与する学位は、修士及び博士とする。

2 学位には、次表の研究科名欄に掲げる研究科ごとに、同表専攻分野の名称欄の名称を付記するものとする。

研究科名	専攻分野の名称
情報科学研究科	理学又は工学
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス
物質創成科学研究科	理学又は工学

(学位授与の要件)

第3条 修士の学位は、本学の博士前期課程を修了した者に授与する。

2 博士の学位は、本学の博士後期課程を修了した者に授与する。

3 前項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認(以下「学力の確認」という。)された者に授与することができる。

(学位論文の提出等)

第4条 本学研究科の博士前期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に修士論文を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

2 特定の課題についての研究の成果を、前項の修士論文に代えることができる。

3 本学研究科の博士後期課程を修了しようとする者は、所定の学位論文審査願に博士論文、論文目録、論文内容の要旨及び履歴書を添えて、当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。

4 前条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書及び学位論文審査手数料を添え、学位に付記する専攻分野を指定して学長に提出するものとする。

5 学位論文審査手数料は、57,000円とする。

6 学長は、第4項の申請書類を受理したときは、専攻分野に応じて、当該研究科長に回付するものとする。

7 提出した学位論文等及び納付した学位論文審査手数料は、返還しない。

（学位論文）

第5条 学位論文は、1編とし、修士論文は1通、博士論文は3通を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

2 当該研究科長は、学位論文の審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型、標本その他必要な資料の提出を求めることができる。

（最終試験及び学力の確認）

第6条 最終試験は、学位論文に関連のある専門分野について、筆記又は口述により行うものとする。

2 第3条第3項に規定する学力の確認は、博士論文に関連のある科目及び外国語について、筆記又は口述により行うものとする。

（審査委員会）

第7条 当該研究科の教授会は、論文の審査、最終試験及び学力の確認を行うため、審査委員会を設ける。

2 審査委員会は、当該研究科及び学内共同教育研究施設の教員のうちから2名以上で構成する。ただし、教授2人を構成員としなければならない。

3 審査委員会に主査を置く。

4 前項の規定にかかわらず、当該研究科の教授会において、審査のため必要があると認めるときは、他の研究科の教員又は他の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

5 第4条第4項の規定により提出のあった者の論文の審査及び学力の確認は、博士論文が提出された日から1年以内に終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科の教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

（審査結果の報告）

第8条 修士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験が終了したときは、直ちに、学位を授与できるか否かの意見を当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

2 博士の学位に係る審査委員会は、論文の審査及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに、次の各号に定める書類に、学位を授与できるか否かの意見を添え、当該研究科の教授会に文書で報告しなければならない。

（1）第4条第3項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨

（2）第4条第4項の規定による提出論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び学力の確認の結果の要旨

（学位授与の審議）

第9条 当該研究科の教授会は、前条の報告に基づいて、学位の授与について審議する。

（審議結果の報告）

第10条 当該研究科長は、当該研究科の教授会の審議結果を文書で学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第11条 学長は、前条の報告に基づいて学位を授与できると決定した者に学位記を授与する。

2 学位記の様式は、様式第1号、様式第2号及び様式第3号までのとおりとする。

3 学長は、学位を授与できないと決定した者には、その旨通知する。

(博士論文の要旨等の公表等)

第12条 学長は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(博士論文の公表)

第13条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、本学を通じて、インターネットの利用により行うものとする。

(学位名称の使用)

第14条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、本学の名称を付記するものとする。

(学位授与の取消)

第15条 学長は、学位を授与された者が、不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、当該研究科の教授会の議を経て、学位授与を取り消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか、学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成25年6月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程による改正後の学位規程（以下「新学位規程」という。）第12条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 新学位規程第13条の規定は、この規程の施行の日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

様式第1号（第11条関係）（博士前期課程を修了した場合）

修第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
<p>本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士前期課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する</p>	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
<p>for having successfully completed the Master's Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)</p>	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第2号（第11条関係）（博士後期課程を修了した場合）

博第 号	
学 位 記	
氏 名	
年 月 日生	
<p>本学大学院○○○研究科○○○専攻の博士後期課程を修了したので博士(○○)の学位を授与する</p>	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
Hereby confers the degree of Doctor of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏 名) (Surname) (Givenname)	
(Date of Birth)	
<p>for having successfully completed the Doctorate Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)</p>	
Official Seal of the Institute	President's Seal
	(学長署名) (学長名) President
Doctorate No. : (番号)	

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

様式第3号 (第11条関係) (第3条第3項の規定により授与する場合)

博 第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日 生

本学に学位論文を提出し所定の審査に合格したので博士(〇〇)の学位を授与する

平成 年 月 日

奈良先端科学技術大学院大学長

大学の印 学長名
学長の印

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY

Hereby confers the degree of
Doctor of (専攻分野の名称)

Upon

(氏 名)
(Surname) (Givenname)

(Date of Birth)

for having submitted a Doctoral Dissertation and having passed the Prescribed Evaluation on this day, (年月日)

Official Seal of the Institute President's Seal

(学長署名)
(学長名)
President

Doctorate No. : (番号)

(注1) 用紙の大きさは、A4版とする。

Degree Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 19

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to conferral of degrees by the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to Article 44-3 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Degree types and majors)

1. Degrees conferred by NAIST shall be master’s degrees and doctoral degrees.
2. The name of the Graduate School and the major shown in the following table shall be specified in the degree certificate.

Graduate School	Major
Information Science	Science or Engineering
Biological Sciences	Biological Science
Materials Science	Science or Engineering

Article 3 (Degree requirements)

1. A master’s degree shall be conferred to students who have completed the Master’s Course at NAIST.
2. A doctoral degree shall be conferred to students who have completed the Doctoral Course at NAIST.
3. In addition, a doctoral degree may be conferred to individuals who have passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of a student who has completed the Doctoral Course at NAIST (individuals who have passed the “Examination of Academic Ability”).

Article 4 (Submission of thesis)

1. To complete the Master’s Course, students shall submit a master’s thesis together with the

- prescribed application form for thesis examination to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
2. Examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination specified in the foregoing subsection.
 3. To complete the Doctoral Course, students shall submit a doctoral thesis together with the prescribed application form for thesis examination, list of related papers, abstract of the thesis and curriculum vitae to the Dean of the relevant Graduate School and take the final examination.
 4. To receive a doctoral degree pursuant to the provision of subsection 3 of Article 3, students shall specify the major to be indicated in the degree certificate, and pay the thesis examination fee when submitting a degree application form, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to the President.
 5. The thesis examination fee shall be 57,000 yen.
 6. Upon receipt of the documents specified in subsection 4 of this Article, the President shall forward the documents to the Dean of the relevant Graduate School according to the major specified by the student.
 7. Thesis and other documents, once submitted, shall not be returned, and the thesis examination fee, once paid, shall not be refunded.

Article 5 (Thesis)

1. One thesis shall be accepted for degree examination. Students shall submit one copy per master's thesis and three copies per doctoral thesis, provided, however that additional papers may be attached to the thesis for reference.
2. The Dean of the relevant Graduate School may request submission of a translation of the thesis, model, specimen, or other materials if necessary for the thesis examination.

Article 6 (Final examination and Examination of Academic Ability)

1. The final examination shall be conducted by means of a written or oral examination on specialized topics relating to the thesis.
2. The Examination of Academic Ability specified in Article 3-3 above shall be conducted by means of a written or oral examination on the academic subjects relating to the doctoral thesis and on foreign language.

Article 7 (Screening Committee)

1. The Faculty Councils of the respective Graduate Schools shall have a Screening Committee for evaluating theses and conducting the final examination and Examination of Academic Ability.

2. Each of the Screening Committees shall consist of at least two faculty members of the respective Graduate School and common educational and research institution, provided, however, that the Committee members shall include two professors thereof.
3. Each of the Screening Committees shall have a chief referee.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection 2, faculty members of other Graduate Schools of NAIST or other graduate schools or research institutions outside of NAIST may be invited to join the Screening Committee if doing so is deemed necessary by the Faculty Council of the Graduate School for screening purposes.
5. Evaluation of doctoral theses submitted pursuant to Article 4-4 and the Examination of Academic Ability shall be completed within one year after the submission thereof, provided, however, that such a period may be extended if there is a special reason, subject to deliberation by the relevant Graduate School.

Article 8 (Notification of results)

1. The Screening Committee involved in conferral of master's degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision as to whether to confer a master's degree or not in writing, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination.
2. The Screening Committee involved in conferral of doctoral degrees shall notify the Faculty Council of the relevant Graduate School of its decision in writing by specifying whether to confer a doctoral degree or not in the following documents, immediately after completion of the evaluation of thesis and final examination:
 - (1) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-3, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the final examination
 - (2) Abstract of the thesis submitted pursuant to Article 4-4, summary of the evaluation of the thesis and summary of the results of the Examination of Academic Ability

Article 9 (Deliberation by Faculty Council)

The Faculty Council of each of the Graduate Schools shall discuss whether to confer a degree or not based on the notification specified in the foregoing article.

Article 10 (Notification of conclusion)

The Dean of the relevant Graduate School shall notify the President of the conclusion of the deliberation reached by the Faculty Council thereof in writing.

Article 11 (Conferral of degree)

1. The President shall confer a degree to the student who has been approved to receive the degree based on the notification specified in the foregoing article.
2. The format of a degree certificate shall be Form No. 1, Form No. 2 or Form No. 3 shown separately.
3. If it has been decided not to confer a degree to a certain student, the President shall notify the student of the decision.

Article 12 (Publication of abstract of doctoral thesis)

Within three months after conferring a doctoral degree, the President shall notify the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology of the conferral and make the abstract of the doctoral thesis and the summary of the results of the evaluation of the thesis public via the internet .

Article 13 (Publication of doctoral thesis)

1. The recipient of a doctoral degree shall make his or her doctoral thesis public within one year after receipt thereof, provided, however, that this provision shall not apply if the thesis has been made public prior to the receipt thereof.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, a recipient of a doctoral degree may make the abstract of his or her doctoral thesis public instead of the full text, subject to approval of NAIST, if there is a justifiable reason. In this case, NAIST shall allow access to the full text of the doctoral thesis when requested.
3. The public release established in the previous two clauses for doctoral degree recipient, shall be conducted via NAIST and the internet.

Article 14 (Reference to the degree)

When an individual who has been conferred a degree from NAIST refers to his or her degree, the name of NAIST shall be also mentioned together with the degree.

Article 15 (Withdrawal of a degree)

If it transpires that an individual was conferred a degree by NAIST by fraudulent means, the President shall withdraw the degree, have the degree certificate returned, and make public the fact, following the deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 16 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to conferral of degrees shall be provided for separately.

Supplementary provisions

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on June 1, 2013.

(Transitional measures)

2. The revised degree regulations (hereinafter referred to as “new degree regulations”) outlined in Article 12 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.
3. The revised degree regulations outlined in Article 13 shall apply to those who have been conferred the doctoral degree on or after the date of regulation revision. However, for those who were conferred the doctoral degree prior to the date of revision, the regulations in force at the time of conferment shall apply.

Form No. 1 (Refer to Article 11) (To be issued for the degree conferred upon completion of the Master’s Course)

修第	号
学 位 記	
氏 名	
年	月 日 生
本学大学院□□□研究科○○○専攻の博士前期 課程を修了したので修士(○○)の学位を授与する	
平成 年 月 日	
奈良先端科学技術大学院大学長	
大学の印	学長名 学長の印

(Note 1) The sheet is A4-sized.

NARA INSTITUTE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY	
hereby confers the degree of Master of (専攻分野の名称)	
Upon	
(氏	名)
(Surname)	(Given name)
_____ (Date of birth)	
for having successfully completed the Master’s Program in the Graduate School of (研究科名) on this day, (年月日)	
Official Seal of the Institute	President’s Seal
	(学長署名) (学長名) President
Masterdom No.: (番号)	

(Note 1) The sheet is A4-sized.

論文の提出から論文審査の日程

学位授与は、3か月毎（3月、6月、9月、12月の下旬）に行われる。

論文の提出から論文審査及び学位授与のおおよその日程を、3月に学位授与を行う場合を例として、次の表に示す。

番号	手続き	3月の学位授与を例とした場合
1	指導教員は博士論文が提出されることを予告する 博士論文の原稿に基づいて、審査委員の候補者を選出する	10月、11月又は12月の研究科懇談会
2	公聴会の日程を決める	公聴会のほぼ2週間前まで
3	学生が審査委員候補者へ博士論文を提出する	公聴会の10日前まで
4	公聴会を開催する 発表40分、質疑20分	遅くとも1月中旬までに
5	学生が、学位論文審査願、博士論文、論文目録、論文内容の要旨、履歴書を各1部、大学（情報事務室）に提出する	2月の研究科教授会の1週間前までに
6	審査委員を決定する	2月上旬の研究科教授会
7	審査委員は論文審査と最終試験を行う	
8	審査委員が審査結果を報告する それにより、合否の判定を行う	2月下旬の研究科教授会
9	合格者に対して学位授与を行う 博士後期課程修了	3月下旬

Schedule from thesis submission to thesis examination

Degrees will be awarded on a quarterly basis (in late March, June, September, and December).

The table below shows an approximate schedule, as an example, from thesis submission and examination to awarding of a degree. In the example here is for a degree to be awarded in March.

Number	Procedure	For a degree awarded in March
1	The research instructor gives advance notice that doctoral theses will be submitted. Screening Committee member candidates are selected based on the submitted doctoral theses.	At a meeting of the graduate school held in October, November or December
2	The public hearing schedule is set.	At least two weeks before the public hearing
3	Students submit doctoral theses to the Screening Committee member candidates.	At least 10 days before the public hearing
4	The public hearing is held. Presentation: 40 min. Q&A: 20 min.	By mid-January at the latest
5	Students submit a copy of the application form for the thesis examination, doctoral thesis, list of related papers, abstract of the thesis, and curriculum vitae to NAIST (Information Science Office).	At least one week before a meeting of the Faculty Council of the graduate school in February
6	The Screening Committee members are selected.	A meeting of the Faculty Council of the graduate school in early February
7	The Screening Committee members conduct a thesis examination and a final examination.	
8	The Screening Committee members report the examination results. Decisions (pass/fail) are made based on the examination results.	A meeting of the Faculty Council of the graduate school in late February
9	Degrees are awarded to students who pass the examination; such students are deemed to have completed the Doctoral Course.	Late March

6 情報科学研究科授業時間割一覽等

平成26年度情報科学研究科授業科目及び担当教員一覧

区分	授業科目名	領域	授業形態	単位数	担当教員	毎週授業時間数				総授業時間数	英語科目	備考
						I	II	III	IV			
基礎科目	計算機システムⅠ		L	1	中島康彦、小野直亮(ビデオ講義担当)	2		2		15	全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	計算機システムⅡ		L	1	安本慶一、荒川豊、小野直亮(ビデオ講義担当)	2		2		15	全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	アルゴリズムⅠ		L	1	井上美智子、加藤有己(ビデオ講義担当)	2		2		15	全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	アルゴリズムⅡ		L	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh、進藤裕之、加藤有己(ビデオ講義担当)	2		2		15	全学共通科目 Ⅲ期は原則秋入学対象	
	バイオサイエンス概論		L	1	真木壽治 他	2				15	全学共通科目	
	物質創成科学概論		L	1	香月浩之 他	2				15	全学共通科目	
	情報理論		L	1	楯勇一	2				15		
	形式言語理論基礎		L	1	伊藤実	2				15		
	プログラミング基礎演習Ⅰ		P	1	門田暁人、伊原彰紀	4				30		
	プログラミング基礎演習Ⅱ		P	1	松本健一、畑秀明		4			30		
	信号処理論		L	1	岡田実、東野武史	2				15		
	数値計算法		L	1	加藤博一、山本豪志朗	2				15		
	応用解析学		L	1	小笠原司、高松淳		2			15		
	最適化数学基礎		L	1	杉本謙二	2				15		
	微分積分学		L	1	池田和司	2				15		
	データ解析基礎		L	1	金谷重彦	2				15		
	確率過程論基礎		L	1	笠原正治		2			15		
	組合せ数学		L	1	(丸尾健二)			2		15		
	代数的構造		L	1	(阪井章)	2				15		
	専門科目	計算理論Ⅰ	C	L	1	伊藤実		2			15	
		計算理論Ⅱ	C	L	1	井上美智子		2			15	○
		計算理論Ⅲ	C	L	1	(関浩之)		2			15	○
		ハードウェア設計論Ⅰ	C	L	1	姚駿、高前田伸也	2				15	○
ハードウェア設計論Ⅱ		C	L	1	井上美智子、米田友和、大和勇太		2			15	○	
高性能計算機アーキテクチャ		C	L	1	中島康彦		2			15		
分散システムとミドルウェア		C	L	1	安本慶一		2			15	○	
ユビキタス情報処理		C	L	1	荒川豊			2		15		
モバイルコンピューティング論		C	L	1	柴田直樹		2			15	○	
ソフトウェア設計論		C	L	1	飯田元、(吉田則裕)	集中講義				15		
システム要求工学		C	L	1	田中康、高井利憲、(片平真史、宮本祐子、氏家亮)	集中講義				15		
仮想化システム基盤		C	L	1	市川昊平				2	15	○	
ソフトウェア工学Ⅰ		C	L	1	松本健一、畑秀明	2				15		
ソフトウェア工学Ⅱ		C	L	1	門田暁人、伊原彰紀			2		15		
符号理論		C	L	1	楯勇一			2		15	○	
集合と圏		C	L	1						15	H26年度不開講	
帰納と再帰		C	L	1						15	○ H26年度不開講	
情報ネットワーク論Ⅰ		C	L	2	山口英、門林雄基	4				30	○	
情報ネットワーク論Ⅱ		C	L	2	藤川和利、猪俣敦夫、垣内正年			4		30		
現代情報セキュリティ論		C	L	2	山口英、(村井純)		2	2		30	○	
人工知能:探索とマイニング		M	L	1	松本裕治、新保仁、Kevin Duh	2				15	○	
環境知能		M	L	1	(萩田紀博)、神原誠之			2		15	○	
自然言語処理		M	L	1	松本裕治、(柏岡秀紀)、進藤裕之			2		15		
コンピュータビジョンⅠ		M	L	1	佐藤智和、中島悠太			2		15	○	
コンピュータビジョンⅡ		M	L	1	向川康博			2		15		
コンピュータグラフィックス		M	L	1	加藤博一、Christian Sandor、山本豪志朗	2				15	○	
バーチャルリアリティ		M	L	1	神原誠之、武富貴史				2	15		
画像情報処理		M	L	1	横矢直和、河合紀彦		2			15		
無線通信システム		M	L	1	岡田実、東野武史		2			15		
信号検出理論		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15	○	
ネットワークシミュレーション		M	L	1	岡田実、東野武史			2		15		
音情報処理		M	L	1	中村哲、戸田智基、(猿渡洋)、川波弘道			2		15		
系列データモデリング		M	L	1	戸田智基、Sakti Sakriani Watiarsi、Graham Neubig	2				15	○	
ヒューマンコンピュータインタラクション		M	L	1	Christian Sandor				2	15	○	
パターン認識		M	L	1	浮田宗伯		2			15		
離散事象システム論		A	L	1	笠原正治、笹部昌弘			2		15		
システム制御Ⅰ	A	L	1	杉本謙二	2				15			
システム制御Ⅱ	A	L	1	(平田健太郎)			2		15	○		
ロボティクスⅠ	A	L	1	小笠原司、高松淳	2				15			
ロボティクスⅡ	A	L	1	小笠原司、高松淳、(松本吉央、加賀美聡、山崎俊太郎)			2		15	○		
数理モデル論	A	L	1	池田和司、久保孝富		2			15			

専門科目	計算神経科学	A	L	1					15	○	H26年度不開講
	生命機能計測学	A	L	1	杉浦忠男、(飯田秀博、銭谷勉)			2	15		
	システムズバイオロジ I	A	L	1	金谷重彦、Md. Altaf-Ul-Amin	2			15	○	
	システムズバイオロジ II	A	L	1	金谷重彦、Md. Altaf-Ul-Amin			2	15		
	医用画像解析	A	L	1	佐藤嘉伸			2	15	○	
	ビッグデータアナリティクス	共	L	1	中村哲、金谷重彦、(岩爪道昭、神谷祐樹、松井くにお)			2	15		
	先進情報科学特別講義 I, III	共	L	1					15	○	H26年度不開講
	先進情報科学特別講義 II, IV	共	L	1	樫原茂、川波弘道、川原純、久保孝富、Sakti Sakriani Watiasri、中島悠太、畑秀明、松原崇充、大和勇太、吉川 雅博			2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	プロジェクト実習 I	共	P	2					60		H26年度不開講
	プロジェクト実習 II	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師		テーマ毎に異なる		60		数クラス実施
	プロジェクト実習 III	共	P	2					60		H26年度不開講
	プロジェクト実習 IV	共	P	2	各テーマ担当教員及び学外講師		テーマ毎に異なる		60		数クラス実施
	ソフトウェア開発演習 I	共	P	2	飯田元、伊原彰紀			2	30		
	ソフトウェア開発演習 II	共	P	2	市川昊平、池田篤俊			2	30		
	先端複合技術論	共	L	1	飯田元、高松淳、猪俣敦夫、田中康、高井利憲、山口明彦			1	1	15	
	先端複合演習 I	共	P	2	高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、(Daniel Port)		テーマ毎に異なる		30		
	先端複合演習 II	共	P	2	高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、(Daniel Port)		テーマ毎に異なる		30		
	先端ロボット概論	A	L	1	高松淳、山口明彦、(重見聡史、松本隆志、安川裕介、丁明、大原賢一、中岡慎一郎、小枝正直)			2		15	
	先端ロボット構成論	A	P	2	高松淳、神原誠之、松原崇充、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		60		
	先端ロボット開発論 I	A	P	1	池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		30		
	先端ロボット開発論 II	A	P	1	高松淳、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博		集中講義		30		
	情報セキュリティ運用リテラシー I	C	L	1	山口英、猪俣敦夫、(高木浩光、松本隆、上原哲太郎)		集中講義		15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティ運用リテラシー II	C	L	1	藤川和利、(歌代和正)、猪俣敦夫、(岡村久道、山川智彦)		集中講義		15		(大阪大学中之島センター)
	情報セキュリティPBL演習 A	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15		
情報セキュリティPBL演習 B	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 C	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 D	C	P	1	門林雄基、奥田剛、榎山寛章、(篠田陽一、三輪信介)		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 E	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 F	C	P	1	猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(曾根秀昭、林優一、本間尚文)		集中講義		15			
情報セキュリティPBL演習 G	C	P	1	藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、(岡村真吾)		集中講義		15			
一般科目	科学技術論・科学技術者論			1	担当教員			2	15		全学共通科目
	科学コミュニケーション			1	担当教員			2	15		全学共通科目
	英語プレゼンテーション法入門			1	(David Sell)	2			15	○	TOEIC点数により火・金の2クラス
	英語コミュニケーション法 I			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語コミュニケーション法 II			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語ライティング法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語プレゼンテーション法			1	Mike Barker	2			15	○	
	英語プロジェクトマネジメント法			1	Mike Barker		2		15	○	
	英語論文検索法			1	Mike Barker			2	15	○	
	英語デジタルメディア活用法			1	Mike Barker			2	15	○	
	異文化間コミュニケーション(先進学際領域特論 I)			1	(David Sell)			2	15	○	
	技術ベンチャー論			1	(光井将一)		2		15		
	知的財産権			1	久保浩三			2	15	○	
	技術経営			1	(光井将一)		集中講義		15		
	科学哲学			1	(中尾央)		2		15		全学共通科目
	技術と倫理			1	(上田修史)			2	15		全学共通科目、隔年で英語
	環境と情報			1					15		H26年度不開講
	日本文化入門			2	(Adarsh Bala Sharma)	2	2		30	○	
	アカデミックボランティア I			1	戸田智基・佐藤智和		テーマ毎に異なる		30		
	アカデミックボランティア II			1	戸田智基・佐藤智和		テーマ毎に異なる		30		
研究室特論	コンピューティングアーキテクチャ特論 I			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 II			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 III			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	コンピューティングアーキテクチャ特論 IV			1	中島康彦・姚駿・高前田伸也		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 I			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 II			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 III			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
	ディメンダブルシステム学特論 IV			1	井上美智子・米田友和・大和勇太		特論毎に異なる				
ユビキタスコンピューティングシステム特論 I			1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦		特論毎に異なる					

研究室特論	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅱ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅲ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ユビキタスコンピューティングシステム特論Ⅳ	1	安本 慶一・荒川豊・玉井森彦	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅰ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅱ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅲ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア基礎学特論Ⅳ	1	伊藤 実・柴田直樹	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅰ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明・(Daniel Port)	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅱ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅲ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア工学特論Ⅳ	1	松本健一・門田暁人・伊原彰紀・畑秀明	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅰ	1	飯田 元・市川晃平・(Daniel Port)	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅱ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅲ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	ソフトウェア設計学特論Ⅳ	1	飯田 元・市川晃平	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅰ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅱ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅲ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	インターネット工学特論Ⅳ	1	山口 英	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅰ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅱ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅲ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	情報基盤システム学特論Ⅳ	1	藤川 和利	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅰ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅱ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅲ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	自然言語処理学特論Ⅳ	1	松本 裕治	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅰ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅱ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅲ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	知能コミュニケーション特論Ⅳ	1	中村 哲	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅰ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅱ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅲ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	ネットワークシステム学特論Ⅳ	1	岡田 実	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅰ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅱ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅲ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	視覚情報メディア特論Ⅳ	1	横矢 直和	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅰ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅱ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅲ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	インタラクティブメディア設計学特論Ⅳ	1	加藤 博一	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅰ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅱ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅲ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	光メディアインタフェース特論Ⅳ	1	向川 康博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅰ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅱ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
	環境知能学特論Ⅲ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる		
環境知能学特論Ⅳ	1	萩田 紀博	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅰ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅱ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅲ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
ロボティクス特論Ⅳ	1	小笠原 司	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅰ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅱ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅲ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
知能システム制御特論Ⅳ	1	杉本 謙二	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅰ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅱ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅲ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
数理情報学特論Ⅳ	1	池田 和司	特論毎に異なる			
計算システムズ生物学特論Ⅰ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる			
計算システムズ生物学特論Ⅱ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる			

研究室特論	計算システムズ生物学特論Ⅲ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	計算システムズ生物学特論Ⅳ	1	金谷 重彦	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅰ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅱ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅲ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	大規模システム管理特論Ⅳ	1	笠原 正治・笹部昌弘・川原 純	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅰ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅱ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
	生体医用画像特論Ⅲ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる						
生体医用画像特論Ⅳ	1	佐藤 嘉伸	特論毎に異なる							
研究指導	ゼミナールⅠ	1	所属研究室担当教員	2				15		
	ゼミナールⅡ	1	所属研究室担当教員	2	4			15		
	研究論文	4	所属研究室担当教員							
	課題研究	4	所属研究室担当教員							
博士後期課程科目	国際化科目ⅠA, B	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	各期から選択
	国際化科目ⅡA, B, C	2	所属研究室担当教員	テーマ毎に異なる				30	○	
	先進学際領域特論Ⅰ	1	(David Sell)				2	15	○	
	先進学際領域特論Ⅱ	1						15	○	H26年度不開講
	先進情報科学特別講義Ⅰ～Ⅳ	1	担当教員				2	15	○	10クラス実施 (2クラスで1単位)
	先進情報科学考究	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	先進ゼミナール	2	所属研究室担当教員	随時実施				30		
	博士学位論文研究Ⅰ,Ⅲ,Ⅴ	3	所属研究室担当教員	随時実施				45		
	博士学位論文研究Ⅱ,Ⅳ,Ⅵ	3	所属研究室担当教員					随時実施	45	

- ・ 講義形態のLは講義科目、Pは演習科目を示す。
- ・ 領域のCはコンピュータ科学領域、Mはメディア情報学領域、Aはシステム情報学領域、共は各領域に共通の授業科目を示す。
- ・ 担当教員の () は、非常勤講師を示す。集中講義日程の詳細は電子シラバスに掲載。
- ・ 研究室特論について、修了に必要な単位としては算入しないが、所属する研究室以外の特論も一部履修可能である。他研究室からの履修が可能かどうかは電子シラバスに掲載。

List of subjects and faculty members in charge for the Graduate School of Information Science in academic year 2014

Category	Subject	Do ma in	Type	Num ber of	Faculty member in charge	Number of classes per week				Total number of classes	Englis h subjec t	Remarks
						I	II	III	IV			
Basic Subjects	Computer System I		L	1	Yasuhiko Nakashima, Ono (in charge of the video lecture)	2		2		15		Common Subjects for All Graduate Schools in principle. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Computer System II		L	1	Yasumoto, Arakawa, Ono (in charge of the video lecture)	2		2		15		Common Subjects for All Graduate Schools in principle. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Algorithm I		L	1	Inoue, Yuki Kato (in charge of the video lecture)	2		2		15		Common Subjects for All Graduate Schools in principle. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Algorithm II		L	1	Yuji Matsumoto, Shimbo, Duh, Shindo, Yuki Kato (in charge of the video lecture)	2		2		15		Common Subjects for All Graduate Schools in principle. Quarter III is intended for students admitted in autumn.
	Introduction to Biological Science		L	1	Maki etc	2				15		Common Subjects for All Graduate Schools
	Foundation of Materials Science		L	1	Katsuki etc	2				15		Common Subjects for All Graduate Schools
	Information Theory		L	1	Kaji	2				15		
	Introduction to Formal Language Theory		L	1	Ito	2				15		
	Introductory Programming Course I		P	1	Monden, Ihara	4				30		
	Introductory Programming Course II		P	1	Kenichi Matsumoto, Hata		4			30		
	Principles of Signal Processing		L	1	Okada, Higashino	2				15		
	Numerical Methods		L	1	Hirokazu Kato, Yamamoto	2				15		
	Applied Analysis		L	1	Ogasawara, Takamatsu		2			15		
	Fundamental Mathematics for Optimization		L	1	Sugimoto	2				15		
	Calculus		L	1	Kazushi Ikeda	2				15		
	Basic Data Analysis		L	1	Kanaya	2				15		
	Introduction to Stochastic Processes		L	1	Kasahara		2			15		
	Combinatorics		L	1	(Maruo)			2		15		
	Algebraic Structures		L	1	(Sakai)	2				15		
Specialized Subjects in Information Science	Theory of Computation I	C	L	1	Ito		2			15		
	Theory of Computation II	C	L	1	Inoue		2			15	○	
	Theory of Computation III	C	L	1	(Seki)		2			15	○	
	Hardware Design I	C	L	1	Yao, Takamaeda	2				15	○	
	Hardware Design II	C	L	1	Inoue, Yoneda, Yamato		2			15	○	
	High Performance Computer Architecture	C	L	1	Yasuhiko Nakashima		2			15		
	Distributed Systems and Middleware	C	L	1	Yasumoto		2			15	○	
	Ubiquitous Information Processing	C	L	1	Arakawa				2	15		
	Mobile Computing	C	L	1	Shibata		2			15	○	
	Software Design	C	L	1	Hajimu Iida, (Yoshida)	Intensive lectures				15		
	System Requirement Engineering	C	L	1	Tanaka, Takai, (Katahira, Miyamoto, Ujii)	Intensive lectures				15		
	Virtual Systems Infrastructure	C	L	1	Ichikawa				2	15	○	
	Software Engineering I	C	L	1	Kenichi Matsumoto, Hata	2				15		
	Software Engineering II	C	L	1	Monden, Ihara			2		15		
	Coding Theory	C	L	1	Kaji			2		15	○	
	Sets and Categories - Mathematical Literacy	C	L	1						15		N/A in this academic year
	Induction and Recursion	C	L	1						15	○	N/A in this academic year
	Information Network I	C	L	2	Suguru Yamaguchi, Kadobayashi	4				30	○	
	Information Network II	C	L	2	Fujikawa, Inomata, Kakiuchi			4		30		
	Information Security & Our Society	C	L	2	Suguru Yamaguchi, (Murai)			2	2	30	○	
	Artificial Intelligence: Searching and Mining	M	L	1	Yuji Matsumoto, Shimbo, Kevin Duh	2				15	○	
	Ambient Intelligence	M	L	1	(Hagita), Kanbara			2		15	○	
	Natural Language Processing	M	L	1	Yuji Matsumoto, (Kashioka), Shindo			2		15		
	Computer Vision I	M	L	1	Tomokazu Sato, Yuta Nakajima			2		15	○	
	Computer Vision II	M	L	1	Mukaigawa			2		15		
	Computer Graphics	M	L	1	Hirokazu Kato, Sandor, Yamamoto	2				15	○	
	Virtual Reality	M	L	1	Kanbara, Taketomi				2	15		
	Digital Image Processing	M	L	1	Yokoya, Kawai		2			15		
	Wireless Communication Systems	M	L	1	Okada, Higashino		2			15		
	Signal Detection Theory	M	L	1	Okada, Higashino			2		15	○	
Network Simulation	M	L	1	Okada, Higashino			2		15			
Speech Processing	M	L	1	Satoshi Nakamura, Toda, (Saruwatari), Kawanami			2		15			
Sequential Data Modeling	M	L	1	Toda, Sakriani Sakti, Graham Neubig		2			15	○		
Human Computer Interaction	M	L	1	Sandor				2	15	○		
Pattern Recognition	M	L	1	Ukita		2			15			
Discrete Event Systems	A	L	1	Kasahara, Sasabe		2			15			

Specialized Subjects in Information Science	Systems Control I	A	L	1	Sugimoto	2				15			
	Systems Control II	A	L	1	(Hirata)			2		15	○		
	Robotics I	A	L	1	Ogasawara, Takamatsu	2				15			
	Robotics II	A	L	1	Ogasawara, Takamatsu, (Yoshio Matsumoto, Kagami, Yamasaki)			2		15	○		
	Mathematical Modeling	A	L	1	Kazushi Ikeda, Kubo		2			15			
	Computational Neuroscience	A	L	1						15	○		N/A in this academic year
	Bio-Imaging	A	L	1	Sugiura, (Hidehiro Iida, Zeniya)			2		15			
	Systems Biology I	A	L	1	Kanaya, Md. Altaf-Ul-Amin	2				15	○		
	Systems Biology II	A	L	1	Kanaya, Md. Altaf-Ul-Amin			2		15			
	Biomedical Image Analysis	A	L	1	Yoshinobu Sato			2		15	○		
	Big Data Analytics	Common	L	1	Satoshi Nakamura, Kanaya, (Iwazume, Kamiya, Matsui)			2		15			
	Advanced Cutting-edge Research Seminar I, III	Common	L	1						15	○		N/A in this academic year
	Advanced Cutting-edge Research Seminar II, IV	Common	L	1	Kashihara, Kawanami, Kawahara, Kubo, Skit Sakriani, Yuta Nakajima, Hata, Matsubara, Yamato, Yoshikawa				2	15	○		10 classes will be offered. (1 credit for 2 classes)
	Project Practice I	Common	P	2						60			N/A in this academic year
	Project Practice II	Common	P	2	Faculty members in charge of respective themes and non-NAIST instructors				Different for respective themes	60			A few classes will be offered
	Project Practice III	Common	P	2						60			N/A in this academic year
	Project Practice IV	Common	P	2	Faculty members in charge of respective themes and non-NAIST instructors				Different for respective themes	60			A few classes will be offered
	Exercise in Practical Software Development I	Common	P	2	Hajimu Iida, Ihara			2		30			
	Exercise in Practical Software Development II	Common	P	2	Ichikawa, Atsutoshi Ikeda				2	30			
	Theory of Advanced IT	Common	L	1	Hajimu Iida, Takamatsu, Inomata, Tanaka, Takai, Akihiko Yamaguchi			1	1	15			
	Studio of Advanced IT I	Common	P	2	Takamatsu, Tanaka, Takai, Akihiko Yamaguchi, Ohira, (Daniel Port)				Different for respective themes	30			
	Studio of Advanced IT II	Common	P	2	Takamatsu, Tanaka, Takai, Akihiko Yamaguchi, Ohira, (Daniel Port)				Different for respective themes	30			
	Introduction to Advanced Robot Technology	A	L	1	Takamatsu, Akihiko Yamaguchi, (Shigemi, Takashi Matsumoto, Yasukawa, Ding, Ohara, Nakaoka, Koeda)		2			15			
	Advanced Robot Design	A	P	2	Takamatsu, Kanbara, Matsubara, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Yoshikawa				Intensive lectures	60			
	Advanced Robot Development Theory I	A	P	1	Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Yoshikawa				Intensive lectures	30			
	Advanced Robot Development Theory II	A	P	1	Takamatsu, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Yoshikawa				Intensive lectures	30			
	Lecture of Information Security Management Literacy I	C	L	1	Suguru Yamaguchi, Inomata, (Takagi, Takashi Matsumoto, Uehara)				Intensive lectures	15			(at Osaka University Nakanoshima Center)
	Lecture of Information Security Management Literacy II	C	L	1	Fujikawa, (Utashiro), Inomata, (Hisamichi Okamura, Yamakawa)				Intensive lectures	15			(at Osaka University Nakanoshima Center)
	Exercise for Information Security PBL A	C	P	1	Fujikawa, Inomata, Okuda, Ohira, (Shingo Okamura)				Intensive lectures	15			
	Exercise for Information Security PBL B	C	P	1	Fujikawa, Inomata, Okuda, Ohira, (Shingo Okamura)				Intensive lectures	15			
	Exercise for Information Security PBL C	C	P	1	Fujikawa, Inomata, Okuda, Ohira				Intensive lectures	15			
	Exercise for Information Security PBL D	C	P	1	Kadobayashi, Okuda, Hazeyama, (Shinoda, Miwa)				Intensive lectures	15			
Exercise for Information Security PBL E	C	P	1	Fujikawa, Inomata, Okuda, Ohira				Intensive lectures	15				
Exercise for Information Security PBL F	C	P	1	Inomata, Okuda, Ohira, (Sone, Hayashi, Honma)				Intensive lectures	15				
Exercise for Information Security PBL G	C	P	1	Fujikawa, Inomata, Okuda, Ohira, (Shingo Okamura)				Intensive lectures	15				
General Subjects	Commentaries on Science and Technology			1	Faculty members in charge		2			15			Common Subjects for All Graduate Schools
	Science Communication			1	Faculty members in charge			2		15			Common Subjects for All Graduate Schools
	Skills for English Presentation I			1	(David Sell)	2				15	○		Tuesday or Friday (based on TOEIC score)
	Methods of English Communication I			1	Mike Barker			2		15	○		
	Methods of English Communication II			1	Mike Barker				2	15	○		
	Advanced Scientific Writing			1	Mike Barker		2			15	○		
	Skills for English Presentation II			1	Mike Barker	2				15	○		
	Project Management for Research			1	Mike Barker		2			15	○		
	Literature Search			1	Mike Barker			2		15	○		
	Digital Media			1	Mike Barker				2	15	○		
	Intercultural Communication(Advanced Specific Field Seminar I)			1	(David Sell)				2	15	○		
	General Subjects	Technology Entrepreneurship and Commercialization			1	(Mitsui)		2			15		
Intellectual Property Rights				1	Kubo			2		15	○		
Management of Technology				1	(Mitsui)			Intensive lectures		15			
Philosophy of Science				1	(Nakao)		2			15			Common Subjects for All Graduate Schools
Technology and Professional Ethics				1	(Ueda)			2		15			Common Subjects for All Graduate Schools
Information Technology for Environmental Issues				1						15			N/A in this academic year
Japanese Culture				2	(Adarsh Bala Sharma)	2	2			30	○		
Academic Volunteer I				1	Toda, Tomokazu Sato			Different for respective themes		30			
Academic Volunteer II			1	Toda, Tomokazu Sato			Different for respective themes		30				

Advanced Topics in Information Science	Advanced Computing Architecture I	1	Yasuhiko Nakashima, Yao, Takamaeda	Different for respective subjects		
	Advanced Computing Architecture II	1	Yasuhiko Nakashima, Yao, Takamaeda	Different for respective subjects		
	Advanced Computing Architecture III	1	Yasuhiko Nakashima, Yao, Takamaeda	Different for respective subjects		
	Advanced Computing Architecture IV	1	Yasuhiko Nakashima, Yao, Takamaeda	Different for respective subjects		
	Advanced Dependable System I	1	Inoue, Yoneda, Yamato	Different for respective subjects		
	Advanced Dependable System II	1	Inoue, Yoneda, Yamato	Different for respective subjects		
	Advanced Dependable System III	1	Inoue, Yoneda, Yamato	Different for respective subjects		
	Advanced Dependable System IV	1	Inoue, Yoneda, Yamato	Different for respective subjects		
	Advanced Ubiquitous Computing Systems I	1	Yasumoto, Arakawa, Tamai	Different for respective subjects		
	Advanced Ubiquitous Computing Systems II	1	Yasumoto, Arakawa, Tamai	Different for respective subjects		
	Advanced Ubiquitous Computing Systems III	1	Yasumoto, Arakawa, Tamai	Different for respective subjects		
	Advanced Ubiquitous Computing Systems IV	1	Yasumoto, Arakawa, Tamai	Different for respective subjects		
	Advanced Foundations of Software I	1	Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects		
	Advanced Foundations of Software II	1	Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects		
	Advanced Foundations of Software III	1	Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects		
	Advanced Foundations of Software IV	1	Ito, Naoki Shibata	Different for respective subjects		
	Advanced Software Engineering I	1	Kenichi Matsumoto, Monden, Ihara, Hata, (Daniel Port)	Different for respective subjects		
	Advanced Software Engineering II	1	Kenichi Matsumoto, Monden, Ihara, Hata	Different for respective subjects		
	Advanced Software Engineering III	1	Kenichi Matsumoto, Monden, Ihara, Hata	Different for respective subjects		
	Advanced Software Engineering IV	1	Kenichi Matsumoto, Monden, Ihara, Hata	Different for respective subjects		
	Advanced Software Design and Analysis I	1	Hajimu Iida, Ichikawa, (Daniel Port)	Different for respective subjects		
	Advanced Software Design and Analysis II	1	Hajimu Iida, Ichikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Software Design and Analysis III	1	Hajimu Iida, Ichikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Software Design and Analysis IV	1	Hajimu Iida, Ichikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Engineering I	1	Suguru Yamaguchi	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Engineering II	1	Suguru Yamaguchi	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Engineering III	1	Suguru Yamaguchi	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Engineering IV	1	Suguru Yamaguchi	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Architecture and Systems I	1	Fujikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Architecture and Systems II	1	Fujikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Architecture and Systems III	1	Fujikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Internet Architecture and Systems IV	1	Fujikawa	Different for respective subjects		
	Advanced Computational Linguistics I	1	Yuji Matsumoto	Different for respective subjects		
	Advanced Computational Linguistics II	1	Yuji Matsumoto	Different for respective subjects		
	Advanced Computational Linguistics III	1	Yuji Matsumoto	Different for respective subjects		
	Advanced Computational Linguistics IV	1	Yuji Matsumoto	Different for respective subjects		
	Advanced Augmented Human Communication I	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects		
	Advanced Augmented Human Communication II	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects		
	Advanced Augmented Human Communication III	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects		
	Advanced Augmented Human Communication IV	1	Satoshi Nakamura	Different for respective subjects		
	Advanced Network Systems I	1	Okada	Different for respective subjects		
	Advanced Network Systems II	1	Okada	Different for respective subjects		
	Advanced Network Systems III	1	Okada	Different for respective subjects		
	Advanced Network Systems IV	1	Okada	Different for respective subjects		
Advanced Vision and Media Computing I	1	Yokoya	Different for respective subjects			
Advanced Vision and Media Computing II	1	Yokoya	Different for respective subjects			
Advanced Vision and Media Computing III	1	Yokoya	Different for respective subjects			
Advanced Vision and Media Computing IV	1	Yokoya	Different for respective subjects			
Advanced Interactive Media Design I	1	Hirokazu Kato	Different for respective subjects			
Advanced Interactive Media Design II	1	Hirokazu Kato	Different for respective subjects			
Advanced Interactive Media Design III	1	Hirokazu Kato	Different for respective subjects			
Advanced Interactive Media Design IV	1	Hirokazu Kato	Different for respective subjects			

Advanced Topics in Information Science	Advanced Optical Media Interface I	1	Mukaigawa	Different for respective subjects						
	Advanced Optical Media Interface II	1	Mukaigawa	Different for respective subjects						
	Advanced Optical Media Interface III	1	Mukaigawa	Different for respective subjects						
	Advanced Optical Media Interface IV	1	Mukaigawa	Different for respective subjects						
	Advanced Ambient Intelligence I	1	(Hagita)	Different for respective subjects						
	Advanced Ambient Intelligence II	1	(Hagita)	Different for respective subjects						
	Advanced Ambient Intelligence III	1	(Hagita)	Different for respective subjects						
	Advanced Ambient Intelligence IV	1	(Hagita)	Different for respective subjects						
	Advanced Robotics I	1	Ogasawara	Different for respective subjects						
	Advanced Robotics II	1	Ogasawara	Different for respective subjects						
	Advanced Robotics III	1	Ogasawara	Different for respective subjects						
	Advanced Robotics IV	1	Ogasawara	Different for respective subjects						
	Advanced Intelligent System Control I	1	Sugimoto	Different for respective subjects						
	Advanced Intelligent System Control II	1	Sugimoto	Different for respective subjects						
	Advanced Intelligent System Control III	1	Sugimoto	Different for respective subjects						
	Advanced Intelligent System Control IV	1	Sugimoto	Different for respective subjects						
	Advanced Mathematical Informatics I	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects						
	Advanced Mathematical Informatics II	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects						
	Advanced Mathematical Informatics III	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects						
	Advanced Mathematical Informatics IV	1	Kazushi Ikeda	Different for respective subjects						
	Advanced Computational Systems Biology I	1	Kanaya	Different for respective subjects						
	Advanced Computational Systems Biology II	1	Kanaya	Different for respective subjects						
	Advanced Computational Systems Biology III	1	Kanaya	Different for respective subjects						
	Advanced Computational Systems Biology IV	1	Kanaya	Different for respective subjects						
	Advanced Large-Scale Systems Management I	1	Kasahara, SaSabe	Different for respective subjects						
	Advanced Large-Scale Systems Management II	1	Kasahara, SaSabe	Different for respective subjects						
	Advanced Large-Scale Systems Management III	1	Kasahara, SaSabe	Different for respective subjects						
	Advanced Large-Scale Systems Management IV	1	Kasahara, SaSabe	Different for respective subjects						
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine I	1	Yoshinobu Sato	Different for respective subjects						
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine II	1	Yoshinobu Sato	Different for respective subjects						
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine III	1	Yoshinobu Sato	Different for respective subjects						
	Advanced Imaging-based Computational Biomedicine IV	1	Yoshinobu Sato	Different for respective subjects						
Seminar	Seminar I	1	Faculty members in charge of courses selected by students	2				15		
	Seminar II	1	Faculty members in charge of courses selected by students	2	4			15		
	Research Work	4	Faculty members in charge of courses selected by students							
	Theme Research	4	Faculty members in charge of courses selected by students							
Doctoral Course	International Communications	1	Mike Barker, (David Sell)	2	2	2	2	15	○	
	International Practice	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Different for respective themes				30	○	
	Advanced Specific Field Seminar I	1	(David Sell)				2	15	○	
	Advanced Specific Field Seminar II	1						15	○	N/A in this academic year
	Advanced Cutting-edge Research Seminar	1	Faculty members in charge				2	15	○	10 classes will be offered. (1 credit for 2 classes)
	Advanced Project Management	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				30		
	Research Status Hearing	2	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				30		
	Doctoral Research I, III, V	3	Faculty members in charge of courses selected by students	Offered as necessary				45		
Doctoral Research II, IV, VI	3	Faculty members in charge of courses selected by students		Offered as necessary			45			

- “L” in the “Type” column stands for lectures, “P” for practices.
- “C” in the “Domain” column stands for the computer science domain, “M” for the media informatics domain, “A” for the system informatics domain, and “Common” for common subjects in different domains.
- Faculty members in charge shown in parentheses are part-time instructors. The detailed schedule for intensive lectures can be found in the electronic syllabus.
- Students can take Advanced Topics in Information Science provided by a laboratory different from the one they belong to though the credits of those subjects shall not count as credits toward completion. See the electronic syllabus for the information on whether each Advanced Topics in Information Science can be taken by students belonging to different laboratories.

第 I 期 (4月 7日(月)～ 6月 3日(火))

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	情報理論 [L1] 榎 勇一 システム制御 I [L2] 杉本 謙二 * システムズバイオロジ I [L3] 金谷 重彦, MD. ALTAFA-UL-AMIN	研究室特論 I / II / III / IV	信号処理論 [L1] 岡田 実, 東野 武史 * ハードウェア設計論 I [L2] 姚 駿, 高前田 伸也 形式言語理論基礎 [L3] 伊藤 実	データ解析基礎 [L1] 金谷 重彦 * 情報ネットワーク論 I [L2] 山口 英, 門林 雄基 システム要求工学 ※7 [L3] 田中 康, 高井 利憲, 片平 真史, 宮本 祐子, 氏家 亮
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	ソフトウェア工学 I [L1] 松本 健一, 畑 秀明 * 人工知能:探索とマイニング [L2] 松本 裕治, 新保 仁, Kevin Duh	研究室特論 I / II / III / IV	ロボティクス I [L1] 小笠原 司, 高松 淳 * コンピュータグラフィックス [L2] 加藤 博一, Christian Sandor, 山本 豪志朗	数値計算法 [L1] 加藤 博一, 山本 豪志朗 * 情報ネットワーク論 I [L2] 山口 英, 門林 雄基 システム要求工学 ※7 [L3] 田中 康, 高井 利憲, 片平 真史, 宮本 祐子, 氏家 亮
3限 13:30 15:00	ゼミナール I / II [L1, L2, L3] 所属研究室担当教員	微分積分学 [L1] 池田 和司 代数的構造 [L2] 阪井章 * 英語プレゼンテーション法入 門 ※1 [L3] David Sell	ゼミナール I / II [L1, L2, L3] 所属研究室担当教員	最適化数学基礎 [L1] 杉本 謙二 * 日本文化入門 [L3] Adarsh Bala Sharma	* 英語プレゼンテーション法入 門 ※1 [L3] David Sell * 英語プレゼンテーション法 [L2] Mike Barker
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	計算機システム I ※2※3 [L1, L2, L3] 中島 康彦, 小野 直亮 計算機システム II ※2※5 [L1, L2, L3] 安本 慶一, 荒川 豊, 小野 直亮 バイオサイエンス概論 ※3 [バイオ大講義室] 担当教員	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 I [A207] 門田 暁人, 伊原 彰紀 プロジェクト実習 II / IV ※6 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	計算機システム I ※2※3 [L1, L2, L3] 中島 康彦, 小野 直亮 計算機システム II ※2※5 [L1, L2, L3] 安本 慶一, 荒川 豊, 小野 直亮 バイオサイエンス概論 ※3 [バイオ大講義室] 担当教員
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	アルゴリズム I ※2※3 [L1, L2, L3] 井上 美智子, 加藤 有己 アルゴリズム II ※2※4 [L1, L2, L3] 松本 裕治, 新保 仁, Kevin Duh, 進藤 裕之, 加藤 有己 物質創成科学概論 ※4 [物質大講義室] 担当教員	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 I [A207] 門田 暁人, 伊原 彰紀 プロジェクト実習 II / IV ※6 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	アルゴリズム I ※2※3 [L1, L2, L3] 井上 美智子, 加藤 有己 アルゴリズム II ※2※4 [L1, L2, L3] 松本 裕治, 新保 仁, Kevin Duh, 進藤 裕之, 加藤 有己 物質創成科学概論 ※4 [物質大講義室] 担当教員
備考	<p>* : 英語科目</p> <p>※1 英語プレゼンテーション法入門 : 火曜日は TOEIC 400点以上が受講の目安。400点未満の場合は金曜日を推奨。</p> <p>※2 計算機システムI, II、アルゴリズム I, II : 秋入学者のみビデオアーカイブとして第III期に履修可能 (第III期の第1週終了までに第 I 期講義担当に問い合わせること)</p> <p>※3 計算機システムI、アルゴリズムI、バイオサイエンス概論日程 : 4/11(金), 4/15(火), 4/18(金), 4/22(火), 4/25(金), 5/2(金), 5/9(金), 5/13(火)</p> <p>※4 アルゴリズムII、物質創成科学概論 日程 : 5/16(金), 5/23(金), 5/27(火), 5/30(金), 6/3(火), 6/6(金), 6/10(火), 6/13(金) (全8回)</p> <p>※5 計算機システムII 日程 : 5/27(火), 5/30(金), 6/3(火), 6/6(金), 6/10(火), 6/13(金), 6/17(火) 5限, 6/20(金) 5限 (全8回)</p> <p>※6 プロジェクト実習II, IV : テーマ毎に異なる</p> <p>※7 システム要求工学日程 : 4/11(金), 5/16(金), 6/6(金)の1, 2限 および 6/20(金), 7/4(金)の1限 (全8回)</p> <p>☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知</p> <p>アカデミックボランティア I / II (戸田智基・佐藤智和)</p> <p>情報セキュリティ運用リテラシー-I (山口英, 猪俣敦夫, 高木浩光, 松本隆, 上原哲太郎)</p> <p>情報セキュリティ運用リテラシー-II (藤川和利, 歌代和正, 猪俣敦夫, 岡村久道, 山川智彦)</p> <p>情報セキュリティPBL演習A (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾)</p> <p>情報セキュリティPBL演習B (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾)</p> <p>情報セキュリティPBL演習C (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習D (門林雄基, 奥田剛, 樋山寛章, 篠田陽一, 三輪信介)</p> <p>情報セキュリティPBL演習E (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習F (猪俣敦夫, 曾根秀昭, 林優一, 本間尚文, 奥田剛, 大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習G (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾)</p> <p>先端ロボット開発論 I (池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博)</p> <p>先端ロボット開発論 II (高松淳, 池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博)</p> <p>先端ロボット構成論 (高松淳, 神原誠之, 松原崇充, 池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博)</p> <p>先端複合演習 I / II (高松淳, 田中康, 高井利憲, 山口明彦, 大平健司, Daniel Port)</p>				

第Ⅱ期（6月 4日(水) ～ 8月 1日(金)）

(6月25日(水)は健康診断のため授業休止。7月9日(水)～12日(土)は博士前期課程第1回入学者選抜試験のため授業休止。)

授業時間割一覧

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論 I / II / III / IV	高性能計算機アーキテク [L1] 中島 康彦 * 系列データモデリング [L2] 戸田 智基, Graham Neubig, Sakti Sakriani	研究室特論 I / II / III / IV	離散事象システム論 [L3] 筈原正治, 笹部昌弘 * モバイルコンピューティ ング論 [L2] 柴田 直樹 計算理論 I [L1] 伊藤 実	* ハードウェア設計論 II [L2] 井上 美智子, 米田 友和, 大和 勇太 システム要求工学 ※6 [L3] 田中 康, 高井 利憲, 片平 真史, 宮本 祐子, 氏家 亮
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	パターン認識 [L1] 浮田 宗伯 * 分散システムとミドルウェア [L2] 安本 慶一 先端ロボット概論 [L3] 高松淳, 山口明彦, (重見聡 史, 松本隆志, 安川裕介, 丁明, 大原賢一, 中岡慎一 郎, 小枝正直)	研究室特論 I / II / III / IV	無線通信システム [L1] 岡田 実, 東野 武史 * 計算理論 II [L2] 井上 美智子 数理モデル論 [L3] 池田 和司, 久保 孝富	画像情報処理 [L1] 横矢 直和, 河合 紀彦 * 計算理論 III [L2] 関 浩之 ソフトウェア設計論 ※7 [L3] 飯田 元, 吉田 則裕
3限 13:30 15:00	ゼミナール I / II [L1, L2, L3] 所属研究室担当教員	確率過程論基礎 [L2] 筈原 正治 * 英語プロジェクトマネジ メント法 [L1] Mike Barker	ゼミナール I / II [L1, L2, L3] 所属研究室担当教員	応用解析学 [L1] 小笠原 司, 高松 淳 * 日本文化入門 [L3] Adarsh Bala Sharma	ソフトウェア設計論 ※7 [L3] 飯田 元, 吉田 則裕 * 英語ライティング法 [L2] Mike Barker
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	科学技術論・科学技術者論 ※1 [ミレニアムホール] 担当教員 科学哲学 ※3 [L1] 中尾央	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 II [A207] 松本 健一, 畑 秀明 プロジェクト実習 II / IV ※2 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	科学技術論・科学技術者論 ※1 [ミレニアムホール] 担当教員 科学哲学 ※3 [L1] 中尾央
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	科学哲学 ※3 [L1] 中尾央	研究論文/課題研究	プログラミング基礎演習 II [A207] 松本 健一, 畑 秀明 プロジェクト実習 II / IV ※2 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	科学哲学 ※3 [L1] 中尾央
6限 18:30 20:00					技術ベンチャー論 ※4 [研修ホール ※5] 光井 将一
備考	* : 英語科目 ※1 科学技術論・科学技術者論 日程: 6/17(火), 6/20(金), 6/27(金), 7/1(火), 7/4(金), 7/8(火), 7/15(火), 7/18(金) (全8回) ※2 テーマ毎に異なる ※3 科学哲学 日程: 7/22(火), 7/25(金), 7/29(火), 8/1(金) (4,5限, 全8回) ※4 技術ベンチャー論 日程: 6/2(月), 6/6(金), 6/13(金), 6/20(金), 6/27(金), 7/4(金), 7/18(金), 7/25(金) (全8回) ※5 技術ベンチャー論: 最終回(7/25)のみ情報科学研究科 L1教室 ※6 システム要求工学 日程: 4/11(金), 5/16(金), 6/6(金)の1,2限 および 6/20(金), 7/4(金)の1限 (全8回) ※7 ソフトウェア設計論 日程: 6/20(金), 7/4(金), 7/18(金), 8/1(金) 2,3限 (全8回) ☆ 技術経営(光井 将一): 8/5(火), 8/6(水) 11:00～18:20 情報科学研究科 L1教室 ☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知 アカデミックボランティア I / II (戸田智基・佐藤智和) 情報セキュリティ運用リテラシー I (山口英, 猪俣敦夫, 高木浩光, 松本隆, 上原哲太郎) 情報セキュリティ運用リテラシー II (藤川和利, 歌代和正, 猪俣敦夫, 岡村久道, 山川智彦) 情報セキュリティPBL演習A (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾) 情報セキュリティPBL演習B (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾) 情報セキュリティPBL演習C (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司) 情報セキュリティPBL演習D (門林雄基, 奥田剛, 樋山寛章, 篠田陽一, 三輪信介) 情報セキュリティPBL演習E (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司) 情報セキュリティPBL演習F (猪俣敦夫, 曾根秀昭, 林優一, 本間尚文, 奥田剛, 大平健司) 情報セキュリティPBL演習G (藤川和利, 猪俣敦夫, 奥田剛, 大平健司, 岡村真吾) 先端ロボット開発論 I (池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博) 先端ロボット開発論 II (高松淳, 池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博) 先端ロボット構成論 (高松淳, 神原誠之, 松原崇充, 池田篤俊, 山口明彦, 吉川雅博) 先端複合演習 I / II (高松淳, 田中康, 高井利憲, 山口明彦, 大平健司, Daniel Port)				

第Ⅲ期(10月3日(金)～12月1日(月))

(11月28日(金)は月曜の講義を実施)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:05	研究室特論 I / II / III / IV	情報ネットワーク論Ⅱ [L1] 藤川 和利、猪俣 敦夫、 垣内 正年 * 信号検出理論 [L2] 岡田 実、東野 武史 コンピュータビジョンⅡ [L3] 向川 康博	研究室特論 I / II / III / IV	自然言語処理 [L1] 松本 裕治、柏岡 秀紀、 進藤 裕之 * 符号理論 [L2] 楳 勇一 * 医用画像解析 [L3] 佐藤 嘉伸	情報ネットワーク論Ⅱ [L1] 藤川 和利、猪俣 敦夫、 垣内 正年 * システム制御Ⅱ [L2] 平田 健太郎 ネットワークシミュレーション [L3] 岡田 実、東野 武史
2限 11:00 12:30	研究室特論 I / II / III / IV	ソフトウェア工学Ⅱ [L1] 門田 暁人、伊原 彰紀 * 環境知能 [L2] 萩田 紀博、神原 誠之 システムズバイオロジⅡ [L3] 金谷 重彦、MD. ALTAF-UL-AMIN	研究室特論 I / II / III / IV	* ロボティクスⅡ [L1] 小笠原 司、高松 淳、 松本吉史、加賀美 聡、 山崎 俊太郎 * 現代情報セキュリティ論 [L2] 山口 英、村井 純 音情報処理 [L3] 中村 哲、戸田 智基、猿 渡 洋、川波 弘道	生命機能計測学 [L1] 杉浦 忠男、飯田 秀博、 錢谷 勉 * コンピュータビジョンⅠ [L2] 佐藤 智和、中島 悠太 先端複合技術論 ※3 [L3] 飯田 元、高松 淳、猪俣 敦夫、田中 康、 高井 利憲、山口 明彦
3限 13:30 15:00	ゼミナールⅠ / II [L1,L2,L3] 所属研究室担当教員	* 知的財産権 [L1] 久保 浩三	ゼミナールⅠ / II [L1,L2,L3] 所属研究室担当教員	* 英語コミュニケーション 法Ⅰ [L2] Mike Barker 組合せ数学 [L3] 丸尾健二	* 英語論文検索法 [L1] Mike Barker ビッグデータアナリティクス [L3] 中村 哲、金谷 重彦、岩 爪 道昭、神谷 祐樹、松 井 くにお
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	科学コミュニケーション ※ [バイオ大講義室] 担当教員	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅰ [A207] 飯田 元、伊原 彰紀 プロジェクト実習Ⅱ/Ⅳ ※ [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	技術と倫理 ※4 [L1] 上田 修史
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	科学コミュニケーション ※ [バイオ大講義室] 担当教員	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅰ [A207] 飯田 元、伊原 彰紀 プロジェクト実習Ⅱ/Ⅳ ※ [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員 及び学外講師	技術と倫理 ※4 [L1] 上田 修史
備考	<p>*: 英語科目</p> <p>※1 科学コミュニケーション日程: 10/7(火)4限のみ, 10/21(火), 10/28(火), 11/4(火), 11/11(火)4限のみ</p> <p>※2 テーマ毎に異なる</p> <p>※3 先端複合技術論日程: Ⅲ～Ⅳ期にわたり全8回(別途詳細)</p> <p>※4 技術と倫理日程: 10/3(金), 10/10(金), 10/24(金), 11/7(金) (全8回)</p> <p>☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知</p> <p>アカデミックボランティアⅠ/Ⅱ(戸田智基・佐藤智和)</p> <p>情報セキュリティ運用リテラシーⅠ(山口英、猪俣敦夫、高木浩光、松本隆、上原哲太郎)</p> <p>情報セキュリティ運用リテラシーⅡ(藤川和利、歌代和正、猪俣敦夫、岡村久道、山川智彦)</p> <p>情報セキュリティPBL演習A(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾)</p> <p>情報セキュリティPBL演習B(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾)</p> <p>情報セキュリティPBL演習C(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習D(門林雄基、奥田剛、樫山寛章、篠田陽一、三輪信介)</p> <p>情報セキュリティPBL演習E(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習F(猪俣敦夫、曾根秀昭、林優一、本間尚文、奥田剛、大平健司)</p> <p>情報セキュリティPBL演習G(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾)</p> <p>先端ロボット開発論Ⅰ(池田篤俊、山口明彦、吉川雅博)</p> <p>先端ロボット開発論Ⅱ(高松淳、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博)</p> <p>先端ロボット構成論(高松淳、神原誠之、松原崇充、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博)</p> <p>先端複合演習Ⅰ/Ⅱ(高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、Daniel Port)</p>				

第Ⅳ期(12月 2日(火)～ 2月10日(火))

(12月24日(水)～1月3日(土)は冬季休業。

2月10日(火)は月曜の授業を実施。2月12日(木)～ 2月20日(金)は補講等の予備期間です)

授業時間割一覧

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	研究室特論Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	* 先進情報科学特別講義Ⅱ/Ⅳ [L1,L2,L3] 檜原 茂、川波 弘道、川原 純、久保 孝富、Sakti Sakriani Watiasri、中島 悠太、畑 秀明、松原 崇充、大和 勇太、吉川 雅博	研究室特論Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	* 先進情報科学特別講義Ⅱ/Ⅳ [L1,L2,L3] 檜原 茂、川波 弘道、川原 純、久保 孝富、Sakti Sakriani Watiasri、中島 悠太、畑 秀明、松原 崇充、大和 勇太、吉川 雅博	* 仮想化システム基盤 [L1] 市川 昊平
2限 11:00 12:30	研究室特論Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	* ヒューマンコンピュータインタラクション [L1] Christian Sandor ----- ユビキタス情報処理 [L3] 荒川 豊	研究室特論Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	バーチャルリアリティ [L1] 神原 誠之、武富 貴史 ----- * 現代情報セキュリティ [L2] 山口 英、村井 純	先端複合技術論 ※2 [L3] 飯田 元、高松 淳、猪俣 敦夫、田中 康、高井 利憲、山口 明彦
3限 13:30 15:00	ゼミナールⅠ/Ⅱ [L1,L2,L3] 所属研究室担当教員	* 英語デジタルメディア活用法 [L2] Mike Barker	ゼミナールⅠ/Ⅱ [L1,L2,L3] 所属研究室担当教員	* 英語コミュニケーション法Ⅱ [L2] Mike Barker	* 異文化間コミュニケーション [L3] David Sell
4限 15:10 16:40	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅱ [A207] 市川 昊平、池田 篤俊 ----- プロジェクト実習Ⅱ/Ⅳ ※1 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員及び学外講師	研究論文/課題研究
5限 16:50 18:20	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究	研究論文/課題研究	ソフトウェア開発演習Ⅱ [A207] 市川 昊平、池田 篤俊 ----- プロジェクト実習Ⅱ/Ⅳ ※1 [テーマ毎に異なる] 各テーマ担当教員及び学外講師	研究論文/課題研究
備考	*: 英語科目 ※1 テーマ毎に異なる ※2 先端複合技術論日程: Ⅲ～Ⅳ期にわたり全8回(別途詳細) ☆ 以下の集中講義の日程については別途詳細を通知 アカデミックボランティアⅠ/Ⅱ(戸田智基・佐藤智和) 情報セキュリティ運用リテラシーⅠ(山口英、猪俣敦夫、高木浩光、松本隆、上原哲太郎) 情報セキュリティ運用リテラシーⅡ(藤川和利、歌代和正、猪俣敦夫、岡村久道、山川智彦) 情報セキュリティPBL演習A(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾) 情報セキュリティPBL演習B(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾) 情報セキュリティPBL演習C(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司) 情報セキュリティPBL演習D(門林雄基、奥田剛、樋山寛章、篠田陽一、三輪信介) 情報セキュリティPBL演習E(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司) 情報セキュリティPBL演習F(猪俣敦夫、曾根秀昭、林優一、本間尚文、奥田剛、大平健司) 情報セキュリティPBL演習G(藤川和利、猪俣敦夫、奥田剛、大平健司、岡村真吾) 先端ロボット開発論Ⅰ(池田篤俊、山口明彦、吉川雅博) 先端ロボット開発論Ⅱ(高松淳、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博) 先端ロボット構成論(高松淳、神原誠之、松原崇充、池田篤俊、山口明彦、吉川雅博) 先端複合演習Ⅰ/Ⅱ(高松淳、田中康、高井利憲、山口明彦、大平健司、Daniel Port)				

Quarter I (Monda, April 7 – Tue, June 3)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Information Theory [L1] Yuichi Kajii Systems Control I [L2] Kenji Sugimoto * Systems Biology I [L3] Shigehiko Kanaya, MD. ALTAF-UL-AMIN	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Principles of Signal Processing [L1] Minoru Okada, Takeshi Higashino * Hardware Design I [L2] Jun Yao, Shinya Takamaeda Introduction to Formal Language Theory [L3] Minoru Ito	Basic Data Analysis [L1] Shigehiko Kanaya * Information Network I [L2] Suguru Yamaguchi, Youki Kadobayashi System Requirement Engineering *7 [L3] Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Masashi Katahira, Yuko Miyamoto, Ryo Ujii
2限 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Software Engineering I [L1] Kenichi Matsumoto, Hideaki Hata * Artificial Intelligence: Searching and Mining [L2] Yuji Matsumoto, Masashi Shimbo, Kevin Duh	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Robotics I [L1] Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu * Computer Graphics [L2] Hirokazu Kato, Christian Sandor, Goshiro Yamamoto	Numerical Methods [L1] Hirokazu Kato, Goshiro Yamamoto * Information Network I [L2] Suguru Yamaguchi, Youki Kadobayashi System Requirement Engineering *7 [L3] Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Masashi Katahira, Yuko Miyamoto, Ryo Ujii
3限 13:30 15:00	Seminar I/II [L1,L2,L3] Supervisors	Calculus [L1] Kazushi Ikeda Algebraic Structures [L2] Akira Sakai * Skills for English Presentation I ※1 [L3] David Sell	Seminar I/II [L1,L2,L3] Supervisors	Fundamental Mathematics for Optimization [L1] Kenji Sugimoto * Japanese Culture [L3] Adarsh Bala Sharma	* Skills for English Presentation I ※1 [L3] David Sell * Skills for English Presentation II [L2] Mike Barker
4限 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Computer System I ※2※3 [L1,L2,L3] Yasuhiko Nakashima, Naoaki Ono Computer System II ※2※5 [L1,L2,L3] Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Naoaki Ono Introduction to Biological Science ※3 [BS Large Lecture Room] Hisaji Maki, etc.	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course I [A207] Akito Monden, Akinori Ihara Project Practice II, IV ※6 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Computer System I ※2※3 [L1,L2,L3] Yasuhiko Nakashima, Naoaki Ono Computer System II ※2※5 [L1,L2,L3] Keiichi Yasumoto, Yutaka Arakawa, Naoaki Ono Introduction to Biological Science ※3 [BS Large Lecture Room] Hisaji Maki, etc.
5限 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Algorithm I ※2※3 [L1,L2,L3] Michiko Inoue, Yuki Kato Algorithm II ※2※4 [L1,L2,L3] Yuji Matsumoto, Shimbo, Kevin Duh, Hiroyuki Shindo, Yuki Kato Foundation of Materials Science ※4 [MS Large Lecture Room] Hiroyuki Katsuki, etc.	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course I [A207] Akito Monden, Akinori Ihara Project Practice II, IV ※6 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Algorithm I ※2※3 [L1,L2,L3] Michiko Inoue, Yuki Kato Algorithm II ※2※4 [L1,L2,L3] Yuji Matsumoto, Shimbo, Kevin Duh, Hiroyuki Shindo, Yuki Kato Foundation of Materials Science ※4 [MS Large Lecture Room] Hiroyuki Katsuki, etc.
備考	<p>* : English subject</p> <p>※1 Introduction to Presentation Skills in English on Tuesday is recommended for students whose TOEIC score is 400 points or higher. Classes on Friday are recommended for students whose TOEIC score is less than 400 points.</p> <p>※2 Computer System I/II, Algorithm I / II are available for students admitted in autumn via the video archive in Quarter III. (Students are required to contact faculty members in charge of lectures in Quarter I by the end of the first week of Quarter III.)</p> <p>※3 Computer System I, Algorithm I, Introduction to Biological Science : 4/11(Fri.), 4/15(Tue.), 4/18(Fri.), 4/22(Tue.), 4/25(Fri.), 5/2(Fri.), 5/9(Fri.), 5/13(Tue.) (8 lectures)</p> <p>※4 Algorithm II, Foundation of Materials Science : 5/16(Fri.), 5/23(Fri.), 5/27(Tue.), 5/30(Fri.), 6/3(Tue.), 6/6(Fri.), 6/10(Tue.), 6/13(Fri.) (8 lectures)</p> <p>※5 Computer System II : 5/27(Tue.), 5/30(Fri.), 6/3(Tue.), 6/6(Fri.), 6/10(Tue.), 6/13(Fri.), 6/17(Tue.)5th period, 6/20(Fri.)5th period (8 lectures)</p> <p>※6 Project Practice II,IV : Different for respective themes</p> <p>※7 System Requirement Engineering : 1st & 2nd period of 4/11(Fri.), 5/16(Fri.), and 6/6(Fri.), 1st period of 6/20(Fri.), 7/4(Fri.) (8 lectures)</p> <p>☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately.</p> <p>Academic Volunteer I / II (Tomoki Toda, Tomokazu Sato)</p> <p>Lecture of Information Security Management Literacy I (Suguru Yamaguchi, Atsuo Inomata, Hiromitsu Takagi, Takashi Matsumoto, Testutaro Uehara)</p> <p>Lecture of Information Security Management Literacy II (Kazutoshi Fujikawa, Kazumasa Utashiro, Atsuo Inomata, Hisamichi Okamura, Tomohiko Yamakawa)</p> <p>Exercise for Information Security PBL A (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura)</p> <p>Exercise for Information Security PBL B (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura)</p> <p>Exercise for Information Security PBL C (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira)</p> <p>Exercise for Information Security PBL D (Youki Kadobayashi, Takeshi Okuda, Akihiro Hazeyama, Yoichiro Shinoda, Shinsuke Miwa)</p> <p>Exercise for Information Security PBL E (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira)</p> <p>Exercise for Information Security PBL F (Atsuo Inomata, Hideaki Sone, Yuichi Hayashi, Hisahumi Honma, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira)</p> <p>Exercise for Information Security PBL G (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura)</p> <p>Advanced Robot Development Theory I (Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa)</p> <p>Advanced Robot Development Theory II (Jun Takamatsu, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa)</p> <p>Advanced Robot Design (Jun Takamatsu, Masayuki Kanbara, Takamitsu Matsubara, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa)</p> <p>Studio of Advanced IT I / II (Jun Takamatsu, Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Akihiko Yamaguchi, Kenji Ohira, Daniel Port)</p>				

Quarter II (Wednesday, June 4 – Friday, August15)

(Classes are closed on Tuesday, June 25 due to medical checkup.)

授業時間割一覧

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III/IV	High Performance Computer Architecture [L1] Yasuhiko Nakashima * Sequential Data Modeling [L2] Tomoki Toda, Sakti Sakriani Watiasri, Graham Neubig	Advanced Topics in Information Science I / II / III/IV	Theory of Computation I [L1] Minoru Ito * Mobile Computing [L2] Noki Shibata Discrete Event Systems [L3] Shoji Kasahara, Masahiro Sasabe	* Hardware Design II [L2] Michiko Inoue, Tomokazu Yoneda, Yuta Yamato System Requirement Engineering [L3] Tanaka Yasushi, Takai Toshinori, Masashi Katahira, Yuko Miyamoto, Ryo Ujiei
2限 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III/IV	Pattern Recognition [L1] Norimichi Ukita * Distributed Systems and Middleware [L2] Keijichi Yasumoto Introduction to Advanced Robot Technology [L3] Jun Takamatsu, Akihiko Yamaguchi, Satoshi Shigemi, Takashi Matsumoto, Yusuke Yasukawa, Ding Ming, Ken-ichi Ohara, Shintaro Nakaoka,	Advanced Topics in Information Science I / II / III/IV	Wireless Communication Systems [L1] Minoru Okada, Takeshi Higashino * Theory of Computation II [L2] Michiko Inoue Mathematical Modeling [L3] Kazushi Ikeda, Takatomi Kubo	Digital Image Processing [L1] Naokazu Yokoya, Norihiko Kawai * Theory of Computation III [L2] Hirovuki Seki Software Design ※7 [L3] Hajimu Iida, Norihiro Yoshida
3限 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	Introduction to Stochastic Processes [L2] Shoji Kasahara * Project Management for [L1] Mike Barker	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	Applied Analysis [L1] Tsukasa Ogasawara, Jun * Japanese Culture [L3] Adarsh Bala Sharma	Software Design ※7 [L3] Hajimu Iida, Norihiro Yoshida * Advanced Scientific Writing [L2] Mike Barker
4限 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Commentaries on Science and Technology ※1 [Millennium Hall] Faculty members in charge Philosophy of Science※3 [L1] Hisashi Nakao	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course II [A207] Kenichi Matsumoto, Hideaki Hata Project Practice II, IV ※2 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Commentaries on Science and Technology ※1 [Millennium Hall] Faculty members in charge Philosophy of Science※3 [L1] Hisashi Nakao
5限 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Philosophy of Science※3 [L1] Hisashi Nakao	Research Work / Theme Research	Introductory Programming Course II [A207] Kenichi Matsumoto, Hideaki Hata Project Practice II, IV ※2 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Philosophy of Science※3 [L1] Hisashi Nakao
6限 18:30 20:00					Technology Entrepreneurship and Commercialization ※4 [RTC Kenshu Hall]※5 Shoichi Mitsui
備考	*:English subject ※1 Commentaries on Science and Technology : 6/17(Tue.), 6/20(Fri.), 6/27(Fri.), 7/1(Tue.), 7/4(Fri.), 7/8(Tue.), 7/15(Tue.), 7/18(Fri.) (8 lectures) ※2 Project Practice II,IV : Different for respective themes ※3 Philosophy of Science: 7/22(Tue.), 7/25(Fri.), 7/29(Tue.), 8/1(Fri.) (4th & 5th period, 8 lectures) ※4 Technology Entrepreneurship and Commercialization: 6/2(月), 6/6(Fri.), 6/13(Fri.), 6/20(Fri.), 6/27(Fri.), 7/4(Fri.), 7/18(Fri.), 7/25(Fri.) (8 lectures) ※5 Technology Entrepreneurship and Commercialization:L1 (only for the last lecture on 7/25) ※6 System Requirement Engineering: 1st & 2nd period on 4/11(Fri.), 5/16(Fri.), 6/6(Fri.), 1st period on 6/20(Fri.), 7/4(Fri.) (8 lectures) ※7 Software Design: 6/20(Fri.), 7/4(Fri.), 7/18(Fri.), 8/1(Fri.), (2nd & 3rd period, 8 lectures) ☆ Management of Techonology (Shoichi Mitsui): 8/5(Tue.), 8/6(Wed.) 11:00~18:20, L1 ☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Academic Volunteer I / II (Tomoki Toda, Tomokazu Sato) Lecture of Information Security Management Literacy I (Suguru Yamaguchi, Atsuo Inomata, Hiromitsu Takagi, Takashi Matsumoto, Testutaro Uehara) Lecture of Information Security Management Literacy II (Kazutoshi Fujikawa, Kazumasa Utashiro, Atsuo Inomata, Hisamichi Okamura, Tomohiko Yamakawa) Exercise for Information Security PBL A (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL B (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL C (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL D (Youki Kadobayashi, Takeshi Okuda, Akihiro Hazeyama, Yoichiro Shinoda, Shinsuke Miwa) Exercise for Information Security PBL E (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL F (Atsuo Inomata, Hideaki Sone, Yuichi Hayashi, Hisahumi Honma, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL G (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Advanced Robot Development Theory I (Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Development Theory II (Jun Takamatsu, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Design (Jun Takamatsu, Masayuki Kanbara, Takamitsu Matsubara, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Studio of Advanced IT I / II (Jun Takamatsu, Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Akihiko Yamaguchi, Kenji Ohira, Daniel Port)				

QuarterⅢ (Friday ,October 3–Monday ,December 1)

(Classes for Monday will be offered on Friday, November 28)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:05	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Information Network II [L1] Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Masatoshi Kakiuchi * Signal Detection Theory [L2] Minoru Okada, Takeshi Higashino Computer Vision II [L3] Yasuhiro Mukaigawa	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Natural Language Processing [L1] Yuji Matsumoto, Hideki Kashioka, Hiroyuki Shindo * Coding Theory [L2] Yuichi Kaji * Medical Imaging Analysis [L3] Yoshinobu Sato	Information Network II [L1] Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Masatoshi Kakiuchi * Systems Control II [L2] Kentaro Hirata Network Simulation [L3] Minoru Okada, Takeshi Higashino
2限 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Software Engineering II [L1] Akito Monden, Akinori Ihara * Ambient Intelligence [L2] Norihiro Hagita, Masayuki Kanbara Systems Biology II [L3] Shigehiko Kanaya, MD. ALTAF-UL-AMIN	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Robotics II [L1] Tsukasa Ogasawara, Jun Takamatsu, Yoshio Matsumoto, Satoshi Kagami, Syuntaro Yamazaki * Information Security & Our Society [L2] Suguru Yamaguchi, Jun Murai Speech Processing [L3] Satoshi Nakamura, Tomoki Toda, Hiroshi Saruwatari, Hiromichi Kawanam	Bio-Imaging [L1] Tadao Sugiura, Hidehiro Iida, Tsutomu Zeniya * Computer Vision I [L2] Tomokazu Sato, Yuta Nakashima Theory of Advanced IT ※3 [L3] Hajimu Iida, Jun Takamatsu, Atsuo Inomata, Tanaka Yasushi, Takai Toshinori, Akihiko Yamaguchi
3限 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	* Intellectual Property Rights [L1] Kozo Kubo	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	* Methods of English Communication I [L2] Mike Barker Combinatorics [L3] Kenji Maruo	* Literature Search [L1] Mike Barker Big Data Analytics [L3] Satoshi Nakamura, Shigehiko Kanaya, Michiaki Iwazume, Yuki Kamiya, Kunio Matui
4限 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Science Communication ※1 [BS Large Lecture Room] Faculty members in charge	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development I [A207] Hajimu Iida, Akinori Ihara Project Practice II, IV ※2 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Technology and Professional Ethics※4 [L1] Shushi Ueda
5限 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Science Communication ※1 [BS Large Lecture Room] Faculty members in charge	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development I [A207] Hajimu Iida, Akinori Ihara Project Practice II, IV ※2 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Technology and Professional Ethics※4 [L1] Shushi Ueda
備考	*:English subject ※1 Science Communication: Only 4th period on 10/7(Tue.), 10/21(Tue.), 10/28(Tue.), 11/4(Tue.), Only 4th period on 11/11(Tue.) ※2 Project Practice II,IV: Different for respective themes ※3 Theory of Advanced IT: 8 lectures spanning in semester III&IV (Schedule detail will be announced separately) ※4 Technology and Professional Ethics: 10/3(Fri.), 10/10(Fri.), 10/24(Fri.), 11/7(Fri.) (8 lectures) ☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Academic Volunteer I / II (Tomoki Toda, Tomokazu Sato) Lecture of Information Security Management Literacy I (Suguru Yamaguchi, Atsuo Inomata, Hiromitsu Takagi, Takashi Matsumoto, Testutaro) Lecture of Information Security Management Literacy II (Kazutoshi Fujikawa, Kazumasa Utashiro, Atsuo Inomata, Hisamichi Okamura, Tomohiko) Exercise for Information Security PBL A (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL B (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL C (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL D (Youki Kadobayashi, Takeshi Okuda, Akihiro Hazeyama, Yoichiro Shinoda, Shinsuke Miwa) Exercise for Information Security PBL E (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL F (Atsuo Inomata, Hideaki Sone, Yuichi Hayashi, Hisahumi Honma, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL G (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Advanced Robot Development Theory I (Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Development Theory II (Jun Takamatsu, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Design (Jun Takamatsu, Masayuki Kanbara, Takamitsu Matsubara, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Studio of Advanced IT I / II (Jun Takamatsu, Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Akihiko Yamaguchi, Kenji Ohira, Daniel Port)				

QuarterIV (Tuesday ,December 2–Tuesday ,February 10)
(December 24~January 3: Winter Shutdown. February12~20 is for supplementary class.)

	月	火	水	木	金
1限 9:20 10:50	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Advanced Cutting-edge Research Seminar II & IV [L1,L2,L3] Shigeru Kashihara, Hiromichi Kawanam, Jun Kawahara, Takatomi Kubo, Sakti Sakriani Watasri, Yuta Nakashima, Hideaki Hata, Takamitsu Matsubara, Yuta Yamato, Masahiro Yoshikawa	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Advanced Cutting-edge Research Seminar II & IV [L1,L2,L3] Shigeru Kashihara, Hiromichi Kawanam, Jun Kawahara, Takatomi Kubo, Sakti Sakriani Watasri, Yuta Nakashima, Hideaki Hata, Takamitsu Matsubara, Yuta Yamato, Masahiro Yoshikawa	* Virtual Systems Infrastructure [L1] Kouhei Ichikawa
2限 11:00 12:30	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	* Human Computer Interaction [L1] Christian Sandor Ubiquitous Information Processing [L3] Yutaka Arakawa	Advanced Topics in Information Science I / II / III / IV	Virtual Reality [L1] Masayuki Kanbara, Takafumi Taketomi * Information Security & Our Society [L2] Suguru Yamaguchi, Jun Murai	Theory of Advanced IT ※2 [L3] Hajimu Iida, Jun Takamatsu, Atsuo Inomata, Tanaka Yasushi, Takai Toshinori, Akihiko Yamaguchi
3限 13:30 15:00	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	* Digital Media [L2] Mike Barker	Seminar I / II [L1,L2,L3] Supervisors	* Methods of English Communication II [L2] Mike Barker	* Intercultural Communication (Advanced Specific Field Seminar I) [L3] David Sell
4限 15:10 16:40	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development II [A207] Kouhei Ichikawa, Atsutoshi Ikeda Project Practice II, IV ※1 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Research Work / Theme Research
5限 16:50 18:20	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research	Research Work / Theme Research	Exercise in Practical Software Development II [A207] Kouhei Ichikawa, Atsutoshi Ikeda Project Practice II, IV ※1 [Depends on the theme] Faculty members in charge of respective themes and instructors outside the university	Research Work / Theme Research
備考	*:English subject ※1 Project Practice II,IV :Different for respective themes ※2 Theory of Advanced IT: 8 lectures spanning in semsester III&IV (Schedule detail will be announced separately) ☆ Detail of the schedule of the following intensive lectures will be announced separately. Academic Volunteer I / II (Tomoki Toda, Tomokazu Sato) Lecture of Information Security Management Literacy I (Suguru Yamaguchi, Atsuo Inomata, Hiromitsu Takagi, Takashi Matsumoto, Testutaro Uehara) Lecture of Information Security Management Literacy II (Kazutoshi Fujikawa, Kazumasa Utashiro, Atsuo Inomata, Hisamichi Okamura, Tomohiko Yamakawa) Exercise for Information Security PBL A (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL B (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Exercise for Information Security PBL C (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL D (Youki Kadobayashi, Takeshi Okuda, Akihiro Hazeyama, Yoichiro Shinoda, Shinsuke Miwa) Exercise for Information Security PBL E (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL F (Atsuo Inomata, Hideaki Sone, Yuichi Hayashi, Hisahumi Honma, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira) Exercise for Information Security PBL G (Kazutoshi Fujikawa, Atsuo Inomata, Tsuyoshi Okuda, Kenji Ohira, Shingo Okamura) Advanced Robot Development Theory I (Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Development Theory II (Jun Takamatsu, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Advanced Robot Design (Jun Takamatsu, Masayuki Kanbara, Takamitsu Matsubara, Atsutoshi Ikeda, Akihiko Yamaguchi, Masahiro Yoshikawa) Studio of Advanced IT I / II (Jun Takamatsu, Yasushi Tanaka, Toshinori Takai, Akihiko Yamaguchi, Kenji Ohira, Daniel Port)				

7 シラバス等

電子シラバスについて

情報科学研究科では研究科ホームページでシラバスを公開しています。

シラバスについては以下のアドレス、もしくは「大学ホームページ→情報科学研究科ホームページ→教育→電子シラバス」からページを開くことができます。

電子シラバス : <http://is-education.naist.jp/>

How to access the electronic syllabus

The syllabus of the Graduate School of Information Science is posted on its website.
To view the syllabus, either visit (i) the URL below, or (ii) NAIST homepage -> Website of Graduate School of Information Science -> Education -> Syllabus.

Electronic syllabus: <http://is-education.naist.jp/>

英語教育について

情報科学研究科での取組み

情報科学分野で国際的な活動をするためには、英語能力が不可欠です。英語能力を向上させるため、授業科目、年2回の TOEIC 英語試験の受験機会、ネットワークを介した「英語学習システム (ALC NetAcademy 2)」、オフラインの英語教材 (CD-ROM、雑誌) など、自主的に選択して学習できる準備を整えています。

科学英語を学ぶための授業科目には、聞くことと話すことのコミュニケーション能力を養う「英語プレゼンテーション法入門」および「英語コミュニケーション法 I, II」、英語による論文執筆や研究発表法を学ぶ「英語ライティング法」および「英語プレゼンテーション法」があります。さらに、「英語プロジェクトマネジメント法」、「英語論文検索法」、「英語デジタルメディア活用法」のより進んだ内容の科目もあります。いずれの科目も、専門科目と同じように、各自の選択に任せています。

年2回の TOEIC-IP 試験も、各自が自主的に受験するようにしています。企業での技術者を目指すか、研究者を目指すかに関わらず、情報科学分野における英語能力の重要性を認識して積極的に履修することと受験することを勧めています。

また、多くの専門科目、一般科目が英語で開講されていますので、積極的に受講することを勧めています。さらに、外国人研究者の講演や、研究室での英語による討論の機会を作るようにして、専門分野での質疑応答のマナーを身に付けるようにしています。

成績評価について

1. 成績評価を終了したときには、その旨をホームページや掲示板等により、各講義の終了後3週間以内に受講者にお知らせします。

成績は、附属図書館1階に設置している証明書自動発行機により確認することができます。

2. 通知された成績評価に疑義がある場合は、上記1の成績評価終了の通知をした日から1ヶ月以内に講義担当教員に申し出てください。

なお、申し出は各シラバスに記載しているオフィスアワーの欄を参照してください。

English education

English learning programs at the Graduate School of Information Science

English proficiency is essential for participation in international activities in the field of information science. The Graduate School of Information Science supports students' advancement in English ability through programs they can access on their own and subjects in the curriculum. The available programs include TOEIC tests (twice a year), ALC NetAcademy 2 (an online system for learning English), and materials in the form of English CD-ROMs and journals.

Skills for English Presentation I and Methods of English Communication I, II are designed to improve oral communication skills. English Writing Skills and Skills for English Presentation II are designed to obtain writing skills for research papers and the various skills required for professional presentations in English. In Project Management for Research, Literature Search and Digital Media, students can learn advanced skills in scientific English.

English proficiency is crucial in the field of information science, and, students are strongly encouraged to take full advantage of the programs offered.

Many subjects in the curriculum are provided in English. Students are encouraged to take these subjects. Opportunities are also available to attend lectures given by researchers from abroad and discussions in English at the various laboratories for training in asking questions and responding appropriately on specialized topics.

Evaluation of academic performance

1. After their academic performance has been evaluated, students will be informed of their grades within three weeks after the completion of lectures via the website and the bulletin board, etc.

Grades can be checked at the automatic certificate issuing machine on the first floor of the NAIST Library.

2. In the event of any doubt about grades, students are required to inform the faculty members in charge of the lectures within one month from the date of receiving the grades.

To inform the faculty members in charge, please check the office hours in the syllabus.

8 他研究科授業科目及び担当教員一覧

平成26年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
科共通	科学技術論・科学技術者論	1	担当教員	1年次春学期	15	全学共通科目
	計算機システムⅠ	1	中島	春学期	15	全学共通科目
	計算機システムⅡ	1	安本、他	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅠ	1	井上	春学期	15	全学共通科目
	アルゴリズムⅡ	1	松本(裕)	春学期	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月、他	春学期	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所、他	春学期	15	全学共通科目
	科学哲学	1	中尾	春学期	15	全学共通科目
	技術と倫理	1	上田	春学期	15	全学共通科目
一般科目	技術ベンチャー論	1	光井	春学期	15	
	技術経営	1	光井	春学期	15	
	科学英語	1	McAleese	1年次春学期	15	
	科学英語演習	3	川市	1年次	45	
	グローバルコミュニケーションの基礎	1	McAleese	1年次秋学期	15	
	英語による科学的発見の思考法	1	真木(智)	2年次春学期	15	
	科学英語プレゼンテーションの技法	1	McAleese、真木(智)	2年次秋学期	15	
	科学英語ライティングの技法	1	McAleese	春学期	15	
	発音とリズムのコミュニケーション技術	1	McAleese	春学期	15	
	社会生命科学	1	別所	1年次	15	
ゲノム先端科学	1	別所	1年次	24		
基礎科目	現代生物学概論	1	塩坂、他	1年次春学期	20	
	先端科学のための実践生物学Ⅰ	1	秋山、他	1年次春学期	15	
	先端科学のための実践生物学Ⅱ	1	木俣、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・微生物バイオテクノロジー	1	高木、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・環境植物科学	1	梅田、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・バイオメディカルサイエンス	1	加藤、他	1年次春学期	15	
	応用生命科学・情報生物学	1	別所、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅰ	1	出村、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール基礎Ⅱ	1	駒井、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅰ	1	河野、他	1年次春学期	15	
	バイオゼミナール実践Ⅱ	1	塩坂、他	1年次	15	
	プロジェクト演習	1	別所、他	1年次秋学期	15	
	フロンティアプロジェクト演習	1	伊東、他	1年次秋学期	15	
専門科目	発生生物学特別講義	1	別所、他	春学期	15	
	バイオインダストリー特論	1	高木、他	1年次春学期	15	
	バイオインダストリー特論演習	1	高木、他	1年次春学期	15	
	ゲノム機能解析特論	1	田坂、他	2年次春学期	15	
	蛋白質機能解析特論	1	田坂、他	2年次秋学期	15	
	動物科学特論	1	加藤、他	1、2年次	15	
	植物科学特論	1	高山、他	1、2年次	15	
	統合システム生物学特論	1	箱嶋、他	1、2年次	15	
	知的財産特論	1	井上	秋学期	15	
	フロンティアバイオチュートリアル	1	伊東、他	2年次	15	
	国際バイオ特論	2	真木(智)、他	1、2年次	30	
	情報生物学特論	1	別所	秋学期	15	
	生命機能計測学	1	杉浦	秋学期	15	情報科学研究科開講科目
	システムズバイオロジⅡ	1	金谷	秋学期	15	情報科学研究科開講科目

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
	ゼミナールⅠ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	ゼミナールⅡ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	ゼミナールⅢ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	ゼミナールⅣ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	研究実験Ⅰ	3	配属研究室教員	1年次春学期	90	
	研究実験Ⅱ	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90	
	研究実験Ⅲ	3	配属研究室教員	2年次春学期	90	
	研究実験Ⅳ	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90	
	研究論文	2	配属研究室教員	1、2年次		
	課題研究Ⅰ	2	配属研究室教員	1年次春学期	60	
	課題研究Ⅱ	2	配属研究室教員	1年次秋学期	60	
	課題研究Ⅲ	2	配属研究室教員	2年次春学期	60	
	課題研究Ⅳ	2	配属研究室教員	2年次秋学期	60	
	課題論文	2	配属研究室教員	1、2年次		

平成26年度バイオサイエンス研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程国際コース

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
一般科目	Logic in Scientific Discovery	1	真木(智)、他	春学期	15	
	Art of Scientific Presentation	1	McAleese、真木(智)	秋学期	15	
	Responsible Conduct of Research	1	塩崎、他	1年次	15	
	Art of Scientific Writing	1	McAleese	春学期	15	
	Communication Quality through Phonology	1	McAleese	春学期	15	
基礎科目	Molecular Cell Biology	1	別所、他	1年次	15	
	Advanced Topics in Bioscience	1	塩崎、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation I	1	塩崎、他	1年次	15	
	Laboratory Rotation II	1	塩崎、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research I	1	塩崎、他	1年次	15	
	Literature in Bioscience Research II	1	塩崎、他	1年次	15	
	Research Presentation Forum	1	別所、他	1年次	15	
専門科目	International Forefront in Bioscience	2	真木、他	1, 2年次	30	
	Bioscience Colloquium	1	伊東、他	1, 2年次	15	
	UCD Online Seminar	1	中島、他	1, 2年次	15	
	Systems Biology I	1	金谷	春学期	15	情報科学研究科開講科目
	Bioresource Research Proposal	1	出村、他	2年次	15	
Seminar I	2	配属研究室教員	1年次春学期	30		
Seminar II	2	配属研究室教員	1年次秋学期	30		
Seminar III	2	配属研究室教員	2年次春学期	30		
Seminar IV	2	配属研究室教員	2年次秋学期	30		
Research Experiment I	3	配属研究室教員	1年次春学期	90		
Research Experiment II	3	配属研究室教員	1年次秋学期	90		
Research Experiment III	3	配属研究室教員	2年次春学期	90		
Research Experiment IV	3	配属研究室教員	2年次秋学期	90		
Thesis	2	配属研究室教員				

平成26年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士前期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
共通科目	アルゴリズムI	1	井上	4~5月	15	全学共通科目
	アルゴリズムII	1	松本(裕)、他	5~6月	15	全学共通科目
	計算機システムI	1	中島	4~5月	15	全学共通科目
	計算機システムII	1	安本、他	5~6月	15	全学共通科目
	バイオサイエンス概論	1	真木、他	5~6月	15	全学共通科目
	物質創成科学概論	1	香月・荒谷	5~6月	15	全学共通科目
	科学技術論・科学技術者論	1	太田	6~7月	15	全学共通科目
	科学哲学	1	(中尾)	7~8月	15	全学共通科目
	技術と倫理	1	(上田)	10~11月	15	全学共通科目
	科学コミュニケーション	1	別所	10~11月	15	全学共通科目
一般科目	物質科学解析	1	石墨・富田・武田・笹川 堀田・山崎・上沼・長尾	4月	15	
	物質科学英語 I	1	McDowell	4~7月 9~11月	15	
	物質科学英語 IIA	1	McDowell	10~11月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語 IIB」は単位認定しない。
	物質科学英語 IIIA	1	McDowell	12月	15	単位修得した場合、博士後期課程で「物質科学英語 IIIB」は単位認定しない。
	物質科学と倫理	1	(飯沼)	6~7月・9月	15	
	科学技術政策と知的財産	1	井上・(大竹・松尾)	6~7月	15	
	サイエンスリテラシー	1	菊池・河合・山田	秋学期	15	
	技術ベンチャー論	1	(光井)	6~7月	15	
	技術経営	1	(光井)	8月	15	
基礎科目	光ナノサイエンス概論 I	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンス概論 II	1	各研究室教員	4月	15	
	光ナノサイエンスコア I	1	服部・中村 重城・小林・片山・(池田和)	4月	15	
	光ナノサイエンスコア II	1	服部・細糸・中村 野田・谷本	4~5月	15	
	光ナノサイエンスコア III	1	柳・河合・上久保 西山・寺田・湯浅・野々口	4月	15	
	光ナノサイエンスコア IV	1	柳・(池田篤) 田原・山中・葛原	4月	15	
	光と電子特講 I	1	(EC)稲垣・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	光と電子特講 II	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5~6月	15	
	光と分子特講 I	1	(EC)谷原・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	光と分子特講 II	1	(EC)廣田・(池田篤)・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	
	先端融合物質科学 I	1	(EC)稲垣・松井 (AC)大門・服部・細糸	5月	15	
	先端融合物質科学 II	1	(EC)谷原・森本・安藤 (AC)藤木・廣田・中嶋	5月	15	
	先端融合物質科学 III	1	(EC)徳田・松井 (AC)大門・香月・細糸	5~6月	15	
	先端融合物質科学 IV	1	(EC)廣田・(池田篤)・松尾 (AC)垣内・菊池・中嶋	5~6月	15	

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
基礎科目	現代量子力学特論	1	稲垣	6~7月	15	
	先端半導体工学	1	浦岡・石河	6~7月	15	
	先端光電子工学	1	太田	6~7月	15	
	先端電子材料工学	1	浦岡・石河	6~7月	15	
	現代有機化学特論	1	山田・森本	6~7月	15	
	先端高分子化学特論	1	藤木・安藤	6~7月	15	
	現代無機化学特論	1	松尾・(矢野重)	6~7月	15	
	先端生化学	1	谷原・上久保	6~7月	15	
専門科目	光・磁気物性特論	1	柳・香月・細糸	9~10月	15	
	電子原子物性特論	1	大門・服部・稲垣・松井	9~10月	15	
	フォトニクス特論	1	太田・冬木・徳田	9~10月	15	
	情報素子工学特論	1	浦岡・石河・中村	9~10月	15	
	分子フォトサイエンス特論	1	河合・山田・中嶋・荒谷	9~10月	15	
	先端反応構造化学特論	1	藤木・垣内・森本・谷本・西山	9~10月	15	
	生体機能物質特論	1	菊池・安藤・安原・田原・寺田	9~10月	15	
	生物物質科学特論	1	廣田・上久保・松尾・細川	9~10月	15	
	先端物質科学技術特論	1	連携研究室教員	9~10月	15	
	物質科学特論 I	1	(木口)	秋学期	15	
	物質科学特論 II	1	(宮崎)	秋学期	15	
	物質科学特論 III	1	(水野・中野)	秋学期	15	
物質科学特論 IV	1	(増田・徳富)	秋学期	15		
物質科学実験・実習	2	各研究室教員	4~5月	60		
ゼミナール A	1	配属研究室教員		15		
ゼミナール B	2	配属研究室教員		30		
融合ゼミナール A	1	各研究室教員		15		
融合ゼミナール B	2	各研究室教員		30		
研究論文	6	配属研究室教員				
特別課題研究	5	配属研究室教員				
課題研究	4	配属研究室教員				

担当教員の()は、非常勤講師を示す。

(注)：日程の詳細は、後日発表する。

平成26年度物質創成科学研究科授業科目及び担当教員一覧

博士後期課程

区分	授業科目名	単位数	担当教員	授業時期	総授業時間数	備考
国際化科目	物質科学英語 IIB	1	McDowell	9月 - 10月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語 IIIB	1	McDowell	11月	15	博士前期課程で「物質科学英語 IIIA」を単位修得した者は単位認定しない。
	物質科学英語研修	2	国際交流委員長	1月	30	
	サイエンスリテラシー上級 I	1	配属研究室教員	通年	15	
	サイエンスリテラシー上級 II	1	配属研究室教員	通年	15	
	国際インターンシップ	2	国際交流委員長	通年	30	
	融合インターンシップ	1	配属研究室教員	通年	15	
	光ナノサイエンス特講	1	教務委員長	通年	15	
融合専門科目	物質科学融合特講	1	大門・冬木・香月・徳田・中嶋・荒谷・(杉山)	10月 - 12月	15	
提案型演習科目	リサーチマネジメント演習 A	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 B	1	教務委員長	通年	15	
	リサーチマネジメント演習 C	1	配属研究室教員	通年	15	
	先端物質科学演習	2	配属研究室教員	通年	30	
融合ゼミナール	特別融合科学ゼミナール A	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール B	1	教務委員長	秋学期	15	
	特別融合科学ゼミナール C	1	教務委員長	秋学期	15	
総合探求	特別物質科学講究	6	配属研究室教員	通年		

担当教員の（ ）は、非常勤講師を示す。
 (注)：日程の詳細は、後日発表する。

9 各種相談受付体制

9 各種相談受付体制



授業内容に関する相談

本学では、授業に対する理解をより深めることを目的として、オフィスアワーの時間帯を設定しています。

オフィスアワーでは、学生が授業担当教員の研究室を訪問し、授業についての質問又は相談をすることができます。

各授業担当教員のオフィスアワーの時間帯及び連絡方法については、各授業科目のシラバスの頁を参照してください。

各教員の部屋番号および電話番号については以下のアドレス、もしくは「情報科学研究科ウェブサイトトップページ→学内専用ページ→情報科学研究科事務室HP→情報科学研究科事務室→研究室別電話番号表」を参照してください。

研究室別電話番号表：<http://isw3.naist.jp/IS/Local/IsOffice/announce/tel-list.pdf>

研究指導に関する相談

教育・研究上の悩み等については、指導教員（本学では、複数教員指導制を採用しています。）が相談に応じます。

就職に関する相談

専攻長が、就職の相談に応じます。相談に当たっては、各講座の指導教員とも連携しつつ、柔軟に対応します。（10 学習支援「キャリア支援室」の頁も参照してください。）

健康に関する相談

体のことや心の悩み等については、保健管理センターで相談に応じます。保健管理センターには専門のカウンセラーが月に数回来ていますので、日程調整のうえ相談に応じています。(詳しくは、10学修支援「保健管理センター」の頁を参照してください。)

学生なんでも相談窓口

みなさんが、大学院生活を送るうえで、さまざまな問題や悩みに直面することがあると思います。

本学では、そういった学生を支援するため、各研究科、保健管理センター、学生課に相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。

相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によってはさらに適切な相談窓口を紹介しています。

悩み事が生じた場合は、一人で抱え込まず「学生なんでも相談」窓口を訪ねてください。

相談内容の秘密は厳守します。

相談員	内線番号	メールアドレス
池田和司 (情報科学研究科)	5980	kazushi@is.naist.jp
出村拓 (バイオサイエンス研究科)	5460	demura@bs.naist.jp
谷原正夫 (物質創成科学研究科)	6120	mtanihar@ms.naist.jp
寶學英隆 (保健管理センター)	5105	hougaku@hcc.naist.jp
西山絹代 (保健管理センター)	5108	nisiyama@hcc.naist.jp
上西正人 (学生課)	5082	uenisi@ad.naist.jp
中野正 (学生課)	5909	ryugaku@ad.naist.jp

各相談員へ電話・メール等で相談してください。

Student Consultation

Graduate students are faced with a variety of different problems and worries in the course of their everyday lives.

In order to give support to students facing problems, each graduate school, the Health Care Center, and the Student Affairs Division, has a Miscellaneous Consultation for Students office with consultation staff on hand.

As well as providing advice for the solution of problems, consultation staff can also point consults to an appropriate consultation office.

So don't keep your troubles to yourself. If you have any worries, please talk them over with Miscellaneous Consultation for Students staff. Strict confidentiality is maintained regarding the content of all consultations.

Member	Extension	E-mail
Kazushi Ikeda (Graduate School of information Science)	5980	kazushi@is.naist.jp
Taku Demura (Graduate School of Biological Science)	5460	demura@bs.naist.jp
Masao Tanihara (Graduate School of Materials Science)	6120	mtanihar@ms.naist.jp
Hidetaka Hougaku (Health Care Center)	5105	hougaku@hcc.naist.jp
Kinuyo Nishiyama (Health Care Center)	5108	nisiyama@hcc.naist.jp
Masato Uenishi (Student Affairs Division)	5082	uenisi@ad.naist.jp
Tadashi Nakano (Student Affairs Division)	5909	ryugaku@ad.naist.jp

Please consult by phone, email, etc. to each counselor.

ハラスメントに関する相談

ハラスメントとは、相手の意に反する言動や行為により、相手の人格を傷つけ、人権を侵害する行為をいいます。

ハラスメントには、主に以下の形態があります。

◎セクシュアル・ハラスメント

勉学、教育その他の場面において、優位な立場や権限を利用し、逆らえない立場にある者に対して性的な強要や働きかけで、相手や周囲に不快感や屈辱感を抱かせること。

◎アカデミック・ハラスメント

勉学、教育、研究に関連する場面において、教育等の権威的地位を有する者が、優位な立場や権限を利用して、精神的な面を含めて教育を受ける権利の侵害や学業の妨害、教育及び研究の妨害、教育研究に関わる職務の妨害等を生じさせる不適切な言動及び差別的待遇行為。

◎パワー・ハラスメント

上司又はこれに準ずる者が職務権限を利用して、職務とは関係のない事項又は職務上であっても適正な範囲を超えた事項について、有形無形に圧力を加える行為。

本学では、セクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口を設けております。

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情や相談がある場合は、各研究科・各センター・保健管理センター・事務局に相談員をおいていますので、遠慮なく電話やメール等で連絡してください。なお、相談員等の詳細は、本学ホームページのイントラネット／学生用ホームページの中にあるハラスメント関係を参照してください。

10 学 修 支 援

10 学修支援

保健管理センター (キャンパスマップ③)

学生の心身の健康を保持するため、**check** 機能として健康診断を、**cure** 機能としては日常診療を行い、**care** 機能として生活指導・健康教育を充実させ、これらを相乗させ健康増進 (health promotion) を目指すよう、大学会館の2階に保健管理センターがあります。

センターには、診察室・健康相談室・学生懇話室・休養室が配置され、内科医師・看護師各1名が常勤しています (他に、3名のカウンセラー、1名の看護師が非常勤)。

1. 利用時間：

診察

診察時間	月	火	水	木	金
10:30~13:30	○ (~12:00)	○	×	○ (~12:00)	○
15:00~16:30	×	○	○	×	○

相談・休養・談話室 月曜日～金曜日 9:00～17:00

2. **診療**：身体的に異常があれば、遠慮なくセンターを受診して下さい。簡単な診断機器での対応や必要時は薬を処方します。当センターで対処出来ない病気や病態については、専門医や病院を紹介します。
3. **からだと心の相談**：心の悩みがあれば、医師と看護師で相談に応じます。週に2回、専門のカウンセラー3名によるカウンセリングも行っています。秘密は厳守しますので、気軽に相談して下さい。
4. **健康診断**：一般定期健康診断 (6月) や RI、エックス線、遺伝子組換え、有機溶剤、特定化学物質の特殊定期健康診断を行っています。日程など必要な事項は、電子メール・案内状・掲示板で連絡します。
(なお、当該年度内に人間ドックを受けられる方は、コピーを必ず保健管理センターにご提出ください)
5. **健康診断書の発行**：就職や進学に必要な健康診断書を発行します。一般定期健康診断時の全項目を検査していることが条件となります。発行は、附属図書館玄関ロビーにある証明書自動発行機または保健管理センターで行います。
6. **セルフチェック**：センター受付前に、自動身長体重計・自動血圧計・自動視力計を常置しています。健康チェックに役立てて下さい。
7. **学生懇話室**：リラクゼーション、団欒・交流に活用下さい。
8. **休養室**：からだの不調などで休養をとりたい時は利用して下さい。
9. **無料と守秘義務**：センターの利用は全て無料です。設備・機器類は大切に扱って下さい。ただし、紹介された医療機関を受診される場合の医療費は、健康保険証扱いの自己負担となります。身体的・精神的相談も含め、全ての医療行為には守秘義務があり秘密は厳守します。
10. **HCC NEWS (保健管理センターだより)**：HCC NEWS (保健管理センターだより) を年1回発行、配布しています。種々の情報を掲載していますので参考にして下さい。

11. 連絡先

センター所長室：医師 寶學英隆 (内線5105)
 診察室受付：看護師 西山絹代 (内線5108)

健康保持・増進のため、保健管理センターを活用下さい。

10. Study Support

Health Care Center (③ on the campus map)

The Health Care Center (on 2F of the University Union Building) offers three functions below to maintain and promote student mental and physical health.

Check: Medical checkup

Cure: Day-to-day diagnosis and treatment

Care: Day-to-day lifestyle guidance and health education

The center has a consultation room, health counseling room, student chat room, and resting room, and is staffed by one physician and one nurse on a full-time basis (as well as three counselors and one nurse on a part-time basis).

1. Open hours

【Clinic】

Clinic Hours	Mon.	Tue	Wed.	Thu.	Fri.
10:30~13:30	○ (~12:00)	○	×	○ (~12:00)	○
15:00~16:30	×	○	○	×	○

Consultation, Resting, and Chat room: 9:00–17:00 from Mon. through Fri.

2. Diagnosis and treatment

If you are experiencing any physical problems, please do not hesitate to visit the center. Diagnostic equipment is in place to offer simple treatment, and the center prescribes medicine if necessary. If the care required is beyond the capacity of the center, you will be introduced to outside specialists or hospitals.

3. Mental health counseling

A doctor and nurses work together to offer mental counseling. The center is visited by professional counselors twice a week (three counselors each time) to offer counseling services. Please feel free to visit the center. Confidentiality obligations are strictly observed.

4. Medical checkups

General regular medical checkups are available in June, while special regular medical checkups are offered to those who handle RI, X-ray, gene recombination, organic solvents, and specified chemical substances. Patients are informed of all details (including the schedule) via e-mails, letters, and bulletin boards.

(Those who take a complete medical checkup are required to submit copy of the report to Health Care Center.)

5. Issuing health certificates

The center issues health certificates required for job applications and enrollment in advanced academic programs. Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general regular medical checkups. Health certificates are issued (i) via the automatic certificate issuing system at the entrance lobby of the NAIST Library or (ii) at the Health Care Center.

6. Self checks

Automatic height and weight scales, digital sphygmomanometers, and automatic optometers (located in front of the reception desk of the center) are available anytime for self checks.

7. Student chat room

The room is available for relaxation and chatting.

8. Resting room

The resting room is available when you feel ill and want to take a rest.

9. Free-of-charge services and confidentiality obligations

- All the services offered by the center are free of charge. Please note, however, that medical expenses are incurred (but 70% of the expenses is covered by the National Health Insurance program) when you consult physicians at medical institutions introduced by the center.
- Please handle equipment carefully.
- All the medical practices (including physical and mental counseling) are subject to confidentiality obligations, which are strictly observed.

10. HCC NEWS (the Health Care Center News)

HCC NEWS (the Health Care Center News) is issued and distributed annually to provide useful information.

11. Contact information

Director's office at the center: Dr. Hidetaka Hougaku (physician) (extension 5105)

Reception desk at the Consultation Room: Ms. Kinuyo Nishiyama (nurse) (extension 5108)

The Health Care Center is always available to maintain and promote your health.

健康診断ならびに健康・安全教育

本学構成員に対し、健康の保持増進を図るため学校保健安全法に則り一般健康診断を、安全・衛生を確保するため労働安全衛生法に則り特殊健康診断を実施しています。

1. 健康診断

名称	区分	日程	対象	内容
一般健康診断 (※1)	情報科学研究科	6月25日(水)	学生全員	問診・診察、身体計測、視力・聴力検査、血圧測定、胸部X線検査、尿検査、血液検査
	バイオサイエンス研究科	6月24日(火)		
	物質創成科学研究科	6月23日(月)		
特殊健康診断	RI・X線健康診断 (※2)	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	放射線実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	遺伝子組換え健康診断 (※3)	(年1回) 一般定期健康診断時に併せて実施	遺伝子組換え実験従事者として登録の学生	問診、診察、血液検査
	有機溶剤健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	有機溶剤実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	問診、診察、血液検査、尿検査など
	特定化学物質健康診断	(年2回) 第1回は一般定期健康診断時に、第2回は12月に予定	特定化学物質実験従事者で、使用頻度・取扱量から産業医が必要と判断した学生	各特定化学物質に定められた問診、診察、血液検査、尿検査など

※1：健康診断証明書の交付には、この一般健康診断時の全項目を受検していることが条件となります。

※2：RI・X線健康診断を受検していないと放射線実験はできません。

※3：遺伝子組換え健康診断を受検していないと遺伝子組換え実験はできません。

2. 健康・安全教育

健康の保持増進を図り、安全・衛生を確保し、安全意識の高い学生を世に送り出すため全学的な健康・安全教育を行っています。

名称	区分	日程	対象
健康教育	フィジカルヘルス・メンタルヘルス	5月20日(火) 4時限	新入学生全員
安全教育	安全教育(共通編)	4月7日(月) 4～5時限	
	安全教育(実験編)		

Medical Checkups and Health & Safety Education

NAIST offers general medical checkups in accordance with the School Health and Safety Act to maintain and promote the health of its students, while conducting special medical checkups in accordance with the Industrial Safety and Health Act to ensure student safety and health.

1. Medical checkups

Name	Category	Date	Target	Details
General medical checkup ^{*1}	Graduate School of Information Science	Wed., June 25	All students	Interview/examination, body measurement, visual acuity/hearing tests, blood pressure measurement, chest X-ray, urine tests, and blood tests
	Graduate School of Biological Sciences	Tue., June 24		
	Graduate School of Materials Science	Mon., June 23		
Special medical checkup	RI/X-ray ^{*2}	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of radiation experiments	Interview, examination, and blood tests
	Gene recombination ^{*3}	(Once a year) The special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup.	Students registered as participants of gene recombination experiments	Interview, examination, and blood tests
	Organic solvents	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using organic solvents and identified by industrial physicians based on frequency and volume of organic solvents handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc.
	Specified chemical substances	(Twice a year) The first special medical checkup is conducted concurrently with the general regular medical checkup. The second special medical checkup is scheduled for December.	Students registered as participants of experiments using specified chemical substances and identified by industrial physicians based on frequency and volume of specified chemical substances handled	Interview, examination, blood tests, urine tests, etc., required for respective specified chemical substances

^{*1} Health certificates are available if you have gone through all the check items in the general medical checkups.

^{*2} Students who do not take medical checkups in the category of “RI/X-ray” are not allowed to engage in radiation experiments.

^{*3} Students who do not take medical checkups in the category of “Gene recombination” are not allowed to engage in gene recombination experiments.

2. Health & safety education

NAIST offers health and safety education programs for all the students to (i) maintain and promote health, (ii) ensure safety and health, and (iii) develop human resources with high levels of safety awareness.

Name	Category	Date	Target
Health education	Physical & mental health	Tue., May 20 4th period	All new students
Safety education	Safety education (common)	Mon., April 7 4th–5th periods	
	Safety education (experiment)		

キャリア支援室

本学では、学生（主に博士後期課程学生）及び博士研究員のキャリア形成をサポートするために、平成 25 年度からキャリア支援室を設置しています。事務局棟 1 階（学生課隣り）に位置し、室内には求人票、情報検索用のパソコン 2 台、就職関連本（SPI 対策本や会社四季報など）を取り揃え、キャリア・アドミニストレーターが皆さんのキャリア形成に関する様々なサポートを行っています。

1. 開室時間：10:30～17:30（12:00～13:00 を除く）

※土曜、日曜、祝日、その他大学が定める休日は閉室します。

2. 就職関連図書の貸出

就職活動やキャリアビジョン策定に役立つ図書の貸出を行っています。

図書貸出のルール

①貸出期間：原則 1 週間以内

※ただし、次の貸出を希望する学生がいない場合は 1 週間の延長が可能です。

その際、返却日までにキャリア支援室まで連絡してください。

※長期間返却しない場合は、次回の貸出を受け付けません。

②貸出可能な冊数：2 冊まで

※閲覧用図書、雑誌の貸出は行いません。

※貸出の際には、本人確認のため学生証が必要です。

③貸出および返却場所：キャリア支援室

3. 就職ガイダンス

学生の就職活動を支援するために、就職ガイダンスを実施しています。日程等の詳細は、後日、キャリア支援室ホームページやメールによりお知らせします。

●平成 26 年度実施予定

第 1 回	平成 26 年度就職活動の進め方	9 月～翌年 6 月で 第 1～13 回実施
第 2 回	自己分析対策講座	
第 3 回	自己 P R 作成講座	
第 4 回	履歴書・エントリーシート対策	
第 5 回	面接対策・マナー講座	
第 6 回	就職ナビサイト活用講座	
第 7 回	企業・業界研究に役立つ新聞の読み方講座	
第 8 回	面接集中講座①（集団面接）	
第 9 回	模擬グループディスカッション	
第 10 回	面接集中講座②（集団面接）	
第 11 回	面接集中講座③（集団面接）	
第 12 回	実践！模擬面接講座	
第 13 回	直前対策講座	
模擬エントリーシート添削、模擬試験（SPI 対策テスト）、公務員試験対策、留学生向け就職ガイダンス		

4. キャリア相談

キャリアビジョンや就職活動を進めていく上での悩み・不安などについての相談を受け付けています。相談には、キャリア・アドミニストレーター（博士後期課程学生のみ）のほか、就職支援機関のキャリア・アドバイザーが対応します。相談は完全予約制で、予約方法の詳細はキャリア支援室ホームページに掲載しています。なお、相談内容の秘密は厳守されます。

5. 連絡先

内線番号 5921/5922

E-mail : career@ad.naist.jp

URL : http://www.naist.jp/career/

総合情報基盤センター：ITC（キャンパスマップ⑧）

総合情報基盤センター(ITC: Information initiative Center)は、本学の情報基盤および情報ネットワークシステム(曼陀羅システム)の整備・運用・管理、情報セキュリティ管理、情報メディアを活用した教育研究の支援を行なっています。

皆さんが曼陀羅システムで利用できる主なサービス

- 個人常用ワークステーション(ITC が管理する PC)
- ソフトウェア
- メール
- 印刷
- 無線 LAN を含む学内ネットワーク
- ファイルサーバ(ホームディレクトリやプロジェクトディスク)
- その他、利用方法など詳しい情報は以下をご参照ください
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

皆さんが曼陀羅システムを利用する上で守るべきこと

曼陀羅システムを利用する際は右の“情報ネットワーク利用に関する倫理規定”に記載されている遵守事項を守ってください。また、“全学情報環境システム運用方針”、“PC のセキュリティ対策について”、および“P2P ソフトウェア利用に関して”のページも必ず読み、ルールを守った上で利用してください。

■ 全学情報環境システム運用方針

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_ja.pdf

■ PC のセキュリティ対策について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/>

使用する PC においてはセキュリティ対策を必ず実施してください。

■ P2P ソフトウェア利用に関して

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/>

P2P ソフトウェアは学内および学生宿舎での利用を禁止しています。

これらの遵守事項やルール、また日本の法律を破った場合は、アカウント停止等の必要な措置を厳正に講じます。

曼陀羅システムとは

総合情報基盤センターでは、大学の情報基盤・情報ネットワークシステムのことを、**曼陀羅システム**と呼んでいます。“曼陀羅”とは密教における無限小の求心が逆に無限大の拡散に繋がる心理を意味しています。本学ではこれを基本理念として、利用者のニーズに基づいたシステム展開と、先進的な環境構築のために戦略的なアーキテクチャ構成を行っています。また“曼陀羅”が表す「過不足の無い充実した状態」の達成を目指し、曼陀羅システムの構築を進めています。

奈良先端科学技術大学院大学 情報ネットワーク利用に関する倫理規定

<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/12020.pdf>

遵守事項(倫理規定第 4 条)

1. 他の者の通信の秘密を侵害しないこと
2. プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと
3. 著作権等の知的財産権を侵害しないこと
4. わいせつな図画の流布に係る通信行為が其他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと
5. 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと
6. 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと
7. 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと
8. 個人的な営利を目的として利用しないこと
9. 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと
10. その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと

曼陀羅システムの各情報

曼陀羅システムの詳細や利用方法等については ITC のホームページをご覧ください。

■ ITC ホームページ

<http://itcw3.naist.jp/>

■ 利用方法が知りたいときは

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/mandara.html>

■ アナウンスについて

メンテナンス等により曼陀羅システムが利用できなくなる場合は、ITC のホームページに記載すると共にメールでお知らせしますので、ITC からのメールは必ずお読みください。

■ 連絡先について

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html>

ITC が管理するマシン、ネットワーク、プリンタなどに障害が起きた場合は、以下の連絡先に連絡してください。研究科により連絡先が違いますので注意してください。

研究科	連絡先	ITC 担当窓口
情報科学研究科	メールまたは WEB から ITC に連絡してください - メール (To: itc-trouble@itc.naist.jp) - WEB (http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.html)	ITC 情報棟 B207
バイオサイエンス研究科	所属する研究室のコンピュータ係に連絡してください	バイオ技術職員室 バイオ棟 D214
物質創成科学研究科	所属する研究室の情報機器管理者に連絡してください	物質技術職員室 物質棟 E202

なお、メールや WEB からの連絡ができない場合(情報)や、コンピュータ係・情報機器管理者が不在の場合(バイオ・物質)、およびコンピュータウイルス感染などの非常時においては ITC の各担当窓口にご連絡ください。

Information Initiative Center : ITC(Ⓢ)on the campus map)

ITC manages and operates Information infrastructure and Information network (Mandara System) in NAIST. ITC also conducts the support of education and research by utilizing Information security management and Information media.

The Mandara System includes:

- Personal Workstation (ITC manages these PCs)
- Licensed Software
- Email
- Printers
- IT Network and Wireless LAN
- File Server (Home Directory and Project Disk)
- See below for more about the Mandara System.
<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

Basic Rules and Regulations

When you use the Mandara System, you must observe the Ethical Regulations and the following Basic Rules.

- Mandara Operation Policy
http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/mandara_operation_policy_en.pdf

- Computer Security on Mandara
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/security/index.en.html>

It is necessary to keep your computer secure in order to use the network properly.

- Use of P2P Software
<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/p2p/index.en.html>

Using peer-to-peer (P2P) file-sharing software in NAIST or the NAIST dormitory is prohibited.

[If you break these regulations, rules and the Laws of Japan, ITC may suspend your account. So you have to keep these rules.](#)

What is "Mandara"

The university-wide information system at NAIST is named "Mandara", which refers to the truth in Esoteric Buddhism (i.e., the seeking of the infinitesimal paradoxically leads to infinite proliferation).

The Mandara System features strategic architectural configuration to meet user needs and build an advanced environment.

Meanwhile, an information processing environment has been developed from the viewpoint of researchers based on the basic principle of "fulfillment without excess or deficiency" as represented by Mandara.

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

http://itcw3.naist.jp/ITC-local/policy/ethical_regulations/ethical_regulations_en.pdf

Network Rules (Ethical Regulations – Article 4)

1. Do not violate the personal communication of others.
2. Do not violate the rights or privacy of others.
3. Do not violate copyrights or intellectual property rights.
4. Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
5. Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
6. Only access the Information Network System within the authorized limits.
7. Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
8. Do not use the Information Network System for personal profit.
9. Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
10. Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

More Information about the Mandara System

You can get more information about the Mandara System on the ITC web pages.

- ITC web page

<http://itcw3.naist.jp/>

- How to use the Mandara System

<http://itcw3.naist.jp/mandara.en.html>

- ITC Announcement

When the Mandara System is scheduled to stop due to some reasons such as the maintenance of network, ITC will inform you through the ITC web page and email. So, please read the email from ITC.

- Contact Information

<http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html>

When you have troubles with machines ITC manages, network and printer, please contact the person in charge through the following contact information. Please be reminded that the contact Information is different in each school.

Graduate School	Contact Information	ITC Staff's Room
Information Science	ITC - Email (To: itc-trouble@itc.naist.jp) - WEB (http://itcw3.naist.jp/ITC-local/ITC-mail-lists/itc-trouble.en.html)	IS building - B207
Biological Sciences	PC administrators and faculties in your lab	BS building - D214
Materials Science	PC administrators and faculties in your lab	MS building - E202

If the student of Information Science cannot contact the person by email or web, the person in charge is not available (for the student of Biosciences and Materials Sciences), or you have troubles such as the infection of computer virus, please contact ITC staff directly.

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理 規程

平成16年4月1日
規程第 86 号

(目的)

第1条 この規程は、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）における情報ネットワークの利用に関して、通信の秘密、人権若しくは知的財産権を侵害する行為、倫理上問題となる行為又は情報ネットワークの適切な運用を妨害する行為を防止し、情報ネットワークシステムの円滑な運用を図り、もって教育研究及び管理運営の活性化に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1)「情報ネットワークシステム」とは、本学が管理・運用する情報ネットワーク設備、それらに接続されたコンピュータ、情報関連機器及びそれらにおいて用いられるソフトウェアをいう。
- (2)「利用者」とは、役員、職員、学生その他本学において教育研究又は事務若しくは技術に従事する者で、本学の情報ネットワークシステムを利用する者をいう。
- (3)「システム管理者」とは、総合情報基盤センター長その他本学の情報ネットワークシステムを管理する者をいう。

(利用目的の限定)

第3条 情報ネットワークシステムの利用は、教育研究及び大学運営に関する目的に限られる。

(遵守事項)

第4条 利用者は、情報ネットワークシステムが社会に対して強くかつ広い影響力を持つものであることを認識し、その適切かつ円滑な運用に努め、次に掲げる事項を遵守しなければならない。この場合において、利用者は、個人情報又は業務上知り得た情報を適切に取り扱わなければならない。

- (1) 他の者の通信の秘密を侵害しないこと。
- (2) プライバシー等の他の者の人権を侵害しないこと。
- (3) 著作権等の知的財産権を侵害しないこと。
- (4) わいせつな図画の流布に係る通信行為その他法令に違反し、又は公序良俗に反する通信を行わないこと。
- (5) 有害なプログラムやデータによる情報ネットワークシステムや機器類の

- 損傷その他情報ネットワークシステムの運用を妨害する行為をしないこと。
- (6) 許可された利用権限以外のアクセスを行わないこと。
 - (7) 宗教的又は政治的な目的のために利用しないこと。
 - (8) 個人的な営利を目的として利用しないこと。
 - (9) 情報ネットワークシステムの円滑な利用を妨害しないこと。
 - (10) その他個人、本学や社会の利益を不当に損なう行為をしないこと。

(システム管理者の責務)

第5条 システム管理者は、この規程の趣旨及び前条に規定する遵守事項を利用者に周知するとともに、情報ネットワークシステムの利用に関する倫理について啓発活動に努めなければならない。

- 2 システム管理者は、この規程に違反する行為又は状態があるときは、違反した者の情報ネットワークシステムの利用を停止するなど必要な措置を講ずることができる。

(実情調査等)

第6条 第4条に規定する遵守事項に違反する行為又は状態がある場合、発見者は、総合情報基盤センター（以下「センター」という。）に通知しなければならない。

- 2 センターは、実情を調査し、第4条に規定する遵守事項に違反した者が判明した場合は、学長及び当該違反者が所属する長に調査結果の報告を行うものとする。
- 3 センターは、当該事案に他の学内委員会の所掌に属する事項が含まれる場合には、前項の報告に併せて、当該委員会に調査結果を通知するものとする。
- 4 センターは、第2項の実情調査を行うに当たって、当事者その他の関係者のプライバシー、名誉その他人権に十分配慮して公正な事情聴取を行わなければならない。

(処分等)

第7条 学長は、前条第2項の報告に基づき、所定の手続を経て、違反の行為の程度に応じて、懲戒処分その他必要な措置を厳正に講ずる。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、情報ネットワークの利用に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年10月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年3月1日から施行する。

Ethical Regulations for NAIST Information Network Use

Note: This is English translation of the Ethical Regulations for NAIST Information Network Use, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of Ethical Regulations for NAIST Information Network Use and it should not be regarded as official regulations.

Article 1 (Purpose)

These regulations have been created to prevent actions that may violate communication privacy, human rights, or intellectual property rights, actions of moral misconduct, and those actions that may interfere with proper operation during the use of NAIST's information network. In addition, they have been created to ensure smooth operation of the information network system and contribute to the improvement of its management, supervision and role in education and research.

Article 2 (Definitions)

- (1) The “Information Network System” refers to the facilities for the management and operation of the information network, the computers connected to this network, equipment related to the network, and the software used on it.
- (2) “Users” refers to NAIST directors, staff, faculty, students and those engaged technical, administrative, research, or educational activities, who use NAIST's information system.
- (3) “System administrator” refers to the director of the Information Initiative Center and those involved with administration and management of the information network system.

Article 3 (Restrictions of Use)

The information network system is to be solely used for the purposes of education, research and university administration and management.

Article 4 (Network Rules)

Users recognize that the Information Network System can have strong and broad effects on society and, in order to ensure the smooth and proper operation of the network, agree to abide by the following rules. In using the internet, the user must handle all information, personal and otherwise, attained through the system properly.

- (1) Do not violate the personal communication of others.

- (2) Do not violate the rights or privacy of others.
- (3) Do not violate copyrights or intellectual property rights.
- (4) Do not send or participate in the sending of obscene/indecent pictures or writing, immoral communication, or any other communication that violates Japanese laws and ordinances.
- (5) Do not obstruct the management and operation of the Information Network System or damage the network or its equipment through the use or downloading of harmful software or data.
- (6) Only access the Information Network System within the authorized limits.
- (7) Do not use the Information Network System for religious or political purposes.
- (8) Do not use the Information Network System for personal profit.
- (9) Do not obstruct the proper management and operation of the Information Network System.
- (10) Do not participate in or perform acts that unjustly impair or harm personal, university, or social interests and activities.

Article 5 (System Administrator Duties)

The system administrator will alert all users of these regulations and the rules within, while promoting moral awareness concerning information network system usage.

- (2) The system administrator may take measures such as canceling access to the Information Network System of those individuals who violate or are in violation of these regulations or any of the rules within.

Article 6 (Network Investigation)

Upon discovering acts or computers in violation of the rules in article 4, report this to the Information Initiative Center. (Herein referred to as “Center”)

- (2) After investigating possible violations and finding violations of the rules in article 4, the Center will notify the university president and the dean of the violator’s graduate school of the investigation results.
- (3) In the case where a violation involves areas under the administration of a university committee, the Center will also notify the appropriate committee of the investigation results.
- (4) In performing the investigation in (2), the Center will perform an impartial interview of the possible violation and those involved, taking care to respect their respective privacy, rights, and reputation.

Article 7 (Disciplinary Actions)

After receiving a report of the investigation in Article 6-(2) and after following the appropriate procedures, the university president will decide strict disciplinary actions appropriate to the severity of the violation.

Article 8 (Miscellaneous Provisions)

Provisions and rules in addition to those stated in these regulations will be established concerning information network usage.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2010.

Supplementary Provision

These regulations shall come into effect on April 1, 2011.

全学情報環境システムの運用方針

— 2013年度版 —

総合情報基盤センター

総合情報基盤センターでは本センターが管理運用する全学情報環境システムについて、2013年度は以下のような指針に基づいて運用を行う。

(アカウントについて)

1. 総合情報基盤センター保有システムのアカウント(以下、曼陀羅アカウント)について総合情報基盤センターでは以下の条件を満足する場合にのみ、曼陀羅アカウントを発行する。アカウントは本人のみの使用を許可しており、他人への貸与を禁止する。
 - 本学教職員
 - 本学学生
 - 本学役員
 - 本学が契約している派遣会社からの派遣職員
 - 本学によって受け入れが認められている外部研究員
 - 運用管理上必要となるアカウント
 - その他総合情報基盤センター長が認めるもの
2. 曼陀羅アカウントの失効について
異動、退職等により本学を離れると同時に曼陀羅アカウントは失効する。曼陀羅アカウントの失効とは、該当アカウントで曼陀羅システムに login できなくなり、メールアカウントが無効となることである。ただし、メールの転送設定は、本学を離れてから3ヶ月間有効である。
3. 各研究室購入機器におけるアカウント(以下、研究室アカウント)について以下の手順で各研究室がアカウント作成を行うこと
 - UNIX マシン上で研究室アカウントを作成する際は本学環境内での UID , GID の衝突を避けるため総合情報基盤センターまで連絡すること。
 - 基本的に研究室アカウントは各研究室が管理すること。

- 曼陀羅アカウントを持っているものは、全学ファイルサーバ上のホームディレクトリを利用してよい。それ以外の研究室アカウントのホームディレクトリは各研究室で用意すること。
4. 全学情報環境システムの各システムにおける super user アカウント (Microsoft Windows については Administrator) は総合情報基盤センターが認めた利用者だけに開放する。
 - 研究遂行上、必要と認められる場合には super user アカウント (または Administrator) を開放する。その際、運用管理上の問題が発生しないように利用者と運用管理についての打ち合わせを十分行い注意喚起すること。
 - それ以外の場合には、基本的に super user (または Administrator) のアカウントは公開しない。
 5. 曼陀羅アカウントの停止について
 - 奈良先端科学技術大学院大学情報ネットワーク利用に関する倫理規程に違反した場合、割り当てた曼陀羅アカウントを停止する。

(個人情報保護について)

6. 利用者に対する個人情報保護に関わる方針を以下のとおり定める。
 - 研究上若しくは職務上で知りえた一切の個人情報は、生涯にわたり第三者に故意または過失によって提供、漏洩しないこと。
 - 個人情報の取り扱い、研究若しくは職務の遂行上正当な理由の場合に限定して行うこと。
 - 研究上若しくは職務上不必要となった個人情報については、完全に破棄または消去すること。
 - 万一、個人情報が提供、漏洩するような事が発生した場合は、本学規約に基づき処理されるものとする。
7. 総合情報基盤センターでは、保持する個人情報をその利用目的に限り使用する。総合情報基盤センターが保持する個人情報及びその利用目的は、以下の通りである。
 - 総合情報基盤センターが保持する個人情報
 - － 曼陀羅アカウントを所持する本人を特定できる個人情報ファイル
この個人情報ファイルに含まれる情報は、氏名・所属・曼陀羅アカウント名・曼陀羅アカウントの有効期間・システムへの設定パラメータである。
 - 利用目的
 - － 曼陀羅アカウントの発行および失効

- システムの利用状況などの調査
- 総合情報基盤センターの円滑な運用

但し、この方針の中でいう個人情報及び個人情報ファイルとは、本学個人情報管理規程第3条で定義されたものをいう。

(全学情報環境システム上のデータについて)

8. 全学情報環境システム上のデータは、全て本学に帰属する。

(総合情報基盤センターから提供される機材について)

9. 総合情報基盤センター保有システムのハードウェアの増設・改変は認めない(付属機器等の接続変更を含む)。
10. 個人常用ワークステーションの本体電源は常に ON の状態にしておくこと (Microsoft Windows, Mac OS で動作するマシンを含む)。
11. 全ての個人常用ワークステーションの勝手な移動は認めない。
 - 同一の部屋内での移動であっても、ネットワークの切断が発生するような移動の場合は必ず利用者に正しい手続きにより連絡させること。
12. 個人常用ワークステーションのローカルディスク領域は各利用者には提供しない。
13. ファイルサーバのホームディレクトリ領域および500GB以下のプロジェクトディスク領域のバックアップは総合情報基盤センターが定期的に行う。
14. ファイルサーバのディスクの割り当ては当面、教員 200GB、学生 100GB とし、必要に応じて割当領域を変更する。
 - 割当領域の変更は、要求ベースで判断する。
 - 全てのディスク空き領域を、各研究室やユーザに対して事前に割り当てることは行わない。足りなくなった時点で割り当てるという方針で行う。

(ネットワーク接続について)

15. ネットワーク接続に当たっては総合情報基盤センターに対してどのような機器を接続するかといった説明を必ず行わせること。ネットワーク運用上障害が予想される場合には、接続を許可しない。

16. IP address 等については総合情報基盤センターに申請を行わせ、正式なアドレスを手させること。
17. 研究室購入の設備を学内ネットワークに接続する場合、接続に必要な機器・器財はすべて研究室側で用意させること (ケーブルを含む)。

(消耗品の管理について)

18. システム運用上発生する消耗品については、各研究科、各部局が消耗品の発注・支払を行うこと。
19. 各フロアのローカルサービスシステムのプリンタ消耗品(トナー、ドラム、用紙など)の補充・交換作業は、利用者が行うこと。またこれらの在庫は、各研究科、各部局が管理すること。

(メンテナンスについて)

20. 全学情報環境システムに不具合が生じ、緊急に対処する必要がない場合は、水曜日午前にシステムを停止して、復旧作業を行うこと。このとき、約1週間前に電子メールにて、事前周知を行うこと。
21. 全学情報環境システムに緊急を要する不具合が生じた場合は、各部局への連絡を行った後、システムを直ちに停止し、復旧作業を行うこと。

(その他)

22. 小規模計算サーバシステム、情報科学研究システム、バイオ情報処理システム、物質創成科学情報処理システム、物質創成研究システムなどの研究系設備については、必要に応じて主たる利用者と共同運用すること。
23. 原則として、異動・退職者の曼陀羅アカウントは即座に失効させること。曼陀羅アカウント失効後、ホームディレクトリ上のデータは消去すること。
24. 全学情報環境システムの機器の破損・盗難が発生した場合には、利用者と総合情報基盤センターが誠意を持って相談の上、解決すること。
25. 全学情報環境システムのマニュアルは総合情報基盤センターが管理・保管すること。利用者がマニュアルを必要な場合、提供すること。

MANDARA Operation Policy (ver.2012)

Information Initiative Center of NAIST

Note: This is English translation of the MANDARA Operation Policy, which is originally in Japanese. It is provided as a reference for international staff and students to understand the content of MANDARA Operation Policy and it should not be regarded as official regulations.

MANDARA Account

1. ITC (Information iniTiative Center) issues MANDARA System user accounts for the following types of users. Users who is issued MANDARA account must not lend it to other people.

: (“MANDARA” is the university system at NAIST)

- University executives
- Faculty members, staff and students in NAIST
- Temporary employees who have made a contract with the finance division of the University.
- Researchers who are authorized by the University Office
- Any other people who are approved by the chair of ITC

2. MANDARA Account Expiration

- Your MANDARA account will be considered expired if you are no longer employed or officially affiliated with NAIST. In the case of an expired account, you will not be able to login to the system and your mail account will be voided. You will still be able to transfer you mail for up to 3 months from the date of expiry.

3. User account settings in laboratory equipment

Please create your user account using the following procedure:

- If you create user account on UNIX system, you must contact ITC. This is necessary to avoid UID/GID conflicts between your system and MANDARA system.
- User accounts are managed by each user's respective laboratory.

- People who have MANDARA account on ITC system's can use a home directory assigned in file server. Any other accounts must be prepared by the individual.
4. Super User Accounts ("Administrator" accounts in Microsoft Windows) are available on a limited basis.
 - If you need a super user account to conduct your research, please consult with ITC. If such an account is granted, it is up to the user to ensure responsible usage of the account in order to avoid problems.
 - Super user accounts cannot be issued for any other circumstance other than the one detailed above.
 5. MANDARA Account suspension
 - Any user's MANDARA account who violates any of the policies outlined in the NAIST Information Network Ethics Regulations will be suspended.

Privacy

6. ITC outlines the privacy policy as follows:
 - Information gained in the course of your research may not be disclosed to a third party for the rest of your life.
 - The use of personal information is restricted to cases where such information is deemed necessary for either your research or work.
 - When the personal information become unnecessary for your research, you have to completely delete the information.
 - If personal information is leaked, the issue will be handled according to our university's policies.
7. ITC use the personal information to limited purpose. The ITC saves personal information for the following reasons:
 - Personal information
 - ITC will use personal information files to estimate users' identification.
 - That file includes name, affiliation, MANDARA account name, MANDARA account term and system parameter.

- Purpose
 - MANDARA account assignment and experimentation
 - System observation
 - Stable system operation
- Personal information and files are defined in the third clause of the NAIST Personal Information Management Policy.

Data on MANDARA

8. The amount of data property on MANDARA is vested to our university.

Computer Equipment provided by ITC

9. You may not extend or alter any system hardware provided by ITC. Additionally, you cannot change hardware connections such as USB and Ethernet.
10. Please ensure that all individual workstations' power switches (including Microsoft Windows and Apple machines) are left on.
11. You are not allowed to move personal workstations provided by ITC.
12. ITC is unable to assign local disks attached to your workstation.
13. ITC performs scheduled backups of your home directory and project disks so long as those disks remain under the 500GB storage limit.
14. Your home directory is limited. ITC has assigned a 200GB limit for faculty members and a 100GB limit for students.
 - A) You may request to change the amount or disk space you are assigned.
 - B) ITC is unable to assign an entire disk space to a user or dedicated laboratory.

Network Connectivity

15. You must consult with ITC before connecting any equipment to the MANDARA network. If the proposed equipment poses any potential for network system failures, the request will be denied.
16. Only use IP Addresses that have been assigned by the ITC.
17. Equipment required for connecting to the network (e.g. a network cable) must be provided by the user.

Consumable products

18. Individual departments are responsible for the ordering and funding of consumable products.
19. Individual users are responsible for changing printer equipment such as paper, ink toner, etc. Such equipment is managed by each individual department.

Maintenance

20. Please be aware that the network requires periodic downtime for maintenance. In such cases ITC will issue a notice by email about 1 week prior to the maintenance shutdown.
21. If a system failure occurs and emergency action is necessary, ITC will immediately shutdown the system and commence recovery work after communicating with the individual departments.

Others

22. ITC operates the following systems with the main user:
 - Small Cluster Server, Information Science System, Bioinformatics Processing System, Material Information Processing System, Material Research System
23. Please consult with ITC before using equipment for presentations.
24. As a general rule, you should remove your data and files from MANDARA system until your MANDARA account expiry date. The files that is managed by ITC will be removed after your account expiring.
25. In the case of broken or stolen MANDARA system equipment, ITC will take the issue up with the user.
26. ITC have an individual MANDARA system user manual. Please see ITC if you require it.

附属図書館 (キャンパスマップ②)

本学附属図書館は先端科学技術（情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学）に関する教育・学術研究活動を支援する電子図書館です。本学の電子図書館のコンセプトは、図書・雑誌を冊子体ではなくデジタル技術により曼陀羅ネットワークを介して、いつでもどこでも自由に利用できることです。授業ビデオ・学位論文などの大学生産物を多様なメディアで提供するとともに、世界レベルの情報を統合的にフルテキストまでナビゲートサービスし、高い利用率を誇っています。

また、図書や雑誌を冊子体で提供する来館型図書館サービスについても、本学の教職員および学生は、24時間閲覧室の利用と貸出サービスの利用ができます。「知の森コーナー」、新しいタイプの閲覧室「マルチメディアラウンジ」・「シアターラウンジ」の整備、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館との協定によるサービスの充実にも努めています。

電子図書館の主なサービス

1. 高度な情報検索

本学蔵書・電子化資料・学術リポジトリと電子ジャーナル・電子ブック・データベースを横断的に高速検索することができます。書誌・目次・抄録情報のみでは実現不可能な、本文情報を含めたいきめ細かい高度な検索機能を提供しています。

2. パーソナライズ機能

Web 経由で各種申し込みや進捗状況の把握を行うことができます。定期的に参照しているコンテンツ、自分自身の検索履歴・オンラインコンテンツの管理が行えます。

3. 新着情報通知機能 (SDI)

本文テキストをデータベース化することにより、利用者があらかじめ登録したキーワードに合致する資料の新着情報を電子メールで自動通知します。

4. 授業アーカイブ

研究科における授業をデータベース化して公開する取り組み「授業アーカイブ事業」を平成 17 年度から行っています。大学の要である日々の講義を、許諾を得たうえで蓄積・公開しています。

5. 学内生産物の組織的な保存、管理

学内の学生、教員、研究者などが生産する学位論文、テクニカルレポート、科学研究費補助金研究成果報告書などの研究成果、また学内で行われる招待講演なども、著者または講演者から、インターネット経由で利用する許諾を得た上で、デジタル情報として収集し、データベース化することで一元的な保存、管理および提供を可能にしています。



NAIST Library (② marked on the campus map)

We, NAIST Library support education and research in advanced sciences and technologies (especially in information science, biological sciences, and materials science). We pursue to make our library keep providing NAIST members with excellent accesses to books, magazines and scientific information anytime, anywhere connected with the internet through “MANDARA network”.

We provide accesses to digitalized NAIST academic works (e.g. lectures and academic dissertations), and efficiency navigation to full-text of latest scientific information on the library website we are proud of with frequent access.

We also provide usual library services (e.g. book circulation, magazine browsing) for 24 hours. And we are improving services: setting up the booth offering books in specialized theme, “CHI NO MORI”, renovation for new reference rooms, “Multimedia Lounge” and “Theater Lounge”, enlarging interlibrary services (already available with National Diet Library and Nara Prefectural Library and Information Center).

The major services of the library

1. Advanced search

NAIST library provides fast crossover search function on the library web from our book collection, digitalized NAIST academic works, our institutional repository collection, available e-journals and e-books. This will give you fine result by search in full-text data of our collection and available e-journals as well as in bibliographies, tables of contents and abstracts.

2. Personalization

NAIST library provides functions to allow the members to request services and to confirm order status via the personalized web page for each member. The members can also receive and check the news of subscribed academic materials, and manage the history of the viewed materials on the personalized web page.

3. Selective dissemination of information ("SDI")

NAIST library provides "SDI" function to send an email to inform of arrival of the material including the words of concern that the members registered on the personalized web page.

4. Lecture archives

NAIST library launched “Lecture archives”, that have digitalized our schools’ lecture movies, to make them public or release to the members on the library web from the year 2005. NAIST library is digitalizing and releasing the lectures, the principal activity of NAIST, with permission from lecturers.

5. Centralized production of digitalized works

NAIST library takes the central role in producing, releasing and managing digitalized date of NAIST academic works with permission for access through the internet.

The major types of digitalized works are follows:

- a. Scientific articles
- b. Academic dissertations
- c. Technical reports
- d. KAKENHI Research-results reports
- e. Lecture movies (including guest lecturers if permitted.)

英語Eラーニングシステム(ALC NetAcademy 2)



1. ALC NetAcademy 2 とは

ALC NetAcademy 2は LAN 環境で使用するネットワーク型の英語学習システムです。英語力の向上、TOEIC テスト対策、理工系の論文読解等、自学自習に役立ててください。

学習者は各自の英語レベル、興味ある教材、リスニング・リーディングなど強化したい分野を選んで学習が可能です。

2. 利用対象者

本学の学生・教職員であれば「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページから利用することができます。学内はもちろん、自宅などの学外からも 24 時間利用することができます。利用登録等は必要ありません。

3. アクセス

「在学生の皆様へ(学内専用)」ホームページのその他「ALC NetAcademy」からログインしてください。
(<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>)

アカウント・パスワード：曼陀羅システムと同じアカウント・パスワードで利用できます。

4. コース

スーパースタANDARDコース、STANDARDコース、初中級コース プラス、
技術英語<基礎>コース、技術英語パワーアップコースの5つのコースを利用できます。

5. 動作環境

NetAcademy2 は以下の環境で動作確認ができています。

OS	Windows XP SP2 / Vista / 7 ※
WWW ブラウザ	Internet Explorer 7 / 8 / 9
その他	FlashPlayer 11

※対象 OS 以外でも FlashPlayer が動作すれば利用できるようです。ただし、表示がおかしい等の不具合が発生する可能性があります。

※MacOS X 10.3/10.4 では 『[初中級コース]の[TOEIC(R) テスト演習]で学習できない』 という症状が確認されています。



English E-Learning System (ALC NetAcademy 2)

1. What's ALC NetAcademy 2?

ACL NetAcademy 2 is an online English learning system which provides self-study courses to improve English competence, practice TOEIC, and develop reading skills for scientific papers.

2. Who can Use NetAcademy 2?

Students and faculty members of NAIST can use the system. This system is on service 24 hours a day and is accessible at home or from outside the campus. Registration is not required.

3. How to Access?

You can directly access the following URL, using the same account and password as MANDARA System:

<http://itcw3.naist.jp/NetAcademy/NetAcademy.html>

4. What Courses are available?

The following five courses are available:

- Super-standard Course
- Standard Course
- Course for Beginners and Intermediates Plus
- Technical English (Basic Course)
- Technical English (Power-up Course)

5. Recommended System Requirements

NetAcademy 2 has been tested on the following platforms:

OS	Windows XP SP2 / Vista / 7 *
WWW Browser	Internet Explorer 7 / 8 / 9
Browser Plug-in	Flash Player 11

*NetAcademy 2 should run on other platforms as long as Flash Player operates properly.

However, there is a possibility that texts and animations are not displayed properly, etc.

*On MacOS X 10.3/10.4, TOEIC Test in the Course for Beginners and Intermediates Plus has been confirmed not to work properly.

11 キャンパスライフ



11 キャンパスライフ

授業料の額及び納付方法

1. 授業料の額及び口座振替による引落日

区分	授業料の額(※1)	引落日(※2)
博士前期課程	535,800 円	春学期(4月～9月)分:平成26年5月27日(火)
博士後期課程	(半期 267,900 円)	秋学期(10月～3月)分:平成26年11月27日(木)

※1: 在学中に授業料改訂が行われた場合には、新授業料が適用されます。

(5月及び11月に、電子メールにより授業料金額を通知しますので、ご確認願います。)

※2: 5月及び11月の授業料の引落日は27日ですが、27日が金融機関休業日の場合、翌営業日の引き落としとなります。(引き落とし日の前営業日の15時に残高照会が行われます)

2. 納付方法

本学で定める春学期分及び秋学期分の引落日に、それぞれ半期分を口座振替(代行納付)により引落しします。(春学期分と併せて秋学期分も納入を希望される方は、5月9日(金)までに申し出てください。なお、免除申請者は申請の結果がわかるまで猶予されます。)口座振替の手続き等の詳細については会計課資金係(内線6227)まで問い合せてください。

授業料の納付を2期分怠ると除籍となりますので、ご注意ください。

学生証

本学の学生証はカードになっています。このカードは、学生の身分を証明すると同時に、各建物への時間外の入室(午後7時以降翌朝午前7時30分までの間、土曜、日曜、祝日)や証明書自動発行機の操作、図書館の本を貸し出しするための電子キーとしての働きもしますので、学内では常時着用してください。カードには、各学生の所属研究科、入学年、学生番号が入力されていますので、各建物への入室許可条件を自動判別することになります。

カード所持にあたっての注意事項

- ① 学内では学生証入れ等を使用し、常時着用すること。
- ② 他人に貸与又は譲渡しないこと。
- ③ 紛失した場合あるいは磁気不良等でカードが使用できない場合は、直ちに学生課学務係へ届け出ること。
当該建物に入る際、カードリーダーを通して作動しない場合は、インターホンで所属と氏名を告げてロックを解除してもらうこと。(事務局棟1階:防災センターで対応)
- ④ 有効期間が満了したとき及び退学等により学生の身分を失ったときは、直ちに学生課学務係へ返却すること。
- ⑤ 学生証の取扱いについては以下の事項に注意すること。
 - ・高磁場・磁気(NMR等)に近づけない
 - ・高温な場所(夏場の車内等)に放置しない
 - ・折り曲げない

学生個人報告書

入学手続き時に提出していただいた「学生個人報告書」の情報は、緊急時における連絡用として使用しますので、以下の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに学生課学務係へ届け出てください。

●記載事項

- ・入学後の住所、電話番号、携帯電話番号
- ・勤務先の情報（有職者のみ）
- ・緊急時の連絡先欄の連絡先氏名、続柄、住所、電話番号

●届出方法

学生課窓口（学務係）で受け付けます。

諸手続・諸証明書

1. 諸手続

手続には、大学があらかじめ掲示等で通知をし、一定の期間内に行うものと、必要となった都度自発的に行うものがあります。手続きを怠ったり時期を失したりした場合には、本人の不利益となるばかりでなく、多方面に支障をきたすことがあるので、十分注意してください。

提出書類	内容	問合せ・提出窓口
休学願	3ヶ月以上修学できない場合 (個人留学を含む。病気の場合は診断書添付) ※原則として1ヶ月前までに提出	学生課学務係 (内線 5085)
復学願	休学期間の途中で復学する場合 (病気の場合は診断書添付)	
復学届	休学期間満了時に復学する場合 (病気を理由に休学し、指導教員の指示があった場合は診断書添付)	
退学願	退学する場合 ※原則として1ヶ月前までに提出	
改姓(名)届	姓名が変更した場合 ※住民票等、姓名の変更を確認できるものを添えて提出すること	
留学願	海外に留学するとき(短期留学、3ヶ月以上の研修、インターンシップ等) ※渡航が決定次第速やかに提出	
海外渡航届	海外に渡航するとき(但し、学生出張の場合は除く)	
学生証再交付願	学生証を紛失したとき、汚損により使用不能となったとき	キャリア支援室 (内線 5921)
進路・就職(内定)届	修了等により本学の学籍がなくなる時	
旅行(一時帰国)届	外国人留学生が一時帰国・出国する時 ※事前に提出すること。所定用紙については留学生交流係まで問い合わせてください。	学生課留学生交流係 (内線 5909, 5087)

学生課関係の各種の願・届出書等の所定用紙は、学生課窓口及び学内専用ホームページ[在学生の皆様へ]-[各種申請・願・届出書等覧]
(<https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html>)から入手できます。

●休学・退学の手続きに関する注意事項

(1) 休学

- 病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3ヶ月以上 修学できない場合に申請することができます。
- 休学期間は 1年以内 です。ただし、特別の理由がある場合は 1年 を限度として延長を申請できます。休学期間の延長を申請する場合には、休学期間終了の 1ヶ月前 までに再度休学(延長)願を提出してください。
- 休学期間が終了すると、自動的に復学となります。復学届を提出してください。
- 休学期間は標準修業年限及び在学年限に算入しません。
- 復学後の修了の見込み等もお知らせください。
- 一部の証明書(修了見込証明書、健康診断証明書、学割証)について発行することはできません。
- 図書館の利用はできません。
- 休学期間中の授業料は徴収しません。

(2) 退学

- 博士後期課程に3年以上在籍し、指導教員から研究指導を認定された上で退学される場合は、学籍(履歴)上は「研究指導認定退学」となります。
- すでに納付した授業料は返還できません。

(3) 共通

- 授業料の納付が許可の条件となります。
- 納付済みの授業料は返還しません。ただし、次に該当する場合は授業料を返還します。
 - ・ 休学が許可された場合、休学期間中の授業料相当額
 - ・ 春学期の授業料を徴収するときに当該年度の秋学期の授業料を併せて納付した方が、秋学期開始までに退学が許可された場合、秋学期に係る授業料相当額
- 学籍異動希望日の 1ヶ月前 が締切となります。願出の提出が遅れた場合は許可日が翌月となります。
- 原則学期単位で申請してください。
休学：開始日は原則4月または10月から。終了日は9月末または3月末。
退学：許可希望日は原則9月末または3月末。
- 願出書の理由欄には具体的にご記入ください。「一身上の都合」では申請できません。
 - ・ 休学：病気療養の場合には診断書を添付、業務多忙の場合には勤務先名称をご記入ください。
- 学生宿舍等の退去、奨学金受給停止手続きなども考慮してください。

2. 諸証明書

●証明書自動発行機で交付する証明書等

在学証明書、修了見込証明書、成績証明書、修了証明書、健康診断証明書及び学生旅客運賃割引証（学割証）については、学生証があれば証明書自動発行機により、即日交付します。なお、交付条件のあるものについては、次表（備考欄）を参照してください。

証明書の名称	交付条件等	証明書自動発行機 取扱時間及び設置場所
在学証明書 英文在学証明書	研究生等の非正規生を除く	取扱時間： 月曜日から金曜日 （祝日及び年末年始は除く） 7:30～19:00 まで 設置場所： 附属図書館玄関ロビー
修了見込証明書 英文修了見込証明書	博士前期課程については半年間在学後、 博士後期課程についてはD2 から交付可能	
（博士前期課程在籍時の） 修了証明書 英文修了証明書 成績証明書 英文成績証明書	本学学内進学者のみ対象	
成績証明書／ 英文成績証明書	研究科長名で交付される証明書で、修得した科目のみ記載され、不合格科目は記載されません。	
成績表／英文成績表	自身の成績を確認するものです。修得した科目及び不合格科目について記載しています。	
健康診断証明書	一般定期健康診断時の全項目を検査している者に限る。なお、秋学期入学者は翌年に実施される同健康診断を受検後に発行	
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）	・年間割当数 1 人当たり 10 枚 ・有効期間 3 か月 （研究生等の非正規生、休学者を除く）	

●窓口で交付する証明書

証明書自動発行機により発行していない証明書については、所定の証明書交付申請書を使用し、学生課窓口申し込んでください。交付に日時を要するものがあるので、あらかじめ余裕をもって申し込んでください。

証明書の名称	交付条件	問合せ・申請窓口
国費外国人留学生証明書等 留学生に係る証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課留学生交流係 （内線 5909, 5087）
学生宿舍入居証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）
学研災保険加入証明書	交付申請受付日の翌日午後 （土曜・日曜・祝日を除く）	学生課学生支援係 （内線 5920）

●通学証明書

（1）通学定期券について

自宅から本学間の通学定期券を購入する場合は、入学（進学）時に配布しています通学定期乗車券発行控に学生番号、氏名及び住所を記入の上、定期券売り場で定期券購入申込書、学生証及び通学定期乗車券発行控を提示してください。（記入欄がなくなりましたら学生課窓口へ申

し出てください。)

なお、本学が指定している近鉄の最寄り駅は、京都線は「高の原」駅、奈良線は「学園前」駅、けいはんな線は「学研北生駒」駅です。

(2) 実習用通学定期券について

外部研究機関等における実習のため、実習用通学定期券を購入する場合は、通学証明書を発行しますので、実習開始の1ヶ月前までに学生課学生支援係に申し出てください。(鉄道会社等の承認が必要なため、発行に日数を要します。)

※研究生等の非正規生や休学中の学生は通学定期券を購入することはできません。

日本学生支援機構奨学金制度

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。第一種奨学金の貸与をうけ、在学中に特に優れた業績をあげた者として支援機構が認定したのものには、貸与期間終了時に、学資金の全部または一部の返還が免除される制度があります。

区 分	貸与月額		貸与期間
	第一種奨学金	第二種奨学金	
博士前期課程	月額50,000円、88,000円の 選択可能	申請者が次の貸与月額から 選択(5・8・10・13・15万円)	当該課程の標準(最 短)修業年限以内
博士後期課程	月額80,000円、122,000円 の選択可能		

申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

民間育英団体の奨学金

民間の育英奨学団体から奨学生の募集があった場合は、その都度通知します。

授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の被害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、選考の上、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。申請手続き等詳細については、学生課学生支援係へ問い合わせください。

海外への留学制度

日本学生支援機構では、大学間交流協定などにより海外の大学等に短期間(1年以内)留学をする学生を対象とした海外留学支援制度(短期派遣:月額6~10万円)や修士または博士の学位取得を目指し、海外の大学に1年以上留学する学生等を対象とした海外留学支援制度(長期派遣:月額9~15万円程度)などがあります。詳細は、日本学生支援機構のHPをご覧ください。<http://www.jasso.go.jp/>

その他、政府奨学金や民間団体の奨学金の募集案内は、学生課留学生交流係より電子メールで通知いたします。

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課中、学校主催行事中、学校認定団体の課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。本学では、入学手続き時に加入手続きを行い、全員加入となっています。

詳細については、「しおり」を参照してください。

なお、接触感染予防保険金支払特約については、任意加入となりますので、加入を希望する場合は、詳細を学生課学生支援係へ問い合わせてください。

区分	保険料	保険期間
博士前期課程	1,750 円	2 年間
博士後期課程	2,600 円	3 年間

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠償）

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課中、学校行事及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。

本学学生には、次の2コースが適用されますが、AコースにはBコースの補償内容を含んでいますので、Aコースの加入をお勧めします。本学では任意加入としていますので、加入を希望する場合は、詳細を学生課学生支援係へ問い合わせてください。

なお、連携研究室に配属された場合は、必ずAコースに加入してください。

区分・名称	A コース	B コース
	学生教育研究賠償責任保険（略称：学研賠）	インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険（略称：インターン賠）
活動内容	正課、学校行事及びその往復（Bコースの活動内容を含む）	正課、学校行事として行われるインターンシップ等の活動及びその往復
対人賠償・対物賠償	1 事故 1 億円限度	
保険料（※）	340 円	210 円

※4月入学者は翌年3月31日まで、10月入学者は翌年9月30日まで

学研災付帯学生生活総合保険（略称：学研災付帯付帯学総）

学研災付帯学生生活総合保険は、学生生活全般を補償する保険制度です。

本学では、任意加入としていますので、加入を希望する場合は、各自で申し込みを行ってください。詳細パンフレットは、学生課学生支援係に設置しています。

学生宿舎 (キャンパスマップ⑬)

本学キャンパス内には次のとおり学生宿舎が設置されています。

[学生宿舎の概要]

区分	単 身 用	夫 婦 用	家 族 用
建物構造	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建	鉄筋 5 階建
居室数	559 室	50 室	10 室
居室面積	13 m ²	36.98～41.45 m ²	51.56 m ²
設備等	机, ベッド, ミニキッチン, トイレ等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等	机, キッチン, トイレ, 浴室, 洗濯機, エアコン等
共用設備	浴室, ランドリー室, ラウンジ等	—————	—————
寄宿料	月額 5,900 円	月額 11,900 円	月額 14,200 円
共益費	月額 4,100 円	月額 600～1,100 円	月額 1,100 円
光熱水料	入居者負担	入居者負担	入居者負担

大学借り上げ住宅

(独)都市再生機構の賃貸住宅(公団住宅)を大学が借り上げ、希望者に提供しています。対象団地は中登美第三団地、富雄団地、平城第一団地の3団地です。

詳細は学生課学生支援係へ問い合わせてください。

駐車場及び駐輪場の利用

1. 自動車に通学する場合

大学構内に自動車で乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場に駐車してください。駐車場は有料で、現金(1日300円)を用意し又は予め定期券(駐車券)を購入して駐車してください。

なお、定期券(駐車券)は、初回のみ高山地区公共駐車場北側の大学支援財団(高山サイエンスプラザ内)で購入してください。2回目以降は、大学会館1階売店で購入することができます。

・定期券料金(学生): 1ヶ月1,500円、3ヶ月4,000円、6ヶ月7,500円

2. 自転車及びバイクに通学する場合

大学構内に自転車及びバイクで乗り入れることはできません。大学北側の高山地区公共駐車場内にある駐輪場に駐輪してください。駐輪料金は無料です。

なお、駐輪場を利用する場合は、学生課学生支援係で登録手続きを行ってください。登録のない自転車やバイクは、放置自転車として撤去されます。

国立博物館キャンパスメンバーズ

大学と国立博物館が連携を図ることによって、博物館が所蔵する文化財を核として、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供することを目的としています。本学では現在、奈良国立博物館・京都国立博物館とキャンパスメンバーズの提携を結んでいます。

本制度により、本学学生（正規生・非正規生）は、学生証を提示すると各博物館が開催する平常展・特別陳列が無料で何度でも観覧できます。また、各博物館が開催する特別展が特別割引料金等で観覧できます。その他の特典等の詳細については本学ホームページ (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html) をご覧ください。

福利厚生施設

1. 大学会館（キャンパスマップ③）

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂、喫茶室、売店、保健管理センターを設けています。

2. 研究者交流施設「ゲストハウスせんたん」（キャンパスマップ⑦）

本学学生・教職員も利用できます。申込み方法等は次のとおりです。詳しくは本学ホームページ (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html) をご覧ください。

区 分	利用時間	申込み方法
宿泊施設	チェックイン：15時から チェックアウト：11時まで	人事課福利厚生係まで利用を申し出てください。（内線 5033） 電子メール：fukuri@ad.naist.jp
集会施設	午前9時から午後9時まで (12月29日～1月3日利用不可)	
フィットネス室	午前9時から午後10時まで	特に必要ありません

3. 各種運動施設

本学学生・教職員が利用できます。申込み方法等は次のとおりです。

区 分	利用時間	申込み方法
グラウンド	午前7時から日没まで	毎月20日（土、日、祝日の場合は翌平日）に翌月分を抽選。 ・場所：先端科学技術研究調査センター 1階ロビー ・時間：午前9時
バレー・バスケットコート	午前7時から午後10時まで	
テニスコート	午前7時から日没まで	
テニスコート（照明付き）	午前7時から午後9時まで	

テニス、ソフトボール等スポーツ用具類、バーベキューセットの貸出しも行っています。利用についての詳細は、学生課学生支援係に問い合わせてください。

4. 高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、書店、研修室等が設けられています。

日本語補講

NAIST 内で『ボランティア団体ネットワークいこま（代表者：山崎先生）』がボランティアで日本語補講を実施してくださっています。多くの留学生がこの日本語補講に参加し、日本語学習に力を入れています。先生方は皆さん親切でとても素晴らしい授業をしてくださっています。

日本で生活するにあたり、日本語能力はやはり不可欠です。皆さんがより快適に楽しく生活を送るためにもより多くの留学生に日本語補講に参加していただきたいと思っています。

補講日：毎週火曜日 18：00 ～ 20：30 毎週土曜日 10：00 ～ 12：30

参加費：無料

休講日：夏季休暇、冬季休暇、国民の休日など

参加を希望される方は留学生交流係へ問い合わせてください。日本語レベルによりクラス分けされていますので、みなさんの現時点での日本語のレベルもあわせて教えてください。こちらから、先生に連絡し先生から皆さんに詳しいお知らせが届くようになっています。

その他

1. 学生課窓口業務取扱時間

8：30～17：30（土、日、祝日、創立記念日、夏期一斉休業の期間及び12月29日～1月3日の期間を除く。）

上記時間外でも緊急の場合は、事務室入口から申し出てください。

2. 大学からの通知事項

本学学生への通知事項は、電子メールもしくは掲示により行いますが、個人あての通知事項は、主に電子メールで行います。諸手続の通知の確認を怠ったために、不利益が生じることがないように各自で充分注意してください。

3. 学生向け HP の開設【<https://ad-info.naist.jp/member/>】

本学ホームページ内に「在学生の皆様へ（学内専用）」を開設しています。お知らせ（新着情報）や、学務関係（履修・成績評価終了通知・時間割変更）、オンライン型英語学習システム（ALC NetAcademy）、就職関連情報など様々なコンテンツを用意しています。

4. 公共交通機関の遅延、学会の登壇発表、就職試験、忌引き、感染症など、やむを得ない理由による欠席のため単位修得に支障が出る場合には、担当教員に相談してください。

1 1 Campus Life



Tuition and payment

1. Tuition fee and due date (by automatic bank transfer)

Course	Tuition fee (*1)	Due date (*2)
Master's course	535,800 yen	Spring semester (April to September): Due May 27 (Tuesday), 2014
Doctoral course	(267,900 yen for a half-year term)	Autumn semester (October to March): Due November 27 (Thursday), 2014

*1: If the tuition fee is revised during your enrollment, the new tuition fee will be charged.

(You will be notified of the tuition fee for the semester by e-mail during April and October.)

*2: Payment (by automatic bank transfer) is due on May 27 and November 27 every year. If the due date falls on a non-business day of the financial institution, the payment will be transferred on the following business day. (Your account balance is checked at 3:00 pm on the business day preceding the due date.)

2. Payment

The tuition fee for a half-year term is automatically withdrawn from your bank account on the due dates of the spring and autumn semesters designated by NAIIST. (If you wish to pay the tuition fee for both semesters combined on the due date in May, please contact us by May 9 (Friday), 2013. If you have applied for tuition fee waiver, payment of the tuition fee will be postponed until the result of the application is announced. For details of automatic bank transfer procedures and other related matters, please inquire at the Funding Section of the Finance Division (extension: 6227).

Note that failure to pay the tuition fee for two consecutive semesters will result in expulsion from NAIIST.

Student ID Card

NAIIST students are issued a student ID card, which not only verifies your status as a NAIIST student but also serves as an electronic key. This key is needed for: entry to NAIIST's facilities before or after the normal service hours, namely between 7:00 pm and 7:30 am, and on Saturday, Sunday and national holidays; use of the automatic certificate issuing machine; and borrowing of books from the NAIIST Library. Therefore, you should carry your student ID card at all times while attending NAIIST. Your graduate school, year of enrollment, and student number are registered in the card, and card readers automatically scan this information to check whether you are eligible to enter specific facilities in NAIIST.

Precautions on handling your student ID card

- (1) You should keep your student ID card in a case and carry it at all times at NAIST.
- (2) You are not allowed to lend or assign your student ID card to anyone else.
- (3) If you lose your student ID card or your card has become unusable due to failure of the magnetic strip, etc., you should immediately report it to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.
If the card reader does not react properly upon inserting your student ID card to enter a certain building, call the Security Center on the first floor of the Administration Bureau building through the interphone, state your affiliation and name, and the key will be unlocked for you.
- (4) When your student ID card has expired or you are no longer a NAIST student due to withdrawal or for other reasons, return your student ID card to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.
- (5) Protecting your card:
 - Keep your student ID card away from strong magnetic fields or devices (e.g. NMR machines).
 - Do not leave your card in hot places (e.g. in a car during summer).
 - Do not fold your student ID card.

Student Personal Report

The information contained in the “Student Personal Report” (*Gakusei kojīn houkokusho*) submitted at the time of enrollment is used for contacting you in case of emergency. If any of the following registration details changes, please inform the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division without delay.

● Registration details

- Your address and telephone number (fixed and/or mobile) where you can be reached after enrollment in NAIST
- Information about your place of work (if you are a working student)
- Name of a contact person in case of emergency, person’s relationship with you, and his/her address and telephone number

● Where to report

Please report the change to the Educational Affairs Section of the Student Affairs Division.

Procedures and issuance of certificates

1. Procedures

When requested by NAIST, by means of a notice on the bulletin board, etc., you should perform the procedures as requested within the specified period. You should also perform the prescribed procedures when necessary for your own personal reasons. Please note that failure or delay in doing so could cause hinder you in many ways and become an inconvenience to other people.

Document to be submitted	When to submit	Contact office
Leave of absence request form (Kyugaku Negai)	When you are to take a leave of absence for three consecutive months or longer by illness, studying abroad, and so on. (If illness is the reason for the leave, a medical certificate should be attached.) * In principle, the form should be submitted at least one month in advance.	Educational Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)
Return from leave request form (Fukugaku Negai)	When you wish to return to NAIST before the period of the leave of absence is over. (For those who were absent due to illness, please attach a medical certificate.)	

Return from leave notice form (Fukugaku Todoke)	When you wish to return from leave during your scheduled leave of absence period.	
Withdrawal form (Taigaku Negai)	When you are to withdraw from NAIST * In principle, the form should be submitted at least one month in advance.	
Change of name form	When your name changes * A residence certificate or other document proving your change of name should also be submitted.	
Overseas Study Application	When you go studying abroad * In principle, the form should be submitted as soon as possible	
Overseas travel form	When you are to travel overseas (except when the travel is needed as part of the regular coursework at NAIST)	
Student ID card reissue request form	When you have lost your student ID card or your card has become unusable due to damage or dirt	
Plan after completion of course /job (informal employment offer) report form	When you graduate or leave school	Career Services Office (Extension: 5921)
Notice of Absence from Japan	When international students are to temporarily return to their home countries or depart from Japan. * Please submit "Notice of Absence from Japan" before leaving. ※The form is available at International Student Affairs Section for the document.	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
The forms to be submitted to the Student Affairs Division are available at its counter, or can be downloaded from the intranet and website for NAIST students at: https://ad-info.naist.jp/gakusei/shinsei.html		

●Notes on procedures for leave of absence or withdrawal

(1) Leave of absence

- You can apply for leave of absence if you are unable to attend school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons.
- The period of leave of absence is up to one year, however, you may apply for an extension of the period for another one year at the longest, if you have special reasons. To apply for an extension of the period of leave of absence, you are required to submit the leave of absence (extension) request form again, at least two weeks prior to the expiration of the initial period of leave of absence.
- Upon expiration of the period of leave of absence, you are automatically readmitted to NAIST. Please submit "Return from leave notice form."
- The period of leave of absence does not count toward the standard years of study and years of enrollment.
- Please also indicate when you expect to complete your course after returning to NAIST.
- Some certificates (including certificate of expected completion, certificate of health, and certificate of student travel discount) cannot be issued during the period of leave of absence.
- You cannot use the NAIST Library during the period of leave of absence.
- You do not have to pay tuition fees for the period of leave of absence.

(2) Withdrawal

- If you withdraw from NAIST after having been enrolled in the doctoral course for at least three years, provided your instructor confirms you have received his or her research guidance, you are treated as “having withdrawn from NAIST with the approval of your research instructor” in your personal record.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed.

(3) Common matters

- Permission for both leave of absence and withdrawal is conditioned on payment of the tuition fee.
- Tuition fees, once paid, cannot be reimbursed except in the following cases:
 - If leave of absence is permitted, the portion of the tuition fee for the period of leave of absence will be reimbursed.
 - If you paid the combined tuition fee for the spring and autumn semesters in April, and are permitted to withdraw from NAIST before the beginning of the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester will be reimbursed.
- The deadline for submitting the form is one month prior to the date you wish to take leave of absence or withdraw. If you fail to submit the form by the deadline, the date of permission will be in the following month.
- In principle, a request for leave of absence or withdrawal should be made on a semester by semester basis.

Leave of absence: The period should commence from April or October and end at the end of September or March, in principle.

Withdrawal: The date you wish to withdraw from NAIST should be the end of September or March.
- You should indicate the reason for the leave of absence or withdrawal in the form in detail; “for personal reasons” cannot be accepted.
 - Leave of absence: If you take leave of absence due to illness, a medical certificate should be attached. If the reason is “pressure of business,” indicate the name of your workplace.
- Note that you may be required to move from NAIST’s dormitory or take procedures to stop payment of scholarship.

2. Issuance of certificates**●Certificates that are automatically issued**

You can use the automatic certificate issuing machine to have the following certificates issued within the same day: certificate of enrollment, certificate of expected completion, certificate of academic record, certificate of completion, certificate of health and certificate of student travel discount. For conditions of issuance of these certificates, please refer to the following table.

Certificate	Conditions of issuance	Service hours and location of the automatic certificate issuing machine
Certificate of enrollment(Japanese/ English)	Not issued to non-regular students, including research fellows.	<p>Service hours: 7:30 am to 7:00 pm Monday to Friday (excluding national holidays and year-end holidays)</p> <p>Location: Entrance lobby of NAIST Library</p>
Certificate of expected completion(Japanese/ English)	Students should have been enrolled in the master's course for at least six months or be in the second year in the doctoral course to apply for this certificate.	
Certificate of completion of Master's course (Japanese/ English) Certificate of academic records of Master's course (Japanese/ English)	Only available to students who have processed to doctoral course examination	
Certificate of academic record (Japanese/ English)	The certificate of academic record is an official certificate issued in the name of the Dean of the Graduate School that does not include failed courses.	
Academic record (Japanese/ English)	The academic record is issued for students to check their academic performance including failed courses.	
Certificate of health(Japanese only)	The certificate is issued only to those who have completed all annual health checkups. Students admitted to NAIST from the autumn semester will be issued the certificate after taking the annual health checkup in the following year.	
Certificate of student travel discount (Japanese only)	<ul style="list-style-type: none"> • Up to 10 certificates are issued per student annually. • The certificate is valid for three months. (Not issued to non-regular students, including research fellows and students on leave of absence.)	

● Certificates issued over-the-counter

If you need certificates other than those issued by the automatic certificate issuing machine, apply at the Student Affairs Division using the prescribed application form. You should apply well in advance, as some certificates take time to issue.

Certificate	Conditions of issuance	Contact office
Certificate of completion Certificate of academic record (at the master's course of NAIST)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays). * Issued to those who have gone on to the doctoral course internally from the master's course at NAIST.	Educational Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5085)
Certificate of enrollment (in English)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	
Certificate of expected completion (in English)		

Certificate of academic record (in English)		
Certificate for Japanese Government Scholarship students	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate for international students (Ex. Certificate for Japanese Government Scholarship students)	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	International Student Affairs Section, Student Affairs Division (Extension: 5909, 5087)
Certificate of occupancy in student dormitory	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)
Certificate of Enrollment Personal Accident Insurance for Students Pursuing	Issued in the afternoon of the day following the application (except on Saturday, Sunday and national holidays).	Student Support Section, Student Affairs Division (Extension: 5920)

● Commuter certificate

(1) Student commuter pass

To buy a student commuter pass between your place of residence and NAIST, fill in your student number, name and address in a commuter pass application form (*Tsuugaku teiki joshaken hakko hikae*) distributed at the beginning of each academic year, and present the form together with a commuter pass purchase form and your student ID card to a train station with a commuter pass office. (If there is no more space on your commuter pass application form, please apply at the Student Affairs Division for an additional copy.)

The nearest Kintetsu stations designated by NAIST are Takanohara Station on the Kyoto Line, Gakuenmae Station on the Nara Line, and Gakken-Kita-Ikoma Station on the Keihanna Line.

(2) Student commuter passes for commuting to off-campus facilities

If you are going to work at off-campus facilities as part of your study at NAIST and need a student commuter pass for that purpose, you should apply at the Student Support Section of the Student Affairs Division to have a commuter certificate issued. The application should be submitted at least one month before starting work at the off-campus facilities (the certificate takes longer to issue because we must obtain approval from the railway company).

* Non-regular students, including research fellows and students on leave of absence, cannot purchase student commuter passes.

Scholarships of private organizations

Students will be informed of scholarship programs offered by private organizations whenever applications are invited.

Tuition waiver

NAIST offers a tuition fee waiver program, under which students selected from among applicants are exempt from payment of all or part of tuition fees provided that: the student has difficulty in paying tuition fees for financial reasons and is recognized for academic excellence; or the student has extreme difficulty in paying tuition fees because of the death of the person who would normally have paid the tuition fee within one year prior to his or her admission to NAIST or due to damage by wind, flood or other natural disaster to the student or the person who would normally have paid the tuition fee. For details about application procedures, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Study Abroad (Short-term study abroad program)

JASSO is providing the scholarship for qualified students under the student exchange agreement on a short-term basis within one year (Monthly stipend: ¥60,000~¥100,000) and also the scholarship for qualified students who study overseas to pursue a master or doctoral degree for over a year (Monthly stipend: ¥90,000 ~ ¥150,000 ~). Please access the website of JASSO homepage for details at <http://www.jasso.go.jp/>,

The information on other scholarships such as Government Scholarships or Private Scholarships will be notified by the International Student Affairs Section by e-mail.

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (Gakkensai) insures students enrolled in national, public, and private universities in Japan against unexpected physical injuries they may suffer while attending lectures, university events, extracurricular activities, taking a break in the campus, or traveling to and from university or off-campus facilities for research/educational purpose. At NAIST, all students are required to take out the Gakkensai insurance as part of enrollment procedures.

For more details about the Gakkensai insurance, please refer to the booklet.

Special insurance for contagious infection prevention has become optional. If you would like to apply for the insurance, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Course	Insurance premium	Insurance period
Master's course	1,750 yen	2 years
Doctoral course	2,600 yen	3 years

Optional Secondary Coverage

Personal Liability Insurance for Students is also offered in addition to Gakkensai. This optional coverage insures students against third-party liability for damage caused by the student to others or their property while attending lectures, university events, or traveling to and from university facilities, both on- and off-campus.

Two options are available to NAIST students: Plan A and Plan B. Plan A includes the coverage of Plan B, as well. Students are recommended to consider the Plan A insurance option. At NAIST, students are not obligated to be covered by any of these optional insurance plans. If you wish to take out a policy, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

If you are assigned to Collaborative Laboratories, please be sure to take out Plan A.

Option	Plan A	Plan B
	Liability insurance for students pursuing education and research	Liability insurance for students engaged in internship and teacher training
Coverage	Damage to others or their property caused by the student while attending lectures, university events and traveling to and from university facilities for these purposes (including the activities covered by Plan B)	Damage to others or their property caused by the student while attending internship and other official activities of the university and traveling to and from university facilities for these purposes
Amount of coverage	Up to 100 million yen per incident	
Insurance premium*	340 yen	210 yen

- Valid for a one-year period until March 31 for students admitted in April and until September 30 for students admitted in October.

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai

General Insurance for Students supplementary to Gakkensai provides comprehensive coverage against risks that may arise in campus life. At NAIST, students are not obligated to be covered by this insurance. If you wish to take out the insurance, please complete the necessary procedures by yourself. Brochures with details of this insurance are available at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

Student dormitories (Campus map 13)

Student dormitories are located within the campus of NAIST as shown below.

Outline of student dormitories

Type	Single-person occupancy	Couple occupancy	Family occupancy
Structure	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building	Five-story reinforced concrete building
No. of residential units	559	50	10
Floor area	13 m ²	36.98 – 41.45 m ²	51.56 m ²
Fixtures	Desk, bed, mini kitchen, toilet, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.	Desk, kitchen, toilet, bath, laundry machine, air conditioner, etc.
Common facilities	Bath, laundry, lounge, etc.	_____	_____
Dormitory fee	5,900 yen/month	11,900 yen/month	14,200 yen/month
Common service charge	4,100 yen/month	600 – 1,100 yen/month	1,100 yen/month
Utility charge	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant	To be paid by the occupant

Dwellings rented by NAIST for students

NAIST also rents apartment complexes (Nakatomi Daisan Danchi, Tomio Danchi and Heijo Daiichi Danchi) owned by the Urban Renaissance Agency, and rents them out to students upon application. If you are interested, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division for details.

Parking a car and bicycle

1. Commuting by car

You are not allowed to drive a car on the premises of NAIST. Please park your car in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. The parking fee must be paid in cash (300 yen per day) or using a parking pass. Please note that the first time you buy a parking pass, you should buy it at the Foundation for Nara Institute of Science and Technology (in Takayama Science Plaza) at the north of the public parking lot in the Takayama District. Anytime after that, you can buy the pass at the shop on the first floor of the University Union.

Parking pass fee (for students): 1,500 yen per month, 4,000 yen per three months, 7,500 yen per six months

2. Commuting by bicycle and motorcycle

You are not allowed to ride a bicycle or motorcycle on the premises of NAIST. Please park your bicycle or motorcycle in the public parking lot in the Takayama District, north of NAIST. Parking is free.

If you wish to use the parking lot, you must register at the Student Support Section of the Student Affairs Division. Parking of bicycles and motorcycles in the parking lot without registration constitutes illegal parking, and such bicycles and motorcycles will be removed.

National museums campus members

NAIST has joined the campus members system. The campus members system is a cooperative system between national museums and universities which aims to provide students with the opportunity and facilities to study culture and history through the sharing of the museums collections of cultural assets.

Holders of NAIST Student ID cards (both regular and non-regular students) are allowed free entry to the regular exhibitions including featured exhibitions at the Kyoto National Museum and Nara National Museum as many times as they wish. Or discount rate applies to the special exhibition. For more details about other benefits, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/campus-student/e02_06_j.html)

Student welfare facilities

1. University Union (Campus map 3)

University Union houses a restaurant, tea room, shop, and healthcare center for the welfare of students and faculty members of NAIST.

2. Social venue for researchers: Guesthouse Sentan (Campus map 7)

Students and faculty members of NAIST can use the facilities of Guesthouse Sentan as outlined below. For more details, please refer to the website of NAIST. (http://www.naist.jp/faculty-person/b02_06_j.html)

Facilities	Period of use/service hours	Where to apply
Accommodation	Check-in time: after 3:00 pm Check-out time: before 11:00 am	Welfare Section of the Personnel Division Extension: 5033 E-mail: fukuri@ad.naist.jp
Meeting room	Open from 9:00 am to 9:00 pm (Closed from December 29 to January 3)	
Fitness room	Open from 9:00 am to 10:00 pm	Application is not necessary.

3. Sports facilities

Students and faculty members of NAIST may use the following sports facilities for free.

Facilities	Open hours	Selection by drawing
Athletic field	7:00 am to sunset	Successful applicants are selected by ballot, which is held on the 20 th day of the preceding month (or the following weekday if the day falls on a Saturday, Sunday or national holiday). Venue of ballot: Lobby on the first floor, Research Center for Advanced Science and Technology Time of ballot: 9:00 am
Volleyball/basketball court	7:00 am to 10:00 pm	
Tennis court	7:00 am to sunset	
Tennis court (with lighting)	7:00 am to 9:00 pm	

You can also rent sporting goods for tennis, softball, etc. and barbecue equipment.

For details about using the sports facilities, please inquire at the Student Support Section of the Student Affairs Division.

4. Takayama Science Plaza

Takayama Science Plaza, operated by the Foundation for NAIST, adjoins NAIST, which houses a restaurant, bookstore, seminar rooms.

Japanese Language Classes

The Network Ikoma (representative : Ms.Yamazaki) provides Japanese classes on a volunteer basis at NAIST. Many students take these classes, working hard to improve their Japanese. The teachers are extremely kind, and the content of the classes they offer is excellent.

Proficiency in Japanese is key to life in Japan. We hope that many international students will take these classes so they may have a more comfortable and enjoyable stay in Japan.

Days : Tuesdays, 18 : 00 ~ 20 : 30 Saturdays, 10 : 00 ~ 12 : 30

Fees : Free of charge

Classes closed : Summer vacation, winter vacation, and national holidays.

Please contact the International Student Affairs Section if you are interested in participating.

Students are assigned to a class depending on their level, so please inform us of your current Japanese level.

We will contact the teachers, who provide students with further details on the classes.

Other matters

1. Counter hours of the Student Affairs Division

8:30 am – 5:30 pm (except Saturdays, Sundays, national holidays, foundation day of NAIST,

Office closing days for summer, and December 29 to January 3)

In case of emergency, you can enter the office, if open, even before or after the counter hours.

2. Notification from NAIST

NAIST notifies students of necessary information by e-mail or through the bulletin board. Private notices will usually be sent by e-mail. Please check incoming e-mails carefully: If you overlook important information sent by NAIST such as a request to submit an application, you may suffer a disadvantage.

3. Website for students [<https://ad-info.naist.jp/member/>]

You can access the website for students by clicking “Internal Only” on NAIST’s website. This website contains various useful information, including announcements (the latest updates), educational affairs (curriculum, notice to students for the academic records, changes of class schedule), an online English study system (ALC NetAcademy) and job information.

4. Consult Faculty members in charge of subjects if students cannot attend lectures and are possibility not to get credits due to unavoidable reasons including delayed public transportation, conference presentation, employment examinations, mourning, infectious disease and so on.

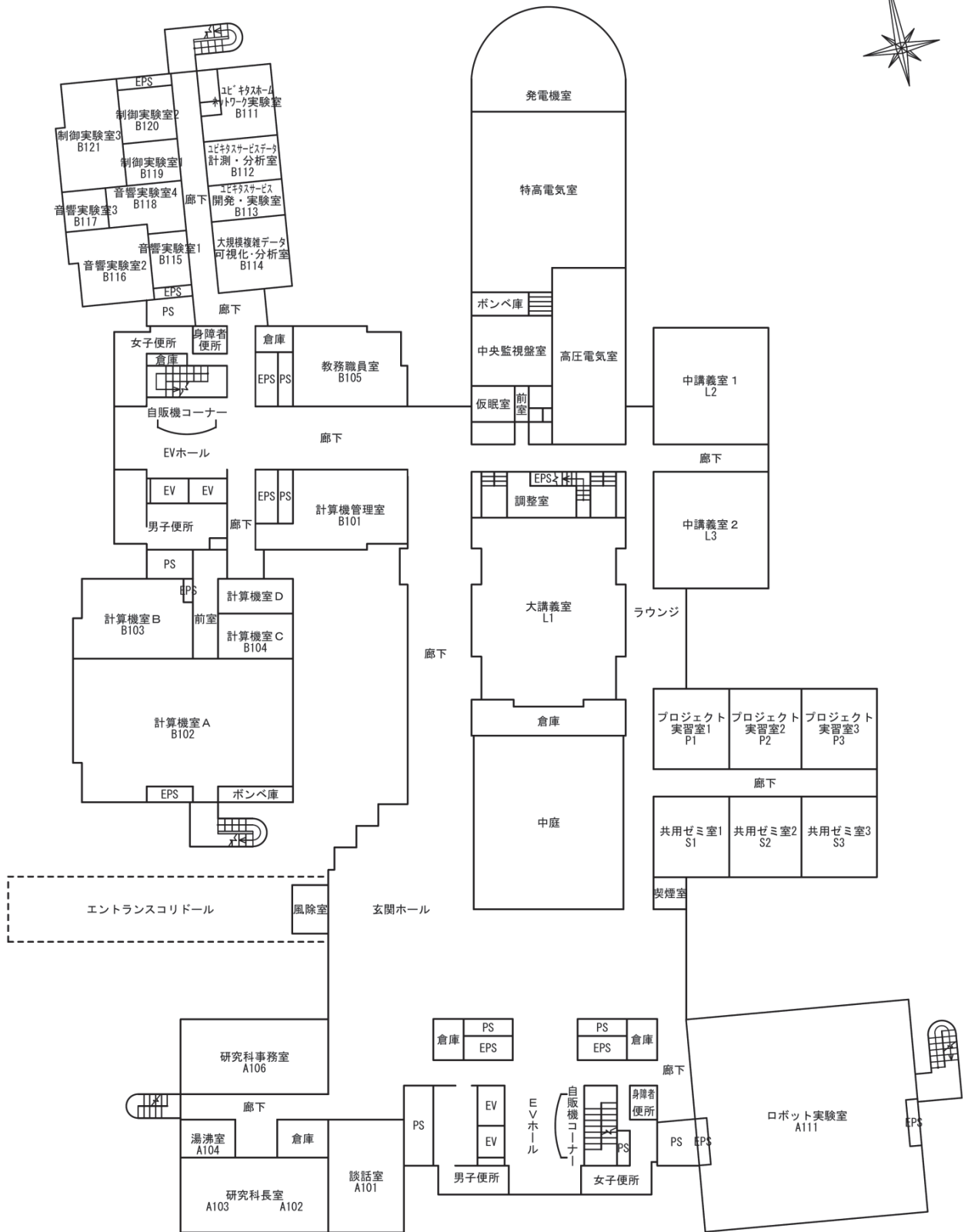
・キャンパスマップ



- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ①事務局 | ⑩動物飼育実験施設 |
| ②総合情報基盤センター・
附属図書館(電子図書館) | ⑪植物温室 |
| ③大学会館・保健管理センター | ⑫物質創成科学研究科・
物質科学教育研究センター |
| ④先端科学技術研究推進センター・
産官学連携推進本部 | ⑬学生宿舍・職員宿舍 |
| ⑤学際融合領域研究棟 2号館 | ⑭グリーンラボ |
| ⑥ミレニアムホール | ⑮正門 |
| ⑦ゲストハウスせんたん | ⑯事務局別館 |
| ⑧情報科学研究科 | ⑰バイオナノプロセス実験施設 |
| ⑨バイオサイエンス研究科・
遺伝子教育研究センター | ⑱学際融合領域研究棟 1号館 |

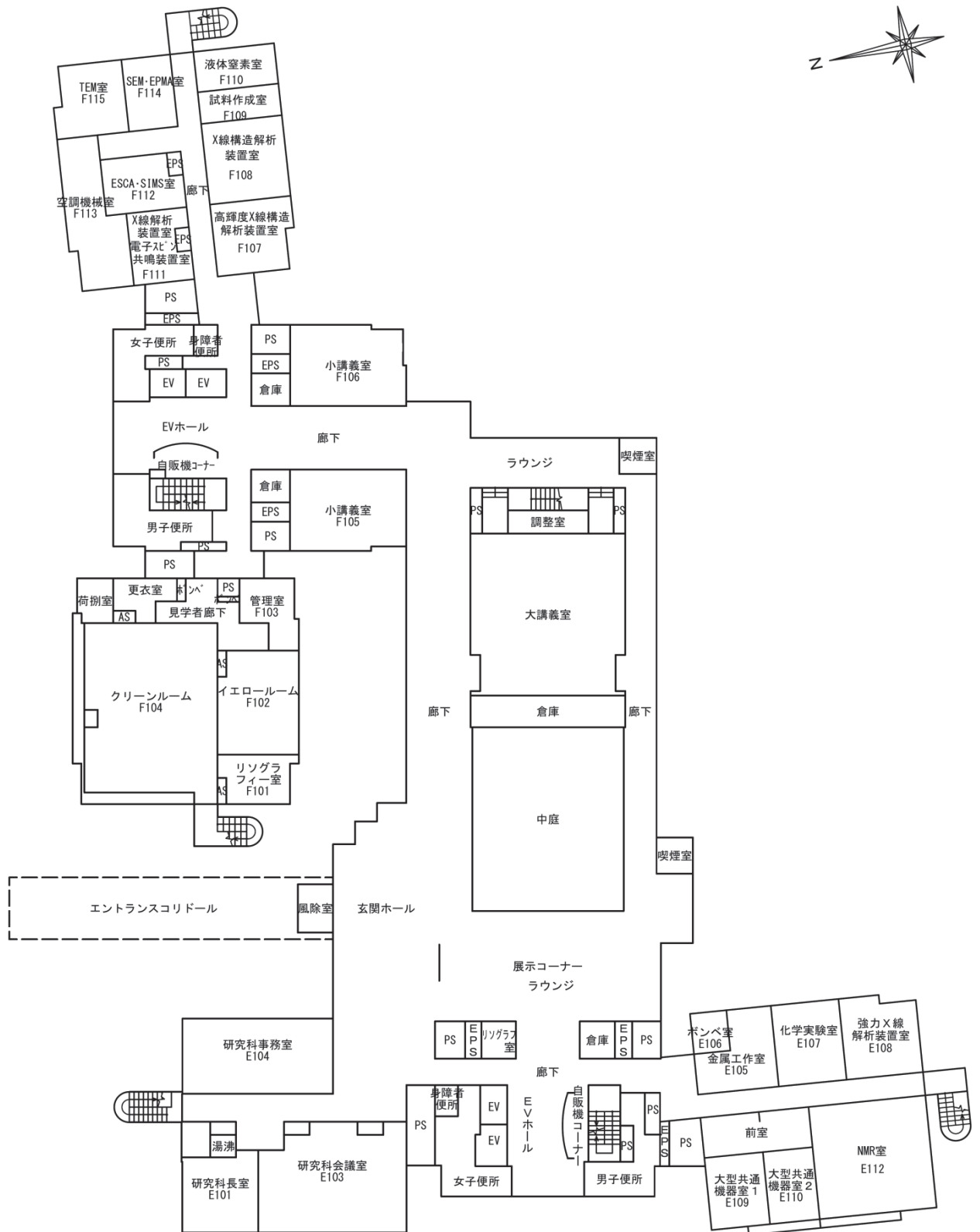
・ 情報科学研究科平面図

建物平面図



1 F 平面図

・物質創成科学研究科平面図



1 F 平面図

建物平面図

12 学則・諸規程

平成26年4月からの学則について

- ・現在掲載しております学則は、平成26年3月時点のものです。
- ・平成26年4月以降は、掲載しております3月時点のものから、変更がおこなわれます。
- ・詳細は、本学ホームページ (<http://reiki.naist.jp/kiyaku/pdf/02010.pdf>) を参照ください。

奈良先端科学技術大学院大学学則

平成16年4月1日
学則第 1 号学
則

目次

- 第1章 総則（第1条－第3条）
 - 第2章 教育研究組織等（第4条－第11条）
 - 第3章 学長、副学長及び研究科長等（第12条－第19条）
 - 第4章 教授会（第20条）
 - 第5章 入学定員及び収容定員（第21条）
 - 第6章 学年、学期及び休業日（第22条－第24条）
 - 第7章 入学（第25条－第30条）
 - 第8章 標準修業年限及び在学年限（第31条・第32条）
 - 第9章 教育方法等（第33条－第40条）
 - 第10章 修了の要件及び学位等（第41条－第46条）
 - 第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学（第47条－第53条）
 - 第12章 検定料、入学料及び授業料等（第54条－第65条）
 - 第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生及び研究生（第66条－第69条）
 - 第14章 賞罰及び除籍（第70条・第71条）
 - 第15章 学生宿舍（第72条）
 - 第16章 公開講座（第73条）
- 附則

第1章 総則

（目的）

第1条 奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）は、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩及び社会の発展に寄与することを目的とする。

（自己評価等）

- 第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価（以下「自己評価等」という。）を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 本学は、自己評価等の結果について、学外者による検証を行う。
 - 3 自己評価等の実施に関し必要な事項は、別に定める。

(情報の積極的な提供)

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとする。

第2章 教育研究組織等

(大学院)

第4条 本学に、大学院を置く。

(研究科、専攻)

第5条 大学院に、次に掲げる研究科及び専攻を置く。

研 究 科	専 攻
情報科学研究科	情報科学専攻
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻

(研究科の目的)

第6条 研究科ごとに、次に掲げる教育研究上の目的を定める。

(1) 情報科学研究科

コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システム及び生命現象や生命機能を解き明かすバイオ情報処理に関する技術などの分野で、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく体系的な教育プログラムの実施により、高度情報化社会を支える研究開発を担う研究者や高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(2) バイオサイエンス研究科

生命現象の基本原則と生物の多様性を分子・細胞・個体レベルで解明し、また、その成果を人類社会の諸問題の解決に活用するための最先端の研究を推進するとともに、バイオサイエンスが関わる広範な領域をカバーした体系的な教育を行い、バイオサイエンスの深化とその活用を担う、創造的かつ先端的な研究者及び高度な専門性を持った技術者を養成することを目的とする。

(3) 物質創成科学研究科

物質の構造と機能を分子・原子・電子レベ

ルまでに立ち返って解明し、物質科学の創造的な研究を推進するとともに、物質科学の広範な領域をカバーした体系的な教育を通じて、人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を担う人材及び技術革新の場や幅広い科学技術分野で活躍する人材を養成することを目的とする。

(教員組織)

第7条 研究科に、教員組織を置く。

2 教員組織に関し必要な事項は、別に定める。

(課程及び課程の目的)

第8条 研究科の課程は、博士課程とする。

2 博士課程は、これを前期の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し、博士前期課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。

3 博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

4 博士後期課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(総合情報基盤センター)

第9条 本学に、総合情報基盤センターを置く。

2 総合情報基盤センターに、附属図書館を置く。

3 総合情報基盤センターに関し必要な事項は、別に定める。

(先端科学技術研究推進センター)

第9条の2 本学に、先端科学技術研究推進センターを置く。

2 先端科学技術研究推進センターに関し必要な事項は、別に定める。

(学内共同教育研究施設)

第10条 本学に、次に掲げる学内共同教育研究施設を置く。

(1) 遺伝子教育研究センター

(2) 物質科学教育研究センター

2 学内共同教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(保健管理センター)

第11条 本学に、保健管理センターを置く。

2 保健管理センターに関し必要な事項は、別に定める。

第3章 学長、副学長及び研究科長等

(構成員)

第12条 本学の構成員は、次のとおりとする。

学長

副学長

研究科長

副研究科長

総合情報基盤センター長

先端科学技術研究推進センター長

学内共同教育研究施設の長

遺伝子教育研究センター長

物質科学教育研究センター長

保健管理センター所長

教員

一般職員

その他必要な職員

2 教員は、教授、准教授、講師、助教及び助手とする。

3 一般職員は、事務職員、技術職員、看護職員及び教務職員とする。

(学長)

第13条 学長は、本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第14条 副学長は、学長を補佐する。

(研究科長)

第15条 研究科長は、当該研究科及び研究科に係る学内共同教育研究施設の運営をつかさどる。

(副研究科長)

第16条 副研究科長は、当該研究科長を補佐する。

(総合情報基盤センター長)

第17条 総合情報基盤センター長は、総合情報基盤センターの業務をつかさどる。

(先端科学技術研究推進センター長)

第17条の2 先端科学技術研究推進センター長は、先端科学技術研究推進センターの業務をつかさどる。

(学内共同教育研究施設の長)

第18条 各学内共同教育研究施設の長は、当該学内共同教育研究施設の業務をつかさどる。

(保健管理センター所長)

第19条 保健管理センター所長は、保健管理センターの業務をつかさどる。

第4章 教授会

(教授会)

第20条 研究科に、教授会を置く。

2 教授会は、当該研究科に係る次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教育課程の編成に関する事項
- (2) 学生の入学に関する事項
- (3) 学生の休学に関する事項
- (4) 学生の留学に関する事項
- (5) 学生の転学に関する事項
- (6) 学生の退学に関する事項
- (7) 学位の認定に関する事項
- (8) 学生の成績に関する事項
- (9) 学生団体、学生活動及び学生生活に関する事項
- (10) 学生の賞罰に関する事項
- (11) 研究の体制に関する事項
- (12) 研究科の教育及び研究について密接に関係する学内共同教育研究施設の教育及び研究に関する事項
- (13) 自己点検等に関する事項
- (14) その他教育及び研究に関する事項

3 教授会は、当該研究科の教育又は研究に携わる専任の教授及び准教授で組織する。ただし、研究科長は、必要に応じて、その他教育又は研究に携わる教員を教授会の構成員とすることができる。

4 前項にかかわらず、外国出張中の者、休職中の者その他の者を構成員から除くことができる。

5 教授会に議長を置き、研究科長をもって充てる。

6 議長は、教授会を主宰する。

7 議長に事故があるときは、副研究科長が議長の職務を代行する。

- 8 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。
- 9 教授会の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 研究科長が必要と認めたときは、構成員以外の者を教授会に出席させることができる。

第5章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第21条 入学定員及び収容定員は、別表のとおりとする。

第6章 学年、学期及び休業日

(学年)

第22条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学した者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第23条 前条の学年を、次の学期に分ける。

- (1) 春学期 4月1日から9月30日まで
- (2) 秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第24条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日
 - (3) 創立記念日（10月1日）
 - (4) 春季、夏季及び冬季の休業日
- 2 前項第4号の休業日については、別に定める。
 - 3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。
 - 4 第1項の規定にかかわらず、研究科長が教育上の必要があると認めるときは、休業日に授業を行うことができる。

第7章 入学

(入学資格)

第25条 博士前期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条第1項に定める大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 次のいずれかに該当し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと、本学において認めた者
 - ア 大学に3年以上在学した者
 - イ 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - エ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したことがある者であつて、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- 2 博士後期課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学

校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 学校教育法施行規則第156条第6号に定める文部科学大臣の指定した者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
- 3 第1項第10号及び前項第8号に定める入学資格審査の実施方法等については、各研究科において、別に定める。

（入学の時期）

第26条 入学の時期は、学期の始めとする。

（入学の出願）

第27条 本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の書類等を添えて、学長に願出しなければならない。

（入学者の選抜）

第28条 本学に入学を志願する者については、別に定めるところにより選抜を行う。

（入学手続き及び入学許可）

第29条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受け、入学しようとする者は、所定の書類等を提出しなければならない。

2 学長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。

（博士後期課程への進学）

第30条 本学の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学を志願する者については、当該研究科の教授会が選考の上、進学を許可する。

第8章 標準修業年限及び在学年限

(標準修業年限)

第31条 博士前期課程の標準修業年限は2年、博士後期課程の標準修業年限は3年とする。

(在学年限)

第32条 博士前期課程の学生は4年、博士後期課程の学生は6年を超えて在学することができない。

第9章 教育方法等

(教育方法)

第33条 研究科における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行う。

(授業科目及びその単位数並びに履修方法等)

第34条 前条の授業科目及びその単位数並びに履修方法等は、当該研究科において別に定める。

(単位の計算方法)

第35条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験及び実習については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 各研究科において、一の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して当該研究科が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、研究論文及び課題研究の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(成績評価基準等の明示等)

第35条の2 各研究科は、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第35条の3 本学は、当該研究科の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

2 教育内容等の改善のための組織的な研修等に関し必要な事項は、別に定める。

(単位の授与)

第36条 授業科目を履修し、その試験又は研究報告に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の研究科の授業科目の履修等)

第37条 学生が他の研究科の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科において定める範囲内で第35条に規定する単位に充当することができる。

3 他の研究科の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第38条 学生が他の大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院と協議の上、当該他の大学院の授業科目を履修することを認めることがある。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、本学において修得したものとみなす。ただし、本学において修得したものとみなすことができる単位数は、10単位を超えないものとする。

3 第1項の規定により授業科目を履修した期間は、在学期間に算入する。

4 前3項の規定は、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合について準用する。

5 他の大学院における授業科目の履修等に関し必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位の認定)

第39条 学生が本学に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条に定める科目等履修生として修得した単位を含む。)を、当該研究科の教授会において教育上有益であると認めると

- きは、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定により本学において修得したものとみなすことができる単位数は、本学において修得したものの以外については、10単位を超えないものとする。
 - 3 入学前の既修得単位の認定に関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学院等における研究指導等)

- 第40条 学生が、他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることが教育上有益であると当該研究科の教授会において認めるときは、あらかじめ、当該他の大学院又は研究所等と協議の上、当該他の大学院又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることがある。ただし、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。
- 2 前項の規定により他の大学院又は研究所等において受けた研究指導は、本学の研究科において受けた研究指導とみなすことができる。
 - 3 第1項の規定により研究指導を受けた期間は、在学期間に算入する。
 - 4 他の大学院等における研究指導等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 修了の要件及び学位等

(博士前期課程の修了の要件)

- 第41条 博士前期課程の修了の要件は、博士前期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前項の場合において、当該研究科の教授会において適当と認められる場合には、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

(博士後期課程の修了の要件)

- 第42条 博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に標準修業年限以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者及び他の大学院の修士課程又は博士前期課程を1年以上2年未満で修了した者の博士後期課程の修了の要件は、前項ただし書中「1年」とあるのは「3年から博士前期課程又は修士課程における在学期間を減じた期間」と読

み替えて、同項の規定を適用する。

- 3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則第156条の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士後期課程に入学した場合の博士後期課程の修了の要件は、博士後期課程に3年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(修了の認定)

第43条 修了の認定は、当該研究科の教授会が行う。

(学位)

- 第44条 研究科の課程を修了した者には、修了した課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。
- 2 前項に定めるもののほか、博士の学位は、本学に博士論文を提出して、その審査に合格し、かつ、本学の博士後期課程を修了した者と同等以上の学力を有することを確認された者にも授与することができる。
 - 3 学位に関し必要な事項は、別に定める。

(修了の時期)

- 第45条 修了の時期は、学期の終りとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、学長が必要と認めた場合は、学期の途中において修了させることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

- 第46条 教育職員の免許状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 2 本学において、授与資格を取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科等は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
情報科学研究科	情報科学専攻	高等学校教諭専修免許状	情報
バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修	理科

		免許状	
物質創成科学研究科	物質創成科学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	理科 理科

第11章 休学、留学、再入学、転入学、転学、転研究科及び退学 (休学)

第47条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き3月以上修学できない者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を得て、休学することができる。

- 2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
- 3 休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て、復学することができる。
- 4 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
- 5 休学期間は、第31条に規定する標準修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入しない。
- 6 休学期間は、博士前期課程及び博士後期課程ごとに、それぞれ通算して2年を超えることができない。

(留学)

第48条 外国の大学院又は研究所等に留学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 留学期間中における授業科目の履修等の取扱いについては、第38条及び第40条の規定を準用する。

(再入学)

第49条 本学を退学した者又は除籍された者で、当該研究科に再入学を志願する者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、学長が再入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

(転入学)

第50条 他の大学院に在学する者又は外国の大学院に在学する者で、本学に転入学を志願する者がある場合は、本学の教育研究に支障がないときに限り、

在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、学長が転入学を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。
- 3 前2項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学する者の場合について準用する。

（転学）

第51条 他の大学院又は外国の大学院に転学を志願する者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。

（転研究科）

第52条 転研究科を志願する者がある場合は、転研究科先の教育研究に支障がないときに限り、在籍を希望する研究科の教授会の選考の上、当該研究科長が転研究科を許可することがある。

- 2 前項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科の教授会において行う。

（退学）

第53条 退学しようとする者は、当該研究科の教授会の審議を経て、学長の許可を受けなければならない。

第12章 検定料、入学料及び授業料等

（検定料、入学料及び授業料の額）

第54条 検定料、入学料及び授業料の額は、次の表のとおりとする。

検定料	入学料	授業料（年額）
30,000円	282,000円	535,800円

（検定料の納付）

第55条 入学、再入学及び転入学を志願する者は、入学願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項（昭和29年3月31日文部大臣裁定。以下「実施要項」という。）第4条の推薦による入学

志望者は、検定料の納付を要しない。

(入学料の納付)

第56条 入学、再入学及び転入学しようとする者は、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、国費外国人留学生（実施要項第2条に定めるものをいう。以下同じ。）は、入学料の納付を要しない。

(授業料の納付)

第57条 授業料は、春学期（4月から9月まで）及び秋学期（10月から翌年3月まで）の2期に分けて、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。

2 納付の時期は、第63条の規定により授業料の徴収猶予を許可された場合を除き、5月及び11月とする。

3 前2項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、春学期の授業料を徴収する時に、当該年度の秋学期に係る授業料を併せて徴収するものとする。

4 入学年度の春学期又は春学期及び秋学期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可する時に徴収するものとする。

5 第1項の規定にかかわらず、国費外国人留学生は、授業料の納付を要しない。

(復学等の場合における授業料の額及び徴収方法)

第58条 春学期又は秋学期の中途において復学、転入学又は再入学（以下「復学等」という。）をした者から春学期又は秋学期において徴収する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額（以下「月額」という。）に復学等当月から次の徴収の時期前までの月数を乗じて得た額とし、復学等当月に徴収するものとする。

(学年の途中で修了する場合における授業料の額)

第59条 特別の事情により、学年の途中で修了する者から徴収する授業料の額は、月額に在学する月数を乗じて得た額とする。

(休学する場合における授業料の額)

第60条 休学期間の授業料は、徴収しない。

2 徴収しない授業料の額は、月額に休学当月の翌月から復学当月の前月までの月数を乗じて得た額とする。

(退学等の場合における授業料の額)

第61条 春学期又は秋学期の中途において退学し、転学し、除籍され、又は

退学を命じられた者の授業料は、当該期分を徴収する。

(入学料及び授業料の免除等)

第62条 入学料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第63条 授業料の全額若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 経済的理由によって、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者又はその他やむを得ない事情があると認められる者
- (2) 学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れていると認められる者
- (3) その他学長が必要と認める者

第64条 入学料及び授業料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(納付済みの検定料、入学料及び授業料)

第65条 納付済みの検定料、入学料及び授業料は返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合は、授業料を返還する。

- (1) 第57条第3項の規定により春学期及び秋学期に係る授業料を併せて納付した者が、秋学期に係る授業料の納付期限前に退学した場合 秋学期に係る授業料相当額
- (2) 第57条第4項の規定により入学を許可する時に授業料を納付した者が、入学する月の前月の末日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額
- (3) 第57条に基づき授業料を納付した者が、特別の事情により、学年の途中で修了する場合 当該者が支払った授業料から、月額に在学する月数を乗じた額を減じて得た授業料相当額
- (4) 授業料を納付している者が休学する場合 第60条第2項に該当する授業料相当額

第13章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生及び研究生
(特別聴講学生)

第66条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、研究科の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定は、我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの及び国際連合大学の場合について準用する。
- 3 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別研究学生)

- 第67条 教育上有益と認めるときは、他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、当該他の大学院又は外国の大学院に在学中の者を特別研究学生として入学を許可し、研究科の研究指導を受けさせることができる。
- 2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

- 第68条 本学の学生以外の者で研究科の授業科目中1科目又は複数科目を選択し履修しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障がないと認めるときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、科目等履修生として入学を許可し、単位を与えることができる。
- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

- 第69条 研究科において特定事項について研究しようとする者がある場合は、当該研究科の教育研究に支障のないときに限り、当該研究科の教授会の選考の上、研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

第14章 賞罰及び除籍

(賞罰)

- 第70条 学長は、表彰に価する行為を行った者があるときは、表彰することができる。
- 2 学長は、本学の規則に違反し又は本学の教育研究活動を著しく阻害する行為を行った者があるときは、当該研究科の教授会の審議に基づき、懲戒することができる。
 - 3 前項に規定する懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

(除籍)

- 第71条 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。
- (1) 在学期間が第32条に規定する在学年限を超えた者
 - (2) 休学期間が第47条第4項に規定する期間を超えた者
 - (3) 入学料の免除を許可されなかった者及び一部の免除を許可された者並びに徴収を猶予された者又は免除の許可を取り消された者で、その納付すべ

- き入学科を所定の期日までに納付しなかったもの
 (4) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しなかった者

第15章 学生宿舎

(学生宿舎)

第72条 本学に、学生宿舎を置く。

2 学生宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

第73条 本学に、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年3月31日現在において本学に在学している者（以下この項で「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後において在学者の属する年次に再入学及び転入学する者については、旧奈良先端科学技術大学院大学学則は、この学則の施行後も、なおその効力を有する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成17年4月21日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成17年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月17日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年1月24日から施行し、この学則による改正後の奈良先端科学技術大学院大学学則の規定は、平成19年12月26日から適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 情報科学研究科の情報処理学専攻、情報システム学専攻及び情報生命科学専攻並びにバイオサイエンス研究科の細胞生物学専攻及び分子生物学専攻は、改正後の第5条の規定にかかわらず、平成23年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
(平成23年度及び平成24年度の収容定員)
- 3 第21条の規定にかかわらず、平成23年度及び平成24年度の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	研究科	専攻	入学定員		収容定員
			博士前期課程	博士後期課程	
平成23年度	情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	175人
		情報処理学専攻			96人
		情報システム学専攻			77人
		情報生命科学専攻			59人
		計	135人	40人	407人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻	125人	37人	162人
細胞生物学専攻				81人	
分子生物学専攻				101人	
	計	125人	37人	344人	

平成24年度	情報科学研究科	情報科学専攻 情報処理学専攻 情報システム学専攻	135人	40人	350人 18人 14人
		計	135人	40人	393人
	バイオサイエンス研究科	バイオサイエンス専攻 細胞生物学専攻 分子生物学専攻	125人	37人	324人 15人 19人
		計	125人	37人	358人

(研究科において所要資格を取得できる教育職員の免許状の種類に関する経過措置)

- 4 附則第2項の専攻において取得できる教育職員の免許状の種類及び免許教科は、改正後の第46条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

別表（第21条関係）

研究科	専攻	入学定員		収容定員
		博士前期 課程	博士後期 課程	
情報科学研究科	情報科学専攻	135人	40人	390人
バイオサイエンス 研究科	バイオサイエンス専 攻	125人	37人	361人
物質創成科学研究 科	物質創成科学専攻	90人	30人	270人
合 計		350人	107人	1,021人

Regulations of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004
Regulations No. 1

Table of Contents

- I. General Provisions (Articles 1 to 3)
- II. Educational and Research Organization (Articles 4 to 11)
- III. President, Vice President, Deans, etc. (Articles 12 to 19)
- IV. Faculty Council (Article 20)
- V. Admission Capacity and Enrollment Capacity (Article 21)
- VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days (Articles 22 to 24)
- VII. Admission (Articles 25 to 30)
- VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment (Articles 31 to 32)
- IX. Education at Graduate School (Articles 33 to 40)
- X. Course and Degree Requirements (Articles 41 to 46)
- XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal (Articles 47 to 53)
- XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees (Articles 54 to 65)
- XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students and Research Students (Articles 66 to 69)
- XIV. Rewards, Punishments and Expulsion (Articles 70 to 71)
- XV. Student Dormitories (Article 72)
- XVI. Open Lectures (Article 73)

Supplementary Provisions

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) aims to promote cutting-edge research activities and train high-caliber personnel through advanced education based on the results of such research activities, thereby contributing to the advancement of science and technology and prosperity of society.

Article 2 (Self-assessment)

1. NAIST shall inspect and assess educational and research activities conducted internally (“Self-assessment”) and make the results of the Self-assessment publicly available, with a view to raising the standard of internal education and research and achieving its purpose and social mission described in the foregoing article.
2. NAIST shall have the results of the Self-assessment examined by third party reviewers.
3. Matters concerning implementation of the Self-assessment shall be provided for separately.

Article 3 (Active provision of information)

NAIST shall actively provide information on its educational and research activities through publications or other suitable means.

II. Educational and Research Organization

Article 4 (University with graduate school curriculum)

NAIST is a university with graduate school curriculum only.

Article 5 (Graduate School and department)

The Graduate Schools of NAIST have the graduate schools and departments shown in the following table.

Graduate School	Department
Information Science	Information Science
Biological Sciences	Biological Sciences
Materials Science	Materials Science

Article 6 (Objectives of Graduate Schools)

Respective Graduate Schools shall have the following objectives concerning educational and research activities.

(1) Graduate School of Information Science

Promotes advanced research on information science, offers systematic education programs covering diverse fields related to information science (including information processing technology for assisting senses and judgments, technology for building large-scale information systems, technology for building and operating reliable information networks, and extensive interdisciplinary research involving information science and life science), and thereby produces researchers capable of undertaking R&D in the future and engineers with advanced expertise.

(2) Graduate School of Biological Sciences

Promotes state-of-the-art research for elucidating the basic principles of life phenomena and

biological diversity on molecular, cellular, and individual levels, and for utilizing the results to resolve problems faced by the human society, offers systematic education programs covering diverse fields related to biological sciences, and thereby produces creative and leading-edge researchers and engineers with advanced expertise capable of promoting and utilizing biological sciences

(3) Graduate School of Materials Science

Elucidates structures and functions of materials on molecular, atomic, and electron levels, promotes creative research on materials science, and offers systematic education programs covering diverse fields related to materials science, and thereby produces human resources (i) who are keenly interested in the problems faced by human society and the needs of industrial circles and capable of undertaking creative and advanced research in materials science and interdisciplinary domains, and (ii) who assume active roles in fields of technological innovation and diverse sciences and technologies

Article 7 (Chairs)

1. The Graduate Schools have Chairs.
2. The Chairs of the Graduate School consist of basic, guest, endowed, collaborative, and educational collaborative chairs.
3. Matters relating to the Chairs shall be provided for separately.

Article 8 (Courses and their purposes)

1. The Graduate Schools of NAIST have doctoral courses.
2. Each of the doctoral courses consists of a former course (“Master’s Course”) and a latter course (“Doctoral Course”).
3. The Master’s Course aims to equip students with profound academic knowledge based on broader perspectives, and help students develop the ability to conduct advanced research in their fields of specialty or engage in professions that require highly specialized skills.
4. The Doctoral Course aims to help students develop the ability to conduct advanced research activities on their own, or research skills of the highest level necessary for highly sophisticated professions, and to foster profound academic knowledge indispensable for such research activities and professions.

Article 9 (NAIST Library)

1. NAIST has a library.
2. Matters relating to the library shall be provided for separately.

Article 10 (Common educational and research institutions)

1. NAIST has the following common educational and research institutions:
 - (1) Information Technology Center

(2) Research and Education Center for Genetic Information

(3) Research and Education Center for Materials Science

(4) Research Center for Advanced Science and Technology

2. Matters relating to the common educational and research institutions shall be provided for separately.

Article 11 (Health Care Center)

1. NAIST has a Health Care Center.

2. Matters relating to the Health Care Center shall be provided for separately.

III. President, Vice President, Deans, etc.

Article 12 (Organization)

1. The organization of NAIST consists of the following members:

President

Vice President

Deans of respective Graduate Schools

Vice Deans of respective Graduate Schools

Director of NAIST Library

Directors of the common educational and research institutions

Director of Information Technology Center

Director of Research and Education Center for Genetic Information

Director of Research and Education Center for Materials Science

Director of Research Center for Advanced Science and Technology

Director of Health Care Center

Faculty members

General staff members

Other staff members

2. The faculty members of NAIST consist of professors, associate professors, lecturers, assistant professors, and research associates.

3. General staff members of NAIST consist of administrative staff, technical staff, nurses and academic staff.

Article 13 (President)

The President shall be responsible for management of internal affairs at NAIST and supervision of all faculty and staff members thereof.

Article 14 (Vice President)

The Vice President shall be responsible for supporting the President.

Article 15 (Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Deans shall be responsible for the administration of his or her Graduate School and the common educational and research institution associated therewith.

Article 16 (Vice Deans of respective Graduate Schools)

Each of the Vice Deans shall be responsible for supporting the Dean of his or her Graduate School.

Article 17 (Director of NAIST Library)

The Director of the NAIST Library shall be responsible for administration of the Library.

Article 18 (Directors of the common educational and research institutions)

Directors of the common educational and research institutions shall be responsible for affairs at the respective common educational and research institutions.

Article 19 (Director of Health Care Center)

The Director of the Health Care Center shall be responsible for its administration.

IV. Faculty Council

Article 20 (Faculty Council)

1. Each of the Graduate Schools has a Faculty Council.
2. The Faculty Council of each Graduate School shall be responsible for discussing matters relating to:
 - (1) Arrangement of curriculum
 - (2) Admission of students
 - (3) Students taking a leave of absence
 - (4) Students studying abroad
 - (5) Students transferring to another school
 - (6) Students withdrawing from studies
 - (7) Awarding of degrees
 - (8) Academic performance of students
 - (9) Students' groups, activities, and campus life
 - (10) Rewards and punishments to students
 - (11) Research systems
 - (12) Research and educational programs of the common educational and research institutions that are closely associated with the research and educational purposes of the relevant Graduate School
 - (13) Self-inspection
 - (14) Other educational and research issues

3. Each of the Faculty Councils shall consist of full-time professors and associate professors engaged in educational or research activities of the relevant Graduate School. However, the Dean of the Graduate School may invite faculty members involved in educational or research activities of other Graduate Schools to join its Faculty Council if necessary.
4. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, members of the Faculty Council who are on an official trip abroad, on leave of absence or absent for other reasons may be removed from the Faculty Council.
5. The Dean of each of the Graduate Schools shall serve as chairman of the respective Faculty Council.
6. The Chairman of each of the Faculty Councils shall preside over the council's meetings.
7. In case the Chairman has become unable to serve his or her role, the Vice Dean shall act as the chairman on his or her behalf.
8. For the meetings and resolutions of the Faculty Councils to be valid, a majority of all the members thereof shall be present.
9. Resolutions at Faculty Council meetings shall be passed with assenting votes of a majority of the faculty members present at the meeting. In case of a tied vote, the chairman shall cast the deciding vote.
10. The Dean may invite individuals who are not members of the Faculty Council to attend the council's meeting if he deems it necessary to do so.

V. Admission Capacity and Enrollment Capacity

Article 21 (Admission capacity and enrollment capacity)

The admission capacity and enrollment capacity of each of the Graduate Schools of NAIST shall be as shown in the attached Schedule.

VI. Academic Year, Semesters, and Closed Days

Article 22 (Academic year)

1. At NAIST, the academic year shall commence on April 1 and end on March 31 of the following year.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the academic year shall commence on October 1 and end on September 30 of the following year for students who are admitted to NAIST in the autumn semester.

Article 23 (Semesters)

The academic year specified in the foregoing article shall consist of:

- (1) Spring semester (from April 1 to September 30), and

- (2) Autumn semester (from October 1 to March 31 of the following year).

Article 24 (Closed days)

1. NAIST shall be closed on the following days:

- (1) Sunday and Saturday
- (2) Days designated as national holidays under the Public Holiday Law (1948 Law No. 178)
- (3) Anniversary of the founding of NAIST (October 1)
- (4) Spring, summer and winter holidays

2. Details about the spring, summer and winter holidays shown in the foregoing subsection (4) shall be provided for separately.

3. The President may designate a temporarily closed day if he deems it necessary to do so.

4. Regardless of Article 1, classes may be held on holidays when deemed necessary for educational purposes by the dean.

VII. Admission

Article 25 (Applicant qualifications)

1. Admission to the Master's Course is granted to individuals who:

(1) Have graduated from university stipulated in Article 83-1 of the School Education Law (1947 Law No. 26)

(2) Have been awarded a bachelor's degree pursuant to Article 104-4 of the School Education Law

(3) Have completed a 16-year course of school education abroad

(4) Have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 16-year course of school education of the foreign country where the school is located

(5) Have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 16-year course of school education in the country

(6) Have completed the specialized course offered by a special training school that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or after the day specified by the Minister, provided that the said course shall be a four-year or longer course, and meet all the other criteria set forth by the Minister

(7) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 155-1 (6), of the Enforcement Regulations for the School Education Law (1947 Ordinance of the Ministry of Education No. 11)

(8) Fall into any of the following categories and are recognized by NAIST as having earned the necessary credits with outstanding academic grades:

(a) Individuals who have been enrolled in university for at least three years

(b) Individuals who have completed a 15-year course of school education abroad

(c) Individuals who have taken a correspondence course in Japan offered by a foreign school, thereby completing a 15-year course of school education of the foreign country where the school is located

(d) Individuals who have completed a course of an educational institution that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign university in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, provided that completion of the said course shall constitute completion of a 15-year course of school education in the country

(9) Have been enrolled in graduate school before pursuant to Article 102-2 of the School Education Law and are recognized by NAIST as having adequate academic ability to be educated at the Graduate School thereof

(10) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate and are at least 22 years of age

2. Admission to the Doctoral Course is granted to individuals who:

(1) Have been awarded a master's degree or a professional degree specified in Article 5-2 of the Rules for Degrees (1953 Ordinance of the Ministry of Education No. 9) pursuant to Article 104-1 of the School Education Law ("Professional Degree")

(2) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree abroad

(3) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a correspondence course in Japan offered by a foreign school

(4) Have been awarded a master's degree or other degree equivalent to a Professional Degree by completing a course of an educational institution in Japan that is recognized as offering a regular curriculum of a foreign graduate school in compliance with the school education system of the country, and that is designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(5) Have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, in accordance with Article 156-1 (4), of the Enforcement Regulations for the School Education Law

(6) Have been recognized by NAIST through an individual entrance screening as having academic ability equivalent to or greater than that of a master's degree or Professional Degree holder and are at least 24 years of age

3. Methods for implementing entrance screening, etc., set forth in Paragraph 1 (10) and

Paragraph 2 (6), hereof shall be stipulated separately by respective Graduate Schools.

Article 26 (Timing of admission)

Students shall be admitted to NAIIST at the beginning of each semester.

Article 27 (Application for admission)

To apply for admission to NAIIST, an admission application form shall be submitted together with designated documents to the President of NAIIST.

Article 28 (Screening)

Applicants for admission to NAIIST shall be screened by the procedures set forth separately.

Article 29 (Enrollment procedures and admission)

1. Applicants who have received notification of acceptance as a result of the screening specified in the foregoing article shall submit the designated documents to be admitted to NAIIST.
2. The President shall admit applicants to NAIIST upon completion of the procedures set forth in the foregoing subsection.

Article 30 (Admission to Doctoral Course)

Admission of students to the Doctoral Course upon completion of the Master's Course of NAIIST shall be subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

VIII. Standard Terms of Study and Maximum Years of Enrollment

Article 31 (Standard terms of study)

The standard terms of study at the Master's Course and Doctoral Course shall be two years and three years, respectively.

Article 32 (Maximum years of enrollment)

Maximum years of enrollment in the Master's Course and Doctoral Course shall be four years and six years, respectively.

IX. Education at Graduate Schools

Article 33 (Graduate school education)

Education at the Graduate Schools shall be provided by means of lectures on subjects and guidance on writing theses ("Research Guidance").

Article 34 (Courses, credits, and registration procedures)

The courses to be taught as set forth in the foregoing article, the credits allotted to the said

courses, and registration procedures shall be provided for separately by each of the Graduate Schools.

Article 35 (Calculation of credits)

1. Based on the general rule that one credit shall be composed of a total of 45 hours of studying by students, the following basis shall be adopted for calculating credits at NAIST, taking into consideration the educational effects and hours required for off-campus studying, which vary depending on how the subject is taught:

(1) Fifteen hours of lectures and seminars shall yield one credit.

(2) Thirty hours of experiments and practical work shall yield one credit.

(3) When a Graduate School employs a combination of two or more methods out of lectures, seminars, experiments, or practical work for a course, one credit shall consist of class hours determined by the Graduate School in light of the standards prescribed in the preceding two items, in accordance with the combination of such methods.

2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the number of credits to be allotted to thesis writing and thematic research may be determined upon consideration of the amount of study needed therefor, if it is deemed appropriate to award credits based on an evaluation of the results of the study.

Article 35-2 (Publication of Standards for Evaluating Grades)

1. A Graduate School shall present to its students, in advance, a clear outline of the methodology and contents of classes and Research Guidance, as well as a class and Research Guidance schedule for the year.

2. A Graduate School shall, when assessing its students' academic achievement and theses and approving their completion, present them with a clear outline of the standards therefor, in advance, so as to ensure objectivity and rigidity, and shall conduct an assessment and approval process appropriately in accordance with said standards.

Article 35-3 (Organized Training for Improving Educational Contents)

1. NAIST shall conduct organized training and research for improving the contents and methodology used to give classes and Research Guidance at its Graduate Schools.

2. Necessary matters related to organized training for improving educational contents shall be stipulated separately.

Article 36 (Awarding of credits)

Students who have completed each course can earn credits therefor upon passing the examination or acceptance of a research report.

Article 37 (Studying in another Graduate School of NAIST)

1. Students may take a course offered by another Graduate School of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection may be counted toward degree credits specified in Article 35 to the extent permitted by their Graduate School.
3. Matters relating to taking of courses of other Graduate Schools shall be provided for separately.

Article 38 (Studying in another graduate school outside of NAIST)

1. Students may take a course offered by another graduate school outside of NAIST if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school.
2. Course credits that students have earned pursuant to the foregoing subsection shall be treated as credits earned internally, provided that the number of such credits shall not exceed ten.
3. The period of studying at another graduate school pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to taking of courses of other graduate schools shall be provided for separately.

Article 39 (Treatment of credits earned prior to admission to NAIST)

1. Credits that a student has earned at another graduate school prior to admission to NAIST, including credits that have been earned by the student as a non-degree student as defined in the Standards for the Establishment of Graduate Schools (1974 Ordinance of the Ministry of Education No. 28), may be treated as credits that have been earned by the student at NAIST after his or her admission thereto, if the Faculty Council of his or her Graduate School deems it educationally beneficial to do so.
2. The number of credits that have been earned at another graduate school but are treated as having been earned at NAIST pursuant to the foregoing subsection shall not exceed ten.
3. Other matters relating to credits earned prior to admission to NAIST shall be provided for separately.

Article 40 (Research Guidance at another graduate school)

1. Students may receive Research Guidance offered by another graduate school or research institution outside of NAIST as needed, if the Faculty Council of their Graduate School deems it educationally beneficial to do so, subject to prior consultation with the relevant graduate school or research institution. However, the period during which students enrolled in the Master's Course are allowed to receive Research Guidance at another graduate school or research institution shall not exceed one year.

2. Research Guidance that students receive from another graduate school or research institution pursuant to the foregoing subsection may be treated as Research Guidance received by the students at the Graduate School of NAIST.
3. The period during which students receive Research Guidance pursuant to subsection 1 of this Article shall be counted toward the period of study at NAIST.
4. Matters relating to Research Guidance at another graduate school or research institution shall be provided for separately.

X. Course and Degree Requirements

Article 41 (Requirements for completion of Master's Course)

1. To complete the Master's Course, students shall have been enrolled in the Master's Course for the standard term of study at the shortest, earn at least thirty credits in the subjects designated by their Graduate School, receive necessary Research Guidance, and pass the master's thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Master's Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. For the purpose described in the foregoing subsection, an examination of research results on specified themes may be conducted in place of the master's thesis examination if the Faculty Council of the Graduate School deems it appropriate to do so.

Article 42 (Requirements for completion of Doctoral Course)

1. To complete the Doctoral Course, students shall have been enrolled in the Doctoral Course for the standard term of study at the shortest, receive necessary Research Guidance, and pass the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study.
2. The part of the provision of the foregoing subsection that reads "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of the standard term of study" shall read "However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for the period of three years less the period of enrollment in the Master's Course at the shortest, instead of the standard term of study," to apply to students who have completed the Master's Course at NAIST in one year at the shortest pursuant to subsection 1 of Article 41, or who have completed the master's course of another graduate school outside of NAIST taking between one and two years.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, for students who have been admitted to the Doctoral Course after having been recognized as having academic ability

equivalent to or greater than that of a master's degree holder pursuant to Article 156 of the Enforcement Regulations for the School Education Law, the requirements for completion of the Doctoral Course shall be: enrollment in the said course for three years at the shortest, receipt of necessary Research Guidance, and passing of the doctoral thesis examination or final examination. However, students who have achieved outstanding research results may complete the Doctoral Course after having been enrolled in the said course for one year at the shortest, instead of three years.

Article 43 (Approval of completion)

Approval of completion of the Master's Course and Doctoral Course shall be given by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 44 (Awarding of degrees)

1. Students who have completed the Master's Course or Doctoral Course shall be awarded a master's degree or doctoral degree, respectively.
2. In addition to the provision of the foregoing subsection, a doctoral degree shall be awarded to individuals who have submitted a doctoral thesis to NAIIST, passed the doctoral thesis examination and been recognized as having academic ability equivalent to or greater than that of an individual who has completed the Doctoral Course at NAIIST.
3. Matters relating to awarding of degrees shall be provided for separately.

Article 45 (Timing of completion)

1. The Master's Course and Doctoral Course shall be completed at the end of each semester.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the Master's Course and Doctoral Course may be completed during a semester if deemed necessary by the President.

Article 46 (Teaching qualifications)

1. Students who wish to obtain teaching qualifications shall earn the credits specified by the Teacher's Certificate Law (1949 Law No. 147) and the Enforcement Regulations for the Teacher's Certificate Law (1954 Ordinance of the Ministry of Education No. 26).
2. Teaching qualifications that can be obtained at the Graduate Schools of NAIIST are as shown in the following table.

Graduate School	Department	Teaching qualification	Subject
Information Science	Information Science	High school teacher's qualification	Information
Biological Sciences	Biological Sciences	Junior high school teacher's qualification	Science
		High school teacher's qualification	Science

Materials Science	Materials Science	Junior high school teacher's qualification High school teacher's qualification	Science Science
----------------------	-------------------	---	--------------------

XI. Leave of Absence, Study Abroad, Readmission, Transfer from/to another School, Transfer to another Graduate School within NAIST, and Withdrawal

Article 47 (Leave of absence)

1. A student who is scheduled to be absent from school for three consecutive months or longer due to illness or for other justifiable reasons may take a leave of absence with prior permission of the President, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The President may order a student who is recognized to be too ill to attend school to take leave of absence.
3. When the grounds for the leave of absence have been resolved, the student may return to school with permission of the President.
4. The period of leave of absence shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to another one year if there is any justifiable reason.
5. The period of leave of absence shall not be counted toward the standard term of study specified in Article 31 and the minimum years of enrollment specified in Article 32.
6. The period of leave of absence shall not exceed two years in total during enrollment in the Master's Course or Doctoral Course, respectively.

Article 48 (Study abroad)

1. A student who wishes to study at a graduate school or research institution abroad shall obtain permission of the President in advance, following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.
2. The provisions of Article 38 and Article 40 shall apply for the treatment of credits earned during study abroad.

Article 49 (Readmission)

1. An individual who withdrew or was expelled from NAIST in the past and wishes to be readmitted in the Graduate School of NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. If readmission is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 50 (Transfer from another school)

1. A student who is enrolled in another graduate school outside of NAIST and wishes to transfer to NAIST may be permitted to do so by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of NAIST.

2. If transfer to NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 51 (Transfer from another Graduate School)

1. A student who is enrolled in a Graduate School at NAIST and wishes to transfer to another Graduate School at NAIST may be permitted to do so by the Dean of the Graduate School to which he or she wishes to transfer, subject to screening by the Faculty Council of the Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with educational and research activities of the Graduate School.

2. If transfer to another Graduate School at NAIST is permitted pursuant to the provision of the foregoing subsection, the Faculty Council of the relevant Graduate School shall agree to count the credits earned during the previous enrollment and years of the previous enrollment toward course requirements.

Article 52 (Transfer to another graduate school)

A NAIST student who wishes to transfer to another graduate school outside of NAIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

Article 53 (Withdrawal)

A NAIST student who wishes to withdraw from NAIST shall obtain permission of the President in advance following deliberation by the Faculty Council of his or her Graduate School.

XII. Entrance Examination, Admission and Tuition Fees

Article 54 (Amounts of the entrance examination, admission and tuition fees)

The amounts of the entrance examination, admission and tuition fees shall be as shown in the following table.

Entrance examination fee	Admission fee	Annual tuition fee
30,000 yen	282,000 yen	535,800 yen

Article 55 (Payment of the entrance examination fee)

Individuals who apply for admission, readmission or transfer to NAIST shall submit an

application form and pay the entrance examination fee at the same time.

Article 56 (Payment of the admission fee)

Individuals who are to be admitted, readmitted or transferred to NAIST shall pay the admission fee by the due date specified by NAIST.

Article 57 (Payment of the tuition fee)

1. Students shall pay the annual tuition fee in two equal installments for the spring semester (from April to September) and the autumn semester (from October to March of the following year).
2. The due dates of the tuition payment shall be in May and November except when delayed payment is permitted pursuant to the provision of Article 63.
3. Notwithstanding the provisions of the foregoing two subsections, students, by submitting an application, may pay the tuition fee for the autumn semester at the same time as paying the tuition fee for the spring semester.
4. Notwithstanding the provisions of subsections 1 and 2 above, students may, by submitting an application, pay the tuition fee for the spring semester or for the spring and autumn semesters of the year of admission, at the time when accepted for admission.

Article 58 (Amount and payment of the tuition fee in case of re-enrollment)

In case of re-enrollment, transfer from another school, and readmission (“Re-enrollment”) during the spring or autumn semester, the tuition fee shall be paid in an amount of one twelfth of the annual tuition fee (“Monthly Fee”) multiplied by the number of months from the month of Re-enrollment to the month preceding the next tuition payment. Payment shall be made in the month of Re-enrollment.

Article 59 (Amount of the tuition fee in case of completion of the course before the end of the academic year)

In case of completion of the course before the end of the academic year due to special circumstances, the tuition fee shall be paid in an amount of the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment in NAIST.

Article 60 (Amount of the tuition fee in case of leave of absence)

1. Payment of tuition fee is not required during leave of absence.
2. The amount of the tuition fee for which payment is not required shall be the Monthly Fee multiplied by the number of months from the month following the leave of absence to the month preceding Re-enrollment.

Article 61 (Amount of the tuition fee in case of withdrawal)

In case of withdrawal, whether voluntary or forced, transfer to another school, or expulsion

from NAIIST during a spring or autumn semester, the tuition fee for the entire semester shall be paid.

Article 62 (Exemption from payment of admission and tuition fees)

Students may be exempted from payment of all or part of the admission fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the admission fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 63

Students may be exempted from payment of all or part of the tuition fee or allowed delayed payment thereof if he or she has difficulties paying the tuition fee for financial reasons and also is recognized as having outstanding academic ability, or if he or she has other justifiable reasons.

Article 64

Matters relating to exemption of payment of admission and tuition fees and delayed payment thereof shall be provided for separately.

Article 65 (Treatment of entrance examination, admission and tuition fees once paid)

1. Once paid, entrance examination, admission and tuition fees cannot be refunded.
2. Notwithstanding the provision of the foregoing subsection, the tuition fee shall be refunded in the following cases.
 - (1) If a student who paid the tuition fee for both the spring and autumn semester at the same time pursuant to the provision of Article 57-3 above is to withdraw from NAIIST before the due date of tuition payment for the autumn semester, the tuition fee for the autumn semester shall be refunded.
 - (2) If a student who paid the tuition fee at the time when he or she was accepted for admission pursuant to the provision of Article 57-4 above declares his or her intention to decline the acceptance by the last day of the month preceding the admission, the amount equivalent to the paid tuition fee shall be refunded.
 - (3) If a student who paid tuition fees pursuant to the provision of Article 57 is to complete his or her course before the end of the academic year due to special circumstances, the amount of the paid tuition fee less the Monthly Fee multiplied by the number of months of enrollment shall be refunded.
 - (4) If a student who paid tuition fees is to take leave of absence, the amount specified in Article 60-2 shall be refunded.

XIII. Special Auditing Students, Special Research Students, Non-Degree Students and

Research Students

Article 66 (Special auditing students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special auditing students to take a course at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.
2. Matters relating to special auditing students shall be provided for separately.

Article 67 (Special research students)

1. If deemed beneficial for educational purposes, students enrolled in another graduate school outside of NAIIST, whether domestic or foreign, may be admitted to NAIIST as special research students to receive Research Guidance at the Graduate School of NAIIST, subject to consultation with the graduate school.
2. Matters relating to special research students shall be provided for separately.

Article 68 (Non-degree students)

1. Individuals who are not NAIIST students but wish to study one or more elective subjects at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as non-degree students and awarded credits, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. Matters relating to non-degree students shall be provided for separately.

Article 69 (Research students)

1. Individuals who wish to conduct research on a specific theme at the Graduate School of NAIIST may be admitted to NAIIST as research students, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School, only if doing so is deemed not to interfere in any way with the educational and research activities of the Graduate School.
2. Matters relating to research students shall be provided for separately.

XIV. Rewards, Punishments and Expulsion

Article 70 (Rewards and punishments)

1. The President may commend students who have done something worthy of public recognition.
2. The President may take disciplinary measures against students who have acted against the rules of NAIIST or who have materially disturbed the educational and research activities of NAIIST, following deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.
3. The disciplinary measures set forth in the foregoing subsection shall mean forced withdrawal,

suspension from NAIST, and warning.

Article 71 (Expulsion)

A student shall be expelled from NAIST if he or she:

- (1) Has been enrolled in NAIST for longer than the period specified in Article 32.
- (2) Has been on leave of absence for longer than the period specified in Article 47-4.
- (3) Has failed to pay the admission fee by the due date if the student has not been exempted from payment of the admission fee, has been exempted from payment of part of admission fee, has been allowed delayed payment of the admission fee, or has the payment exemption withdrawn.
- (4) Has failed to pay the tuition fee by the due date and still not paid it even after receiving a reminder.

XV. Student Dormitories

Article 72 (Student dormitories)

1. NAIST has student dormitories.
2. Matters relating to the student dormitories shall be provided for separately.

XVI. Open Lectures

Article 73 (Open lectures)

1. NAIST may offer open lectures with a view to educating the public and contributing to cultural enrichment.
2. Matters relating to the open lectures shall be provided for separately.

Supplementary provisions

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 (“Existing Students”) and also to the students who are readmitted or transferred to NAIST after April 1, 2004 if they are in the same grade as the Existing Students.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 21, 2005, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 17, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 24, 2008, while the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology as amended hereunder shall be applied from December 26, 2007.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2014.

Schedule (supplementary to Article 21)

Graduate school	Department	Admission capacity		Enrollment capacity
		Master's Course	Doctoral Course	
Information Science	Information Science	135	40	390
Biological Sciences	Biological Sciences	125	37	361
Materials Science	Materials Science	90	30	270
Total		350	107	1,021

奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規程

平成16年4月1日

規程第25号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16学則第1号。以下「学則」という。）第40条第4項及び第67条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）又は研究所等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において研究指導を受けようとする者（以下「特別研究学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院等との協議)

第2条 学則第40条第1項及び第67条第1項の規定に基づく本学と他の大学院等との協議は、研究指導計画その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院等にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院等との協議を欠くことができる。

第2章 特別研究派遣学生

(出願手続)

第3条 特別研究派遣学生として、他の大学院等において研究指導を受けようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 特別研究派遣学生申請書（様式第1号）
- (2) 他の大学院等の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院等における研究指導の期間)

第5条 他の大学院等において研究指導を受ける期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程の学生にあつては、教育研究上有益と認められるときは、他の大学院等との協議に基づき、その期間を延長することができる。

- 2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることができない。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別研究派遣学生として研究指導を受けた期間は、本学での在学期間に含めるものとする。

(研究報告書等の提出)

第7条 特別研究派遣学生は、他の大学院等における研究指導が終了したときは、直ちに（外国の大

学院又は研究所等において研究指導を受けた者にあつては、帰国の日から1月以内に)、当該研究科長に研究指導報告書（様式第2号）及び当該他の大学院等の交付する研究指導の概要を記載した報告書を提出しなければならない。

（研究指導の認定）

第8条 特別研究派遣学生が、他の大学院等において受けた研究指導は、前条に規定する報告書により、当該研究科の教授会の議に基づき、本学における課程修了に必要な研究指導の一部として認定することができる。

（授業料）

第9条 特別研究派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

（派遣許可の取消し）

第10条 特別研究派遣学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院等との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 当該他の大学院等の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他派遣の趣旨に反する行為があると認められるとき。

第3章 特別研究学生

（出願手続）

第11条 本学の特別研究学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別研究学生申請書（様式第3号）
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

（受入れの許可）

第12条 他の大学院から特別研究学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

（受入れの期間）

第13条 他の大学院からの研究指導を受託する期間は、1年以内とする。ただし、博士後期課程に在籍する特別研究学生にあつては、研究の状況により、当該学生の所属する他の大学院からの申請に基づき、当該研究科の教授会の議を経て、その延長を許可することができる。

2 前項の期間は、博士前期課程の学生にあつては、通算して1年を超えることはできない。

（研究指導状況報告書）

第14条 特別研究学生の研究指導を終了したときは、当該研究科長は、指導教員の報告に基づき、研究指導状況報告書（様式第4号）を交付する。

（学生証）

第15条 特別研究学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

(授業料等)

第16条 特別研究学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別研究学生が、国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別研究学生が、公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として月額29,700円を徴収する。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、研究指導を受ける期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究指導を受ける期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第17条 特別研究学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

- (1) 研究指導計画の完了の見込みがないと認められるとき。
- (2) 本学の規則等に違反し、又はその本分に反する行為があると認められるとき。
- (3) その他受入れの趣旨に反する行為があると認められるとき。

(準用)

第18条 学則その他学生に関する規定は、特別研究学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第19条 この規程に定めるもののほか、特別研究派遣学生及び特別研究学生の取扱いについては、当該他の大学院等との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 平成16年3月31日に在学する特別研究派遣学生又は特別研究学生のうち研究指導の期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別研究学生交流規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

Regulations for Special Research Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 25

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to receive research guidance at another graduate school or research institution, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Research Students”) and students of an External Graduate School who wish to receive research guidance at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Research Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 40-4 and Article 67-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 40-1 and Article 67-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the research guidance program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Research Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to receiving permission from his or her main research instructor:

- (1) Special Research Student Application Form (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of research guidance at External Graduate School)

1. The period during which a Special Research Student receives research guidance at an External Graduate School shall be up to one year. In the case of a student enrolled in the Doctoral Course, however, the said period may be extended, subject to consultation with the External Graduate School, if doing so is deemed to be educationally beneficial.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in the case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period during which a NAIST student receives research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Submission of research report)

A Special Research Student shall submit a research report (Form No. 2) and report issued by the External Graduate School outlining the research guidance he or she has received to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of research guidance at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has received research guidance at a foreign graduate school or research institution).

Article 8 (Acceptance of research guidance)

The Research Guidance that a Special Research Student has received at an External Graduate School may be accepted as part of research guidance necessary for completing the course at NAIST, subject to submission of the reports specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School.

Article 9 (Tuition fee)

Special Research Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 10 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at an External Graduate School as a Special Research Student, following consultation with the External Graduate School involved, if:

- (1) The research guidance is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of the External Graduate School or acted against the interests thereof; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Research Students Exchange Program.

III. Special Visiting Research Students

Article 11 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Research Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Special Visiting Research Student Application Form (Form No. 3)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 12 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Research Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 13 (Period of research guidance at NAIST)

1. The period during which NAIST provides a Special Visiting Research Student with research guidance upon request from an External Graduate School shall be up to one year. In case of a Special Visiting Research Student enrolled in the Doctoral Course, however, extension of the said period may be permitted depending on the progress of the research, subject to deliberation by the Faculty Council of the Graduate School at NAIST, if requested by the External Graduate School.
2. The period specified in the foregoing subsection shall not exceed one year in total in case of a student enrolled in the Master's Course.

Article 14 (Research guidance report)

Upon completion of research guidance to a Special Visiting Research Student, the Dean of the Graduate School shall issue a Research Guidance Report (Form No. 4) based on the report submitted by the research instructor.

Article 15 (Student ID card)

A Special Visiting Research Student shall be issued with a student ID card and carry it at all times.

Article 16 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Research Student shall be exempted from payment of screening and admission fees.
2. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fee for the research guidance provided by NAIST.
3. A Special Visiting Research Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for the research guidance provided by NAIST in the monthly amount of 29,700 yen, provided, however, that this provision shall not apply if waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Special Visiting Research Student receives research guidance at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 17 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to receive research guidance at NAIST as a Special Visiting Research Student, following consultation with the graduate school of the student, if:

- (1) The research guidance program is unlikely to be completed;
- (2) The student has failed to comply with the regulations of NAIST or acted against the interests of NAIST; or
- (3) The student has failed to meet the purpose of the Special Visiting Research Student program.

Article 18 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Research Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 19 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Research Students and Special Visiting Research Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for the Special Research Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Research Students and Special Visiting Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research guidance ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程

平成16年4月1日

規程第24号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第38条第4項及び第66条第2項の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生で、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講派遣学生」という。）及び他の大学院の学生で、本学の研究科において授業科目を履修しようとする者（以下「特別聴講学生」という。）の取扱いに関し必要な事項を定める。

(他の大学院との協議)

第2条 学則第38条第1項及び第66条第1項の規定に基づく本学と他の大学院との協議は、履修できる授業科目の範囲その他関連する事項について、当該研究科の教授会の審議を経て、当該研究科長が行う。ただし、外国の大学院にあつては、やむを得ない場合に限り、当該大学院との協議を欠くことができる。

第2章 特別聴講派遣学生

(出願手続)

第3条 特別聴講派遣学生として、他の大学院の授業科目を履修しようとする者は、主指導教員の許可を得て、次の各号に掲げる書類を添えて当該研究科長に願い出なければならない。

- (1) 他の大学院における履修願（様式第1号）
- (2) 他の大学院の要求する書類

(派遣の許可)

第4条 前条の願い出があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

(他の大学院における履修期間)

第5条 特別聴講派遣学生の履修期間は、原則として1年以内とする。

(在学期間の取扱い)

第6条 特別聴講派遣学生としての履修期間は、本学での在学期間を含めるものとする。

(履修できる授業科目)

第7条 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講派遣学生が他の大学院で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

(学業成績証明書の提出)

第8条 特別聴講派遣学生は、履修が終了したときは、直ちに（外国の大学院において授業科目を履修した特別聴講派遣学生にあつては、帰国の日から1月以内に）、当該研究科長に当該他の大学院の交付する学業成績証明書を提出しなければならない。

（単位の認定）

第9条 特別聴講派遣学生が他の大学院において修得した単位は、前条に規定する学業成績証明書により、10単位を超えない範囲で、当該研究科の教授会の議を経た上、本学において修得したものと認定する。

（授業料）

第10条 特別聴講派遣学生は、本学の学生としての授業料を納付するものとする。

（派遣許可の取消し）

第11条 特別聴講派遣学生の行為が派遣の趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、派遣の許可を取り消すことができる。

第3章 特別聴講学生

（出願手続）

第12条 本学の特別聴講学生を志願する者は、他の大学院を経て、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 特別聴講学生申請書（様式第2号）
- (2) 受入れ研究科の必要とする書類

（受入れの許可）

第13条 他の大学院から特別聴講学生の受入れの依頼があつたときは、当該研究科長は、第2条の協議の結果に基づき、これを許可する。

（受入れ期間）

第14条 特別聴講学生の受入れの期間は、原則として1年以内とする。

（履修できる授業科目）

第15条 特別聴講学生が本学で履修できる授業科目は、原則として講義のみとし、実験、実習、演習及び研究等は含めないものとする。

2 特別聴講学生が本学で履修できる単位数は、10単位を超えない範囲とする。

（学業成績証明書の交付）

第16条 特別聴講学生が所定の授業科目の履修を終了したときは、当該研究科長は、学業成績証明書を交付するものとする。

（学生証）

第17条 特別聴講学生は、所定の学生証の交付を受け、常に携帯しなければならない。

（授業料等）

第18条 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

- 2 特別聴講学生が国立大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 3 特別聴講学生が公立若しくは私立の大学の大学院又は外国の大学の大学院の学生である場合は、授業料として1単位当たり14,800円とする。ただし、大学間交流協定に基づき授業料を徴収しないことが定められたときは、授業料を徴収しない。
- 4 前項の授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付するものとする。
- 5 納付した授業料は、返還しない。

(受入れ許可の取消し)

第19条 特別聴講学生の行為が受入れの趣旨に反すると認められる場合は、当該研究科長は、当該他の大学院との協議に基づき、受入れの許可を取り消すことができる。

(準用)

第20条 学則その他学生に関する規定は、特別聴講学生について準用する。

第4章 雑則

(雑則)

第21条 この規程に定めるもののほか、特別聴講派遣学生及び特別聴講学生の取扱いについては、当該他の大学院との協議の上、決定するものとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 平成16年3月31日に在学する特別聴講派遣学生又は特別聴講学生のうち履修期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学特別聴講学生交流規程は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 24

I. General Provisions

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to the treatment of students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) who wish to study specific subjects for credit at another graduate school, whether in Japan or abroad (“External Graduate School”) (“Special Auditing Students”) and students of an External Graduate School who wish to study specific subjects for credit at any of the Graduate Schools of NAIST (“Special Visiting Auditing Students”) pursuant, respectively, to the provisions of Article 38-4 and Article 66-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Consultation with External Graduate School)

The Dean of the relevant Graduate School shall be responsible for consulting with the External Graduate School involved on behalf of NAIST pursuant to the provisions of Article 38-1 and Article 66-1 of NAIST Regulations, following deliberation on the subjects to be offered under the Special Auditing Students Exchange Program and other related matters by the Faculty Council of the Graduate School involved. However, such consultation with an External Graduate School that is located abroad may be omitted if there is a justifiable reason.

II. Special Auditing Students

Article 3 (Application procedures)

A student of NAIST who wishes to study specific subjects at an External Graduate School as a Special Auditing Student shall make an application by submitting the following documents to the Dean of his or her Graduate School, subject to permission of his or her main research instructor:

- (1) Application Form for Study at External Graduate School (Form No. 1)
- (2) Documents required by the External Graduate School

Article 4 (Permission)

Upon receiving the application stipulated in the foregoing article, the Dean of the Graduate School shall give permission to the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 5 (Period of study at External Graduate School)

In principle, the period during which Special Auditing Students may study at an External Graduate School shall be up to one year.

Article 6 (Treatment of enrollment period)

The period for Special Auditing Students to study at an External Graduate School shall count toward the number of years of enrollment at NAIST.

Article 7 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Auditing Students are allowed to study at an External Graduate School shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at an External Graduate School.

Article 8 (Submission of certificate of academic record)

A Special Auditing Student shall submit a certificate of academic record issued by the External Graduate School to the Dean of his or her Graduate School at NAIST immediately upon completion of the study at the External Graduate School (within one month after returning to Japan if the student has studied at a foreign graduate school).

Article 9 (Awarding of credits)

As for credits that a Special Auditing Student has earned while studying at an External Graduate School, up to ten such credits may be treated as credits earned at NAIST, subject to submission of the certificate of academic record specified in the foregoing article and deliberation by the Faculty Council of the Graduate School involved.

Article 10 (Tuition fee)

Special Auditing Students shall be required to pay tuition fees as students of NAIST.

Article 11 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at an External Graduate School as a Special Auditing Student, following consultation with the External

Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

III. Special Visiting Auditing Students

Article 12 (Application procedures)

A student of an External Graduate School who wishes to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student shall submit the following documents via the External Graduate School:

- (1) Application Form for Study at NAIST as Special Visiting Auditing Student (Form No. 2)
- (2) Documents required by the Graduate School of NAIST to which the student is to be admitted

Article 13 (Permission of acceptance)

Upon receiving a request to accept a Special Visiting Auditing Student from an External Graduate School, the Dean of the Graduate School of NAIST shall give permission to accept the student, following the consultation under Article 2 above.

Article 14 (Period of study at NAIST)

In principle, the period during which Special Visiting Auditing Students may study at NAIST shall be up to one year.

Article 15 (Subjects)

1. In principle, the subjects that Special Visiting Auditing Students are allowed to study at NAIST shall be limited to lectures. Experiments, practical works, seminars and research shall not be offered under this Program.
2. Special Auditing Students shall earn no more than 10 credits at NAIST.

Article 16 (Issuance of a certificate of academic record)

Upon completion of study by a Special Visiting Auditing Student at NAIST, the Dean of the Graduate School involved shall issue a certificate of academic record to the student.

Article 17 (Student ID card)

A Special Visiting Auditing Student shall be issued with a student ID card and shall carry it at all times.

Article 18 (Tuition fee)

1. A Special Visiting Auditing Student shall be exempted from payment of screening and

admission fees.

2. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a national university shall not be liable to pay tuition fees for studying at NAIST.
3. A Special Visiting Auditing Student who is enrolled in the graduate school of a public, private, or foreign university shall pay tuition fees for studying at NAIST in the amount of 14,800 yen per credit, provided, however, that this provision does not apply if a waiver of tuition fee is agreed upon under an inter-university exchange arrangement.
4. The tuition fee specified in the foregoing subsection shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.
5. Tuition fees, once paid, shall not be refunded.

Article 19 (Withdrawal of permission)

The Dean of the relevant Graduate School may withdraw the permission for a student to study at NAIST as a Special Visiting Auditing Student, following consultation with the External Graduate School involved, if the student has failed to meet the purpose of the Special Auditing Students Exchange Program.

Article 20 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Special Visiting Auditing Students.

IV. Miscellaneous Provision

Article 21 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to the treatment of Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students shall be decided through consultation between NAIST and the External Graduate School involved.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Special Auditing Students Exchange Program of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Special Auditing Students and Special Visiting Auditing Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose study at an External Graduate School or NAIST, respectively,

ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2013.

奈良先端科学技術大学院大学研究生規程

平成16年4月1日
規程第27号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)第69条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における研究生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 研究生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 研究生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

(出願手続)

第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願出しなければならない。

(1) 研究生入学願書(所定様式)

(2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書

(3) 写真2枚

2 会社等(官公庁を含む。以下同じ。)に在職している者にあつては、前項に規定する書類のほか、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 個人的研究のため研究生を志願する者である旨の本人の確約書

(2) 会社等の事業目的のために派遣する者ではない旨の所属長の確約書

3 外国人にあつては、前2項に規定する書類のほか、在留カード(両面)の写しを提出しなければならない。ただし、国内に在留していない者は、入学後提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(研究期間)

第6条 研究期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由により引き続き研究を願出た者については、当該研究科の教授会の議を経て研究期間を延長することができる。

(研究)

第7条 研究生は、指導教員のもとで、研究に従事するものとする。

(研究証明書の交付)

第8条 研究事項について、研究証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 研究生の検定料、入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は、次のとおりとする。

検定料 9,800 円

入学料 84,600 円

授業料 29,700 円（月額）

2 前項の授業料は、研究予定期間が6月を超える場合は、初めの6月とこれを超える期間に分けて、それぞれの期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとし、研究予定期間が6月未満であるときは、その期間分に係る額を当該期間の当初の月に納付するものとする。

3 納付した授業料等は返還しない。

(退学)

第10条 研究生が研究期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、研究生について準用する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

附則**(施行期日)**

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成16年3月31日に在学する研究生のうち研究期間の末日が平成16年4月1日以降の者については、旧奈良先端科学技術大学院大学研究生規則は、この規程の施行後も、なおその効力を有する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Research Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 27

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to research students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Research Students”) pursuant to the provision of Article 69-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Research Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Research Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Research Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Research Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. If an employee of a company or governmental agency (“Company”) applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit the following documents in addition to the documents specified in the foregoing subsection:
 - (1) Written confirmation of the applicant that he or she is applying for admission to NAIST as a Research Student for the exclusive purpose of pursuing personal research interests
 - (2) Written confirmation of the immediate supervisor of the applicant at the Company that the applicant is to study at NAIST as a Research Student, and not for the purpose of the Company

3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Research Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the foregoing subsections, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Research Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester, provided, however, that this provision does not apply if there is a justifiable reason.

Article 6 (Period of research at NAIST)

The period for which Research Students can conduct research at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Research Student applies for an extension thereof with a justifiable reason.

Article 7 (Research at NAIST)

Research Students shall engage in research at NAIST under the guidance of their research instructor.

Article 8 (Issuance of research certificate)

NAIST shall issue a research certificate concerning research matters as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Research Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.
Screening fee: 9,800 yen
Admission fee: 84,600 yen
Tuition fee: 29,700 yen per month
2. If a Research Student conducts research at NAIST for longer than six months, the student shall pay the tuition fee stipulated in the foregoing subsection in two installments, for the first six-month term and for the remaining term, in the first month of the respective terms. If a Research Student conducts research at NAIST for less than six months, the student shall pay the tuition fee for the entire period in the first month thereof.
3. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Research Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate School for withdrawal status and obtain permission from the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Research Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Research Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

(Effective date)

1. These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

(Transitional measures)

2. In case of amendment of these Regulations for Research Students of the Nara Institute of Science and Technology, the Regulations before the amendment shall remain applicable to the Research Students who are enrolled in NAIST as of March 31, 2004 and whose research at NAIST ends on or after April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学科目等履修生規程

平成16年4月1日

規程第26号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第68条第2項に基づき、奈良先端科学技術大学院大学における科目等履修生に関し必要な事項を定める。

(許可)

第2条 科目等履修生として入学を志願する者があるときは、当該研究科の教授会において選考の上、学長が入学を許可する。

(入学資格)

第3条 科目等履修生として入学できる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると当該研究科において認めた者とする。

(出願手続)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて願い出なければならない。

- (1) 科目等履修生入学願書（所定様式）
 - (2) 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
 - (3) 写真2枚
- 2 他の大学院、外国の大学院、民間企業、研究機関等と連携し実施する教育プログラム（以下「連携教育プログラム」という。）の授業科目の履修に係る検定料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前項の規定にかかわらず、当該検定料を徴収しない。
- 3 外国人にあつては、第1項に規定する書類のほか、在留カード（両面）の写しを提出しなければならない。ただし、願い出の時に国内に在留していない者は、入学後に提出するものとする。

(入学の時期)

第5条 入学の時期は、学期の始めとする。

(在学期間)

第6条 在学期間は、1年以内とする。ただし、本人の願い出があつた場合は、当該研究科の教授会の議を経て1年に限り在学期間を延長することができる。

(履修科目等)

第7条 科目等履修生が履修できる授業科目は、原則として講義によって行う科目のみとする。

(単位修得証明書の交付)

第8条 履修科目について、単位修得証明書を必要とするときは、これを交付する。

(授業料等)

第9条 科目等履修生の検定料、入学料及び授業料（以下「授業料等」という。）の額は、次のとおり

とする。

検定料 9,800 円

入学料 28,200 円

授業料 14,800 円 (1 単位当たり)

- 2 入学料は、所定の期日までに納付しなければならない。
- 3 授業料は、春学期に係る履修科目については4月に、秋学期に係る履修科目については10月に納付しなければならない。
- 4 連携教育プログラムの授業科目の履修に係る入学料及び授業料について、学長が徴収しないことが適当であると認めた場合は、前2項の規定にかかわらず、当該入学料及び授業料を徴収しない。
- 5 納付した授業料等は、返還しない。

(退 学)

第10条 科目等履修生が在学期間中に退学しようとするときは、当該研究科長に願い出て、学長の許可を受けなければならない。

(準 用)

第11条 学則その他学生に関する規定は、科目等履修生について準用する。

(雑 則)

第12条 この規程に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年2月1日から施行する。

Regulations for Non-Degree Students of Nara Institute of Science and Technology

April 1, 2004

Regulations No. 26

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to non-degree students of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) (“Non-Degree Students”) pursuant to the provision of Article 68-2 of the Regulations of the Nara Institute of Science and Technology (2004 Regulations No. 1) (“NAIST Regulations”).

Article 2 (Admission)

Individuals who wish to study at NAIST as a Non-Degree Student may be admitted to NAIST by the President, subject to screening by the Faculty Council of the relevant Graduate School of NAIST.

Article 3 (Eligibility)

Admission to NAIST as a Non-Degree Student is granted to individuals who have graduated from university or who have been recognized by the relevant Graduate School of NAIST as having academic ability equivalent to or greater than that of a university graduate.

Article 4 (Application procedures)

1. Individuals who wish to be admitted to NAIST as a Non-Degree Student shall submit the following documents and pay the entrance examination fee:
 - (1) Application Form for Admission to NAIST as Non-Degree Student (prescribed form)
 - (2) Certificate of graduation and certificate of academic record issued by the last school attended
 - (3) Two photographs
2. Screening fee for taking courses of the collaboration program with other universities’ graduate schools, foreign graduate schools, private corporations, and research institutes (“Collaborative Educational Program”) shall be exempted, regardless of the foregoing subsection, provided that president approves the exemption appropriate.
3. If a foreign national applies for admission to NAIST as a Non-Degree Student, the applicant shall submit his or her copy of “resident card” (Both Sides) in addition to the documents specified in the subsection 1 of this Article, provided, however, that the copy of “resident card” (Both Sides) may be

submitted after admission to NAIST if he or she has not yet been granted resident status in Japan at the time of application.

Article 5 (Timing of admission)

Non-Degree Students shall be admitted to NAIST at the beginning of each semester.

Article 6 (Period of enrollment)

The period for Non-Degree Students to study at NAIST shall be up to one year, provided, however, that the said period may be extended for up to one additional year, subject to deliberation by the Faculty Council of the relevant Graduate School, if the Non-Degree Student applies for extension thereof.

Article 7 (Subjects)

In principle, the subjects that Non-Degree Students are allowed to study at NAIST for credits shall be limited to those offered by means of lecture.

Article 8 (Issuance of certificate of credits earned)

NAIST shall issue a certificate of credits earned for the relevant subjects as needed.

Article 9 (Tuition and other fees)

1. Non-Degree Students shall pay the screening, admission and tuition fees (“Tuition and Other Fees”) in the following amounts.

Screening fee: 9,800 yen

Admission fee: 28,200 yen

Tuition fee: 14,800 yen per credit

2. Screening fee shall be paid by prescribed due date.

3. The tuition fee shall be paid in April for the spring semester and in October for the autumn semester.

4. The Admission fee and tuition fee for taking courses of Collaborative Educational Program shall be exempted, regardless of the foregoing subsection 2, provided that president approves the exemption appropriate.

5.. Tuition and Other Fees, once paid, shall not be refunded.

Article 10 (Withdrawal)

A Non-Degree Student who wishes to withdraw from NAIST shall ask the Dean of his or her Graduate

School for withdrawal and obtain the permission of the President of NAIST.

Article 11 (Application of NAIST Regulations, etc.)

NAIST Regulations and other rules governing students of NAIST shall also apply to Non-Degree Students.

Article 12 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to Non-Degree Students shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on April 1, 2005.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on January 1, 2011.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on February 1, 2014.

奈良先端科学技術大学院大学学生表彰規程

平成16年12月7日
規程第89号

(趣旨)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学学則第70条の規定に基づき、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生（学生団体を含む。）の表彰に関し必要な事項を定める。

(表彰の基準)

第2条 表彰は、次の各号のいずれかに該当する者に行うことができる。

- (1) 学業において、研鑽に励み、他の学生の模範となった者
- (2) 学術研究活動において、特に優れた成果を挙げた者
- (3) 社会活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (4) 課外活動その他の活動において、特に顕著な業績を挙げた者
- (5) その他表彰に値する行為等があったと認められる者

2 前項に規定する者には、表彰の時点において、死亡等の者を含むものとする。

(表彰候補者の推薦)

第3条 役員又は研究科長は、前条に該当すると認められる者がある場合は、推薦書（別紙様式第1号）を、学長に提出するものとする。

(表彰者の決定)

第4条 学長は、前条の推薦に基づき、表彰者を決定する。

(表彰の方法)

第5条 学長は、前条の表彰者を決定したときは、表彰状（別紙様式第2号）を授与する。

2 学長は、前項の表彰状に添えて、記念品等を贈呈することができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰の時期は、学位記授与式又は当該表彰の内容を勘案し、学長が決定する。

(事務)

第7条 学生の表彰に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、学生の表彰に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年12月7日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年11月15日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成19年7月26日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

Regulations for Student Commendation of Nara Institute of Science and Technology

December 7, 2004
Regulations No. 89

Article 1 (Purpose)

The purpose of these Regulations is to stipulate matters relating to commendation of performance worthy of public recognition that has been achieved by students (including groups of students) of the Nara Institute of Science and Technology (“NAIST”) pursuant to the provision of Article 70 of the NAIST Regulations.

Article 2 (Commendation criteria)

1. NAIST shall commend students for:

- (1) Hard work in academic studies that sets a good example for other students;
- (2) Remarkable performance achieved in academic and research activities;
- (3) Remarkable performance achieved in social activities;
- (4) Remarkable performance achieved in extracurricular and other activities; or
- (5) Other conduct judged to be worthy of public recognition.

2. Students to be commended pursuant to the foregoing subsection shall include those who are dead at the time of commendation.

Article 3 (Nomination)

Administrative staff or the Dean of the relevant Graduate School shall submit a letter of nomination (Form No. 1 attached hereto) to the President to recommend a student who is deemed to meet any of the commendation criteria specified in the foregoing subsection for commendation.

Article 4 (Decision on commendation of student)

The President shall decide whether to commend the student based on the nomination specified in the foregoing article.

Article 5 (Commendation)

1. The President shall award a certificate of commendation (Form No. 2 attached hereto) to the student whom it was decided should be commended pursuant to the provision of the foregoing article.
2. The President may present a commemorative gift to the student in addition to the certificate of commendation specified in the foregoing subsection.

Article 6 (Timing of commendation)

The President shall determine the timing of commendation, in consideration of the timing of the degree conferring ceremony or the nature of the commendation.

Article 7 (Clerical work)

The Student Affairs Division of the Education and Research Support Department shall be responsible for handling clerical work necessary for student commendations.

Article 8 (Miscellaneous provision)

Other matters relating to student commendations shall be provided for separately.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on December 7, 2004.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on November 15, 2006 and be retrospectively applied from April 1, 2006.

Supplementary provision

These Regulations shall come into effect on July 26, 2007 and be retrospectively applied from April 1, 2007.

奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度規程

平成22年9月21日
規程第4号

(目的)

第1条 この規程は、奈良先端科学技術大学院大学（以下「本学」という。）の学生のうち、特に優秀な学生を奨励・支援することにより、優れた人材の養成に資することを目的とする奨学制度に関し、必要な事項を定める。

(名称)

第2条 奨学制度の名称は、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生奨学制度とする。

(奨学対象者)

第3条 奨学制度の対象者（以下「奨学対象者」という。）は、奨学対象者を決定する年度（以下「当該年度」という。）に本学の博士後期課程1年次に在籍する学生で、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物が優れた者とする。ただし、国費外国人留学生及び奈良先端科学技術大学院大学留学生特別支援制度に採用された者を除くものとする。

(奨学対象枠)

第4条 奨学制度の対象枠は、毎年度15名以内とする。

(奨学の方法)

第5条 奨学支援の方法は、当該年度の授業料の全額免除の方法とする。

(奨学対象者の決定時期)

第6条 奨学対象者を決定する時期は、4月とする。

(奨学対象候補者推薦枠の通知)

第7条 学長は、研究科ごとに奨学対象者の候補者（以下「奨学対象候補者」という。）の推薦枠を決定し、あらかじめ、研究科長に通知する。

(奨学対象候補者の決定)

第8条 研究科長は、奨学対象候補者を選考するための基準（以下「選考基準」という。）を定め、推薦枠とともに学内に公表し、奨学対象候補者を公募する。

2 研究科長は、前項の選考基準に基づき、応募者のうちから奨学対象候補者を決定し、選考基準と推薦順位を添えて、学長に推薦する。

(奨学対象者の選考)

第9条 学長は、研究科長の推薦に基づき奨学対象者の選考を行うため、奈良先端科学技術大学院大学優秀学生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 学長が指名する理事
- (3) 学長が指名する副学長
- (4) 各研究科長

3 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

4 委員長は、委員会を主宰する。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員が委員長の職務を代行する。

6 委員長が必要と認めるときは、第2項に規定する委員以外を出席させることができる。

(奨学対象者の決定)

第10条 学長は、委員会の選考に基づき、奨学対象者を決定する。

2 学長は、各研究科長に選考結果を通知するとともに、学内に選考結果を公表する。

(表彰及び報告会)

第11条 学長は、奨学対象者を表彰し、奨学対象者による報告会を開催する。

(事務)

第12条 奨学制度に関する事務は、教育研究支援部学生課が行う。

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、奨学制度に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成22年度に限り、奨学支援の方法は、第5条の規定に関わらず、当該年度の授業料の半額免除の方法とし、奨学対象者を決定する時期は、第6条の規定に関わらず、10月とする。

Regulations for NAIST Excellent Student Scholarship Program

September 21, 2010

Regulations No. 4

Article 1 (Objective)

These regulations provide for necessary matters regarding the scholarship program that is intended to help develop excellent human resources by giving incentives to and supporting excellent students of Nara Institute of Science and Technology (hereinafter referred to as “NAIST”).

Article 2 (Name)

The name of the scholarship program shall be the NAIST Excellent Student Scholarship Program.

Article 3 (Qualified students)

Students qualified to receive scholarships under the scholarship program (hereinafter referred to as “qualified students”) shall be students who are enrolled in the first year of a doctoral course at NAIST in an academic year in which qualified students are selected (hereinafter referred to as “the academic year”) and whose academic performance is outstanding and whose character is excellent, excluding foreign students financed by the Japanese government and those selected for the NAIST International Scholar Program.

Article 4 (Maximum number of qualified students)

The maximum number of qualified students shall be 15 in each academic year.

Article 5 (Method of scholarship support)

The scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of all tuition fees for the academic year.

Article 6 (Timing of selecting qualified students)

Qualified students shall be selected in April.

Article 7 (Notification of the number of scholarship candidates subject to recommendation)

The President shall set the number of candidates for qualified students (hereinafter referred to as “scholarship candidates”) subject to recommendation for each graduate school and notify the deans in advance.

Article 8 (Selection of scholarship candidates)

1. The deans shall set the criteria for screening scholarship candidates (hereinafter referred to as “the screening criteria”), announce on campus the screening criteria together with the number of candidates for qualified students, and solicit applications for scholarship candidates.
2. The deans shall select scholarship candidates from among the applicants based on the screening criteria set forth in the preceding paragraph, and recommend the scholarship candidates to the President, also providing the screening criteria and the order of recommendation.

Article 9 (Screening of qualified students)

1. The President shall set up a NAIST Excellent Student Screening Committee (hereinafter referred to as “the Committee”) to screen qualified students based on the deans’ recommendations.
2. The Committee shall consist of the following members:
 - (1) President
 - (2) Executive Director appointed by the President
 - (3) Vice President appointed by the President
 - (4) Deans
3. The Committee shall have a chairperson, who shall be the President.
4. The chairperson shall preside over the meetings of the Committee.
5. If the chairperson becomes unable to serve, a Committee member appointed by the chairperson in advance shall perform the duties of the chairperson.
6. If the chairperson finds it to be necessary, individuals other than Committee members set forth in Paragraph 2 shall be allowed to attend the Committee meetings.

Article 10 (Selection of qualified students)

1. The President shall select qualified students based on screening by the Committee.
2. The President shall notify the deans of the screening results, and announce the screening results on campus.

Article 11 (Commendation and presentation session)

The President shall commend qualified students, and shall host a presentation session by the qualified students.

Article 12 (Clerical work)

Clerical work regarding the scholarship program shall be undertaken by the Student Affairs Division of the Academic Affairs Department.

Article 13 (Miscellaneous provisions)

In addition to the matters provided for in these regulations, necessary matters concerning the scholarship program shall be provided for separately.

Supplementary provisions

1 (Effective date)

These regulations shall come into effect on October 1, 2010.

2 (Transitional measures)

For academic year 2010 alone, the scholarship support shall be provided in the form of exemption from payment of half the tuition fees for the academic year regardless of the provisions of Article 5, and qualified students shall be selected in October regardless of the provisions of Article 6.

奈良先端科学技術大学院大学 学歌

作曲：古川 聖

若々しく ♩ = 116



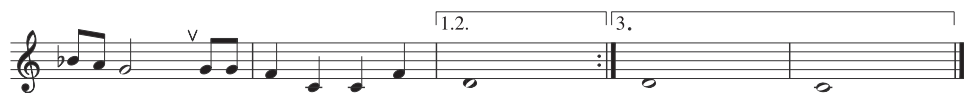
かす がやま ずい うんなびき あけ ぼののそら のはるけさ
 とみ おがわ たゆ ることなく せせ らぎのひか りはながる
 いこ まやま ゆう こえみれば なに わづにつ ど うももふね



ちの もりの さい せんたんへ どく そうのせいふう を おくめ
 さか りゆく みら いのそらへ えい えんのしんり を おしめ
 じょう ほうは こ にあつ まり せん たんのえい ち を つ な



る なら せ なんとん かがく ぎじゅつ だいがく いん たか き り そ
 す なら せ なんとん かがく ぎじゅつ だいがく いん か が や く ち
 ぐ なら せ なんとん かがく ぎじゅつ だいがく いん あ ら た な



一(う)の きざ は し の ぼ る
 せいの きざ は し の ぼ る
 だいの きざ は し の ぼ る

奈良先端科学技術大学院大学学歌

一、春日山 瑞雲なびき

あけぼのの 空の遙けさ
 知の森の 最先端へ
 独創の 清風を送る
 奈良先端科学技術大学院
 高き理想の階のぼる

二、富雄川 絶ゆることなく

せせらぎの 光は流る
 盛りゆく 未来の蒼天へ
 永遠の 真理を示す
 奈良先端科学技術大学院
 輝く知性の階のぼる

三、生駒山 夕越え見れば

難波津に 集う百船
 情報は 平城に集まり
 先端の 叡知を繋ぐ
 奈良先端科学技術大学院
 新たな時代の階のぼる

原作：岡部 剛機

